

コンパクト オーディオ

**ALLORA XG7M**

## 取扱説明書

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド  
KENWOOD CORPORATION

KENWOOD

COMPACT  
**disc**  
DIGITAL AUDIO

B60-1339-20 (JA) (MC)  
97/12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 96/12 11 10 9 8 7

# はじめに

## 2 取扱上のご注意

### 設置上のご注意

- 直射日光の当たる所、暖房器具など発熱物の近くは避けてください。
- 花びん、化粧品など液体の入ったものは、上に置かないでください。また、湿気の多いところは避けてください。
- 極端に寒い(水が凍るような)場所では十分な性能が発揮できないことがあります。
- 放熱をよくするため、本など、ものをセットの上に置かないでください。また、壁から10cmくらい離して置いてください。
- 雑音が入る場合は、テレビからできるだけ離してご使用ください。
- 不安定な棚などは避け、ホコリ、震動の少ない水平な場所に設置してください。また、放熱孔をふさぐジュタン、ソファ、ベッド等の上では使用しないでください。

### 安全上のご注意

- 本機は、交流100V専用です。200Vでは絶対に使用しないでください。
- 電源コードを強くひっぱったり、無理に折り曲げたり、継ぎ足したりすることは、通電しなくなったり、ショートのおそれがありますのでやめましょう。抜くときは、プラグを持ってください。
- 電源プラグの抜き差しは、ぬれた手で行なわないでください。感電する恐れがあります。
- ケースなどをはずし、内部に触ることは避けてください。内部に手を触れると感電、故障の原因となることがあります。
- ケースの空気孔等にヘアピン、縫い針などの金属物が入ると故障や感電の原因になります。とくにお子様へのご注意をお願いします。

### セットのお手入れ

前面パネル、ケースなどが汚れたときは、やわらかい布でからぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

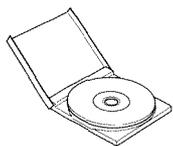
### 異常にお気づきのさいは

万一、煙が出ている、また変なにおいがするなどの異常がおきたときは、電源スイッチをすばやくOFFにして電源コードを抜いてください。そのうえで速やかに購入店または最寄りのケンウッドサービスセンター、営業所へご連絡ください。

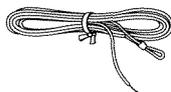
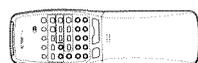
## 付属品

次の付属品がそろっていることを確認してください。

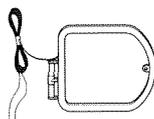
バーチャル・リアリティ・ FM簡易アンテナ(1本) AMループアンテナ(1個) ループアンテナスタンド(1個) オーディオコード(1本) サウンドCD(1枚)



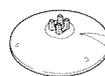
リモートコントロール  
ユニット(1個)



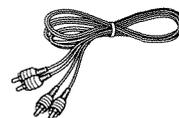
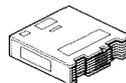
スピーカーコード  
(赤黒2本、青黒2本)



リモコン用  
単4乾電池(2個)



マガジン  
(ディスクトレイ6個入り)



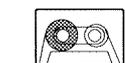
平行コード(1本)



スピーカーコードはスピーカー部に、マガジンはCDプレーヤーに、その他の付属品は、プリアンプ/チューナー部に同梱されています。

# 本機の特長

# 目次



## CASSETTE 使って便利な DPSS

カセットテープなのに、CDのようにいろいろな再生を楽しめます

- 曲を飛び越して聞く
- 同じ曲を何回も聞く
- テープを巻き戻して初めから聞く
- 曲と曲の間を早送りして聞く



## バーチャル・リアリティー・サウンドシステム

メインスピーカーとオムニトップスピーカーから別々の音を出す機能です。付属のバーチャル・リアリティー・サウンドCDをオムニトップから再生して、音楽をメインから再生すれば、全く新しい音の世界が開けます。もちろん、音の組み合わせは自由です。



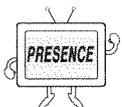
## CD REC カンタンCD編集録音 (CCRS)

目的別に使える、いろいろな種類のCD編集録音を用意  
 フェード編集録音 : 1曲目から順に録音  
 プログラム編集録音 : 好きな曲を好きな順に録音  
 タイム編集録音 : 指定時間内に曲が途切れないように録音  
 AI編集録音 : 指定時間をこえるCDの全曲を録音  
クロスフェード  
 X.FADE編集録音 : 曲の初めと終りを重ね合わせて録音



## いろいろ楽しめる音質調整

グラフィコ機能も充実。AIにまかせて自動設定、またはお好みのカーブを選んだり作ったりできます。CD1枚ごとの設定を、60枚ぶんまで記憶する、AI FILE機能も搭載しました。



## 臨場感のある音を聴く

**DOLBY SURROUND** 再生は当然。その他に当社独自の音場を用意してあります。自分のお好みの音場でお楽しみください。



## TIMER 便利なタイマー機能

6つの内容を登録できるほか、次の便利な働きがあります。

- AI TIMER 1 : タイマー ON の後3段階で音が大きくなる
- AI TIMER 2 : タイマー ON でCDを2曲再生後放送を受信
- スリープタイマー : おやすみのときに便利
- ワンタッチタイマー : 細かい時間調整をしないで区切りのいい時間に ON

接続のしかた	4
各部のなまえと働き	9
リモコンの使いかた	14
時刻合わせ	15
音の調節のしかた	16
CDを聴く	18
マガジンにディスクを入れる	18
1曲目から順に聴く	20
聴きたい曲を選ぶ	21
曲順を自由にプログラムする	22
繰り返し聴く	24
テープを聴く	26
テープの再生	26
リレー再生のしかた	27
飛び越し選曲	28
ダッシュ&プレイ、1曲リピート再生、巻き戻し再生	29
放送を聴く	30
放送を受信する	30
周波数を指定して受信する	31
放送局を記憶させる(プリセット)	32
バーチャル・リアリティー・サウンドシステム	34
バーチャル・リアリティー・サウンドを体験する	35
録音のしかた	36
録音の準備をしましょう	36
録音のしかた	37
テープをコピーする(ダビング)	39
CDの編集録音	40
録音のタイプを選ぶ	40
プログラム編集録音	42
クロスフェード編集録音	43
タイム編集録音	44
AI編集録音	45
フェード編集録音	46
CDを録音しながら他のものを聴く	48
カンタン音質調整	49
デモンストレーションをしてみましょう	49
最適な音質でCDを聴く(AI AUTO)	51
臨場感を生かしてCDを聴く(AI FOCUS)	51
最適なイコライザーカーブを記憶させる(AI FILE)	52
記憶させたイコライザーカーブを呼び出す(AI FILE)	52
お好みの音質で曲を聴く	53
お好みの音質を作る	55
カーステレオ、ヘッドホンステレオ用のテープを作る	55
ビデオ機器を使用する	56
ビデオを再生する	56
ビデオ録画をする	56
臨場感を楽しむ	57
臨場感のある音楽を楽しむ(DSPプレゼンスモード)	58
ドルビープロ・ロジックサラウンドの調整	60
ドルビープロ・ロジックサラウンドの再生	61
ドルビー3ステレオの調整・再生	62
臨場感、バス・バーチャル・リアリティー・サウンドを体験する	63
臨場感のある音楽を録音する	64
タイマーを使う	65
タイマー予約をする	66
AIタイマーの使いかた	69
ワンタッチタイマー予約、おやすみタイマー予約	70
便利な使いかた	71
簡単にカラオケを楽しむ	71
BGM再生のしかた	72
メンテナンス	73
故障と思われる症状ですが	75
アフターサービスについて	78
定格	79

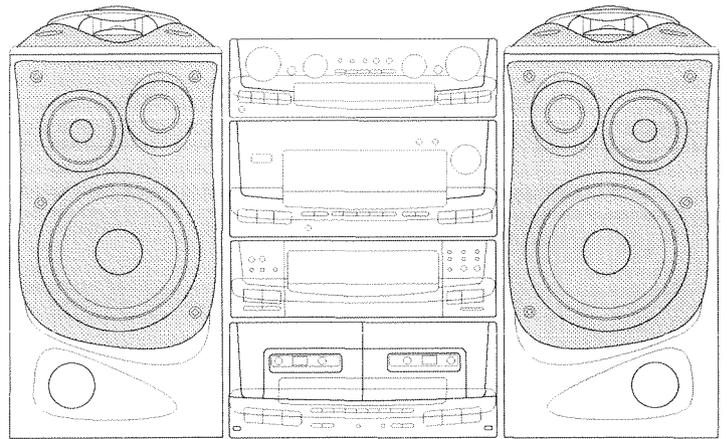
# 接続のしかた

4

接続が完了するまで、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。

- セットの積み重ねは、接続図通りに行ってください。
- 関連システム機器を接続するときは、関連機器の取扱説明書も、合わせてご覧ください。
- セットの前面は揃えてください。

縦に置いたとき



冷却ファン

内部の温度が高くなると回転します。設置の際は、壁などに密着させないでください。

プリアンプ/チューナー  
C-B9

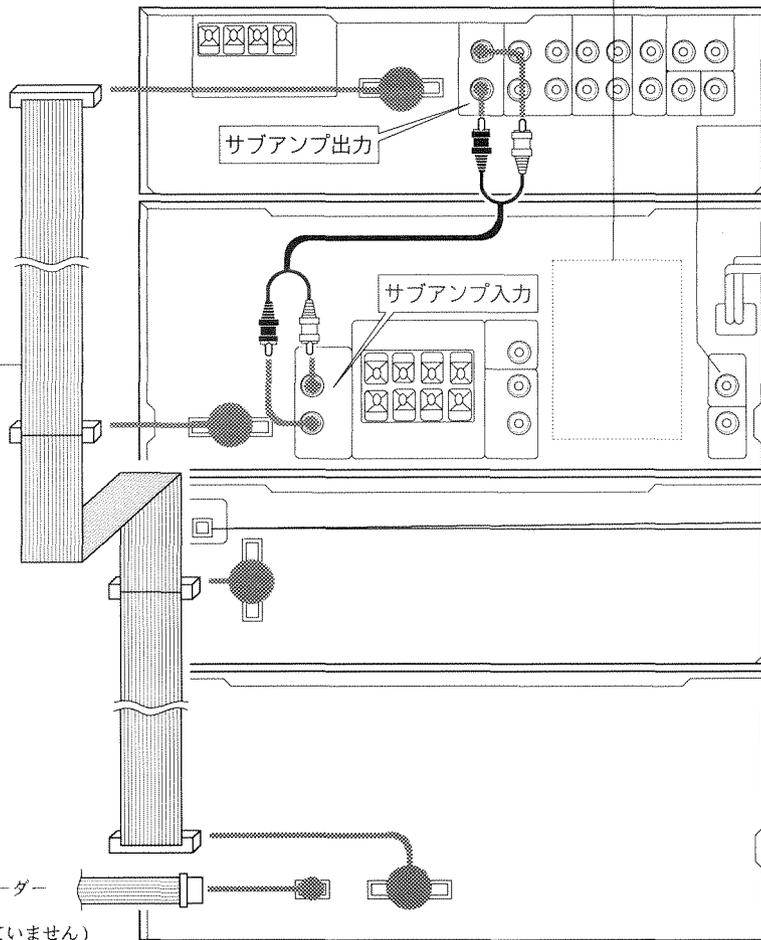
パワーアンプ/  
グラフィックイコライザー  
B-B9

白線を左側にする

CDプレーヤー  
DP-MB9

カセットデッキ  
X-B9

MDレコーダー  
(別売)へ  
(付属していません)



オムニプリアウト端子

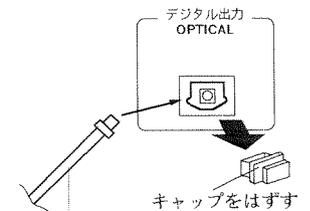
オムニトップスピーカーからのサウンドに更に広がりを感じたいとき、市販のアンプを接続できます。(別途にスピーカーも必要です)

※この端子からの出力はモノラルです。

AC100V, 50/60Hzの  
コンセントへ

デジタル出力端子

デジタル出力端子を使うときは、保護キャップをはずしてください。



光ファイバークーブル  
(付属していません)

## 光ファイバークーブルの接続について

MDプレーヤー(別売)との接続に使用します。デジタル伝送により、CDの高音質を損なうことなく録音できます。また、デジタル入力(光ファイバー)端子のあるアンプに接続することもできます。

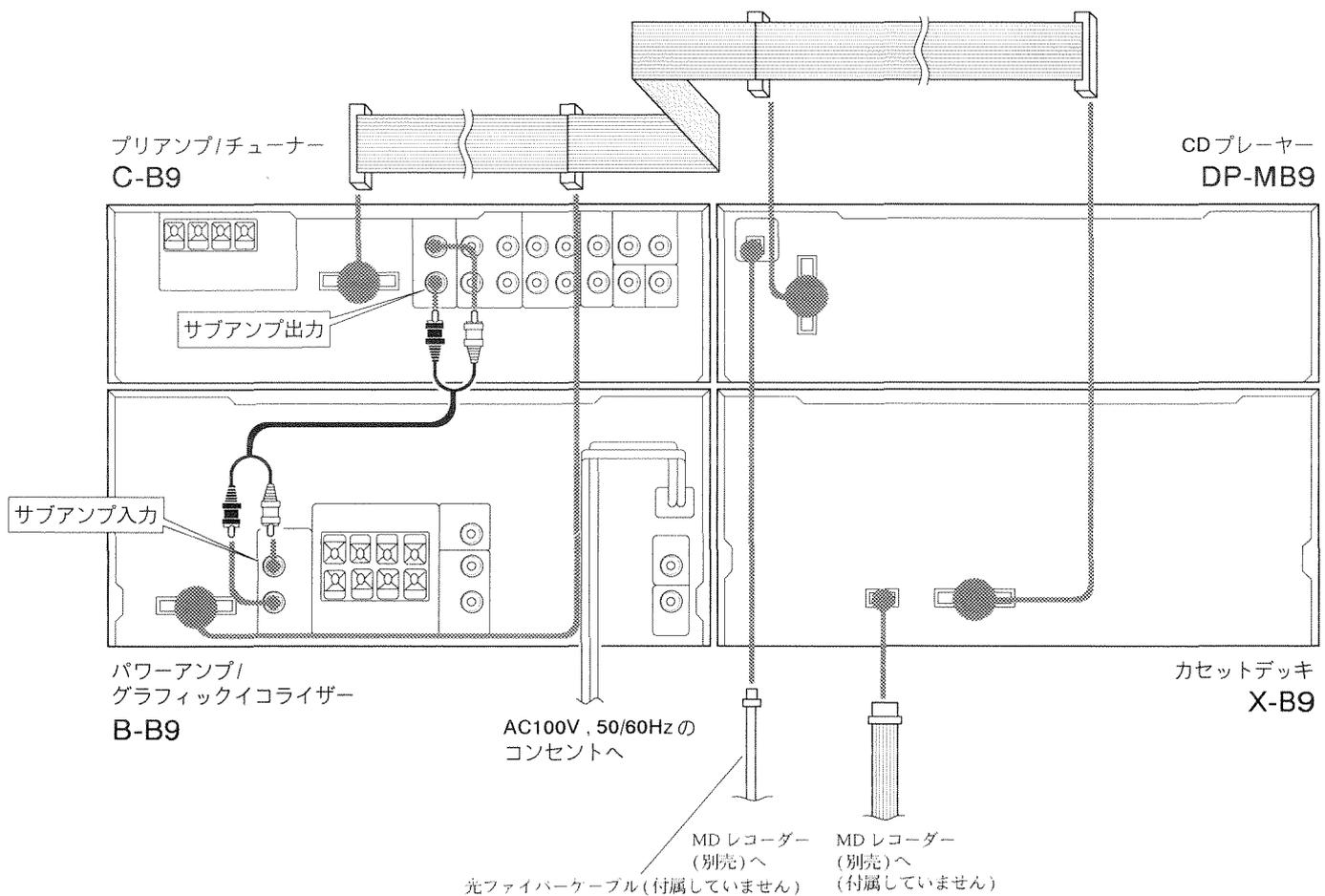
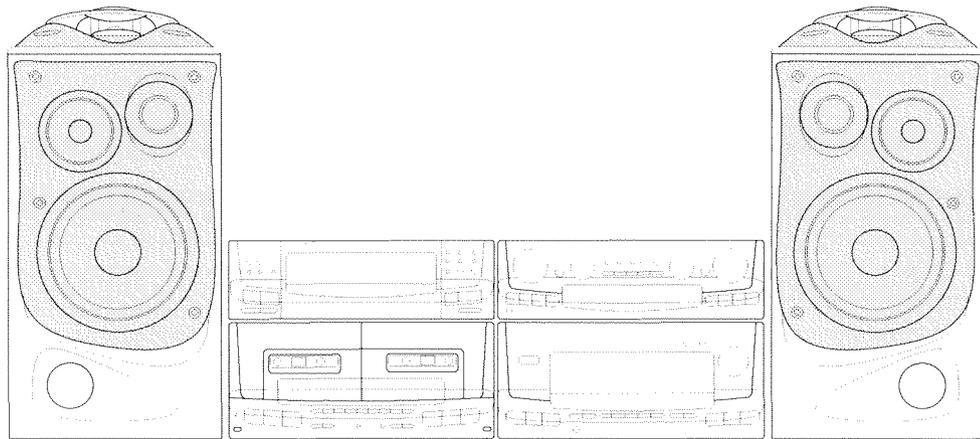
- 光ファイバーは、まっすぐに、カチッと音がするまでさしこんでください。
- 端子を使わないときは、必ず保護キャップを付けておいてください。
- 光ファイバークーブルは、絶対に折り曲げたり、束ねたりしないでください。
- 市販の光ファイバークーブルが、すべて使えるとは限りません。接続できないときは、購入店または、もよりの営業所にご相談ください。

ご注意

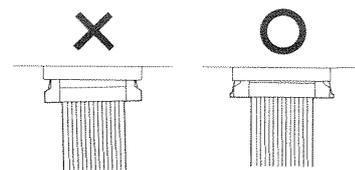
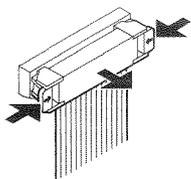
1. すべての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。
2. 接続コードを抜き差しする場合は、必ず電源コードを電源コンセントから抜いてください。電源コードを抜かずして接続コードの抜き差しを行うと、誤動作または破損の原因となります。



横に置いたとき



## 平行コードの接続



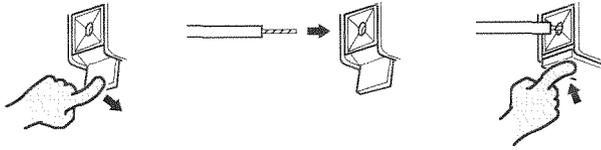
- 平行コードは、カチッと音がするまで平行に差し込み、確実にロックしてください。
- 平行コードの白線を、左側にして接続してください。
- コードを抜くときは、ソケット部分の両端を押しながまますぐに引き抜きます。

## 接続のしかた

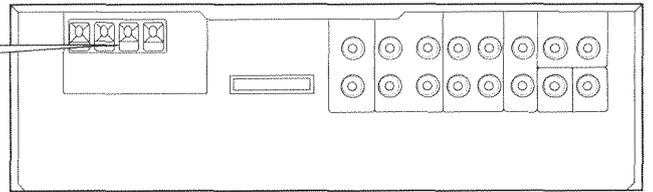
①レバーを押す

②コードを差し込む

③レバーを戻す



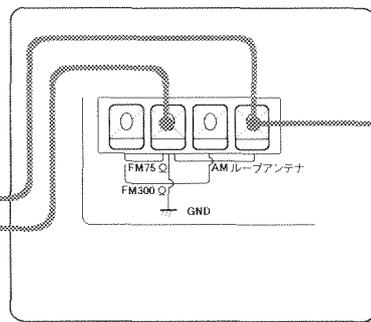
プリアンプ/チューナー C-B9



## AMアンテナの接続

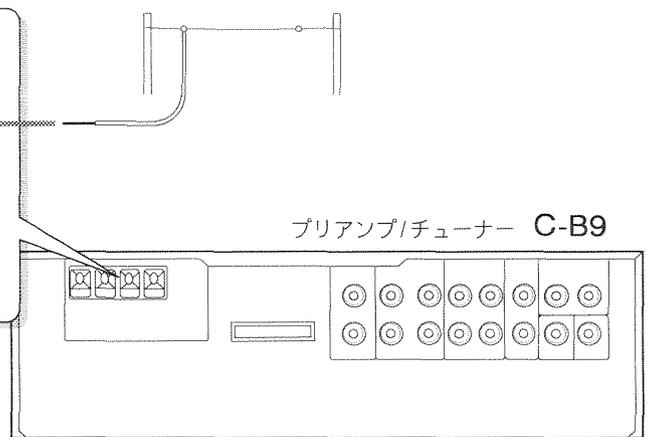
## AM ループアンテナの接続

付属のアンテナは室内用です。本機、TV、スピーカーコード、電源コードからなるべく離れたところで、受信状態の一番よい方向に向けます。



## AM 屋外アンテナの接続

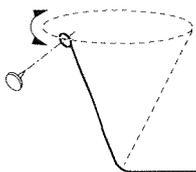
受信状態が悪い場合は、ループアンテナをつないだまま6m以上のビニール被覆線を屋外に張ってください。



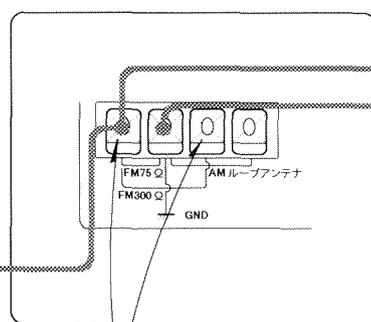
## FMアンテナの接続

## FM 簡易アンテナの接続

付属のアンテナは室内用で、一時的に使用するものです。安定した受信のために、なるべく早く屋外アンテナを接続してください。屋外アンテナを接続したら、室内用アンテナは取り外してください。



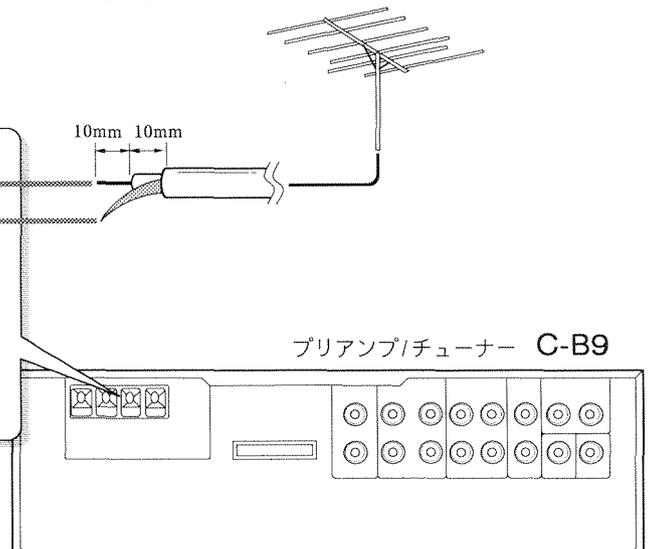
- ①コードの先端の被覆を取り、ねじる。
- ②受信状態の良い位置を探す。
- ③固定する。



市販のFM屋内用T型アンテナ(300Ω)を使用するときは、この端子に接続します。(付属のFM簡易アンテナは、取りはずしてください)

## FM 屋外アンテナの接続

75Ω同軸ケーブルを使って屋内へ引き込み、FM75Ω端子に接続します。



# スピーカーの接続

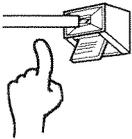
## フロントスピーカーの接続

### スピーカー部

- ①レバーを押しながら
- ②コードを差し込む

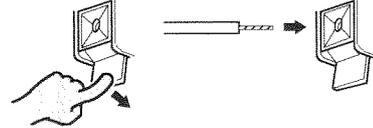


- ③レバーから手を離す

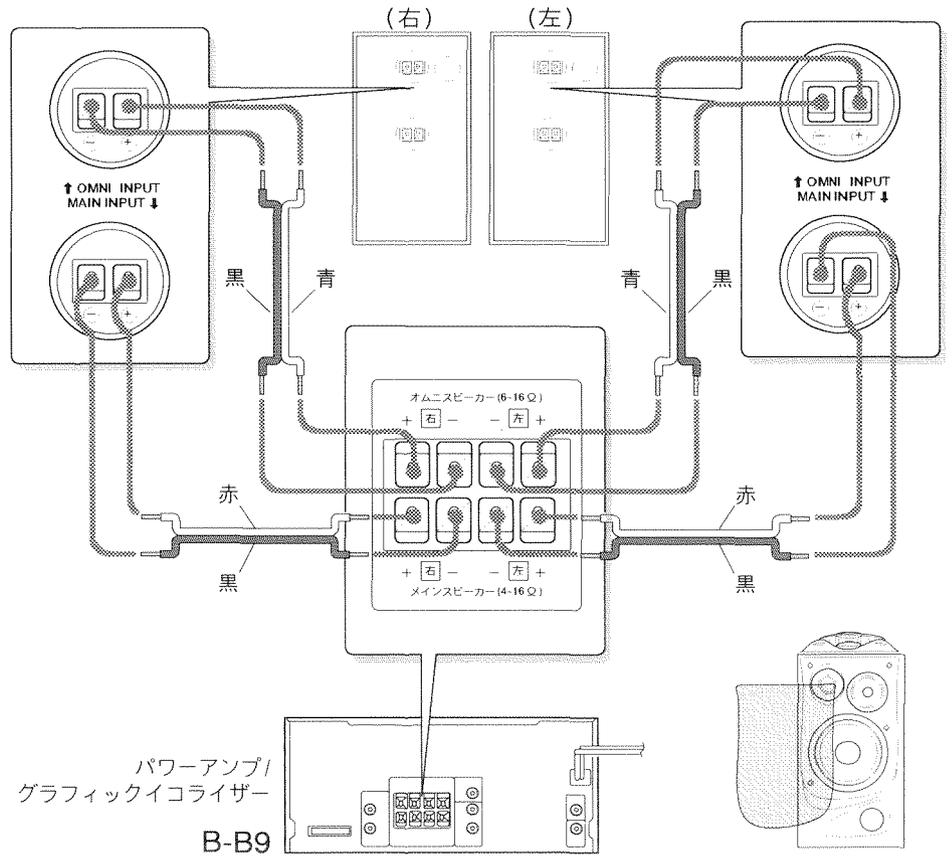
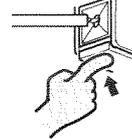


### パワーアンプ/グラフィックイコライザー部

- ①レバーを押す
- ②コードを差し込む

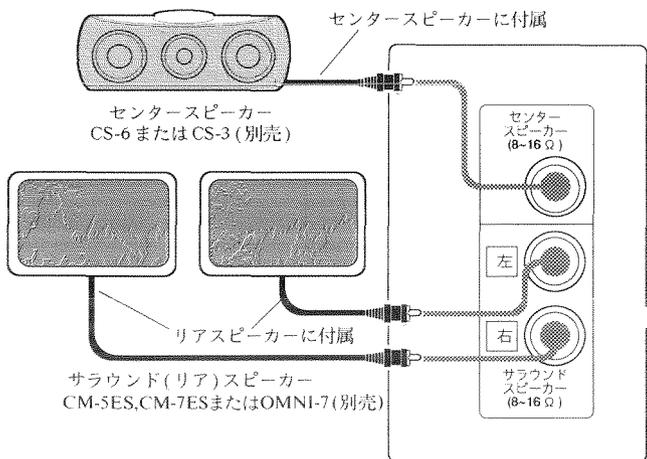


- ③レバーを戻す

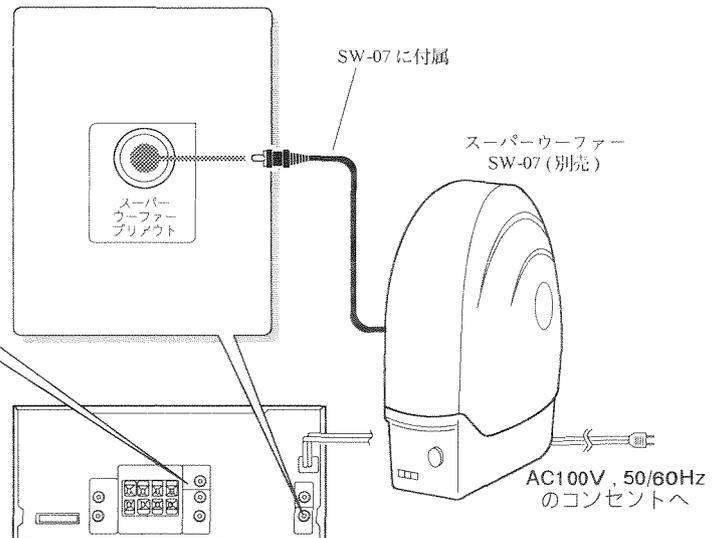


- スピーカー端子には、オムニトップスピーカー用とメインスピーカー用があります。青黒のコードはオムニトップスピーカー用、赤黒のコードはメインスピーカー用です。イラスト通り正しく接続してください。
- スピーカーコードの+と-は絶対にショートさせないでください。
- 左右を逆にしたり、極性をまちがえて接続しますと、楽器などの位置がはっきりせず、不自然な音になります。正しく接続してください。

## サラウンド (リア) スピーカー (別売) センタースピーカー (別売) の接続



## スーパーウーファー (別売) の接続



パワーアンプ/  
グラフィックイコライザー

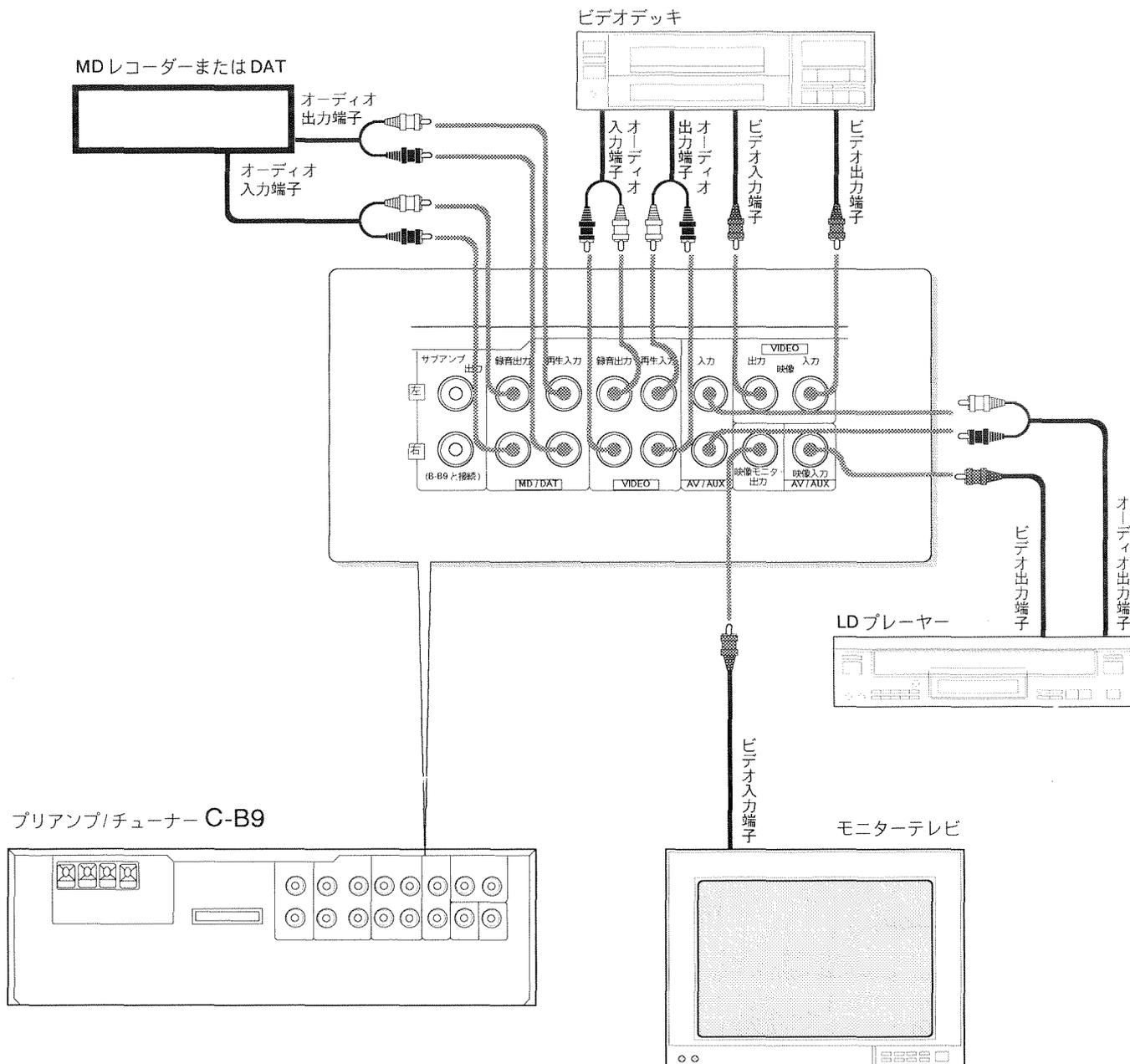
B-B9

AC100V, 50/60Hz  
のコンセントへ

# AV機器 (別売) との接続

8

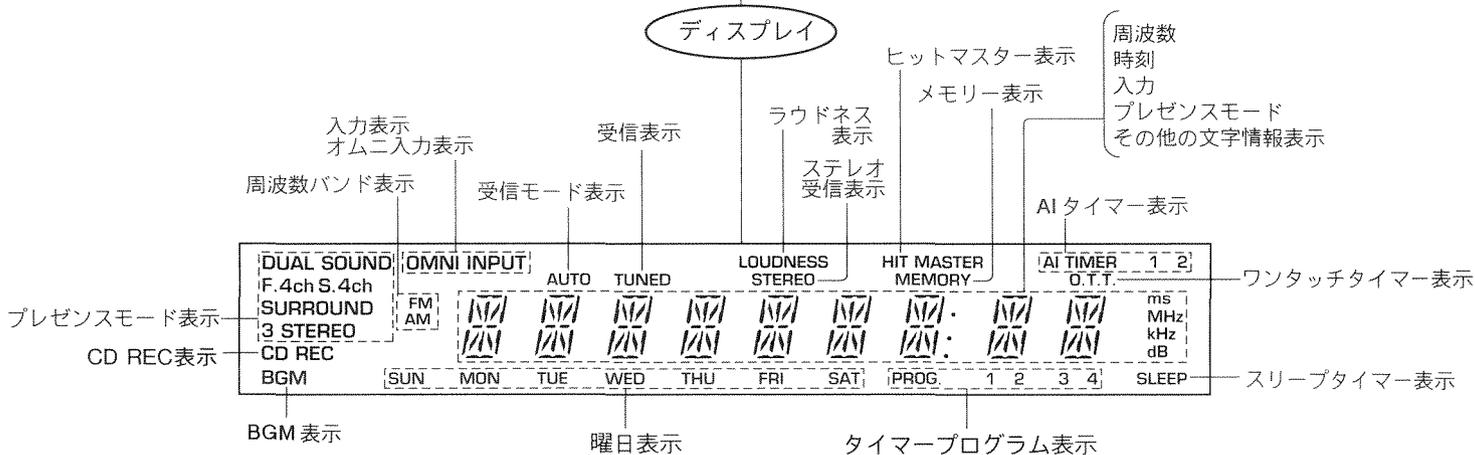
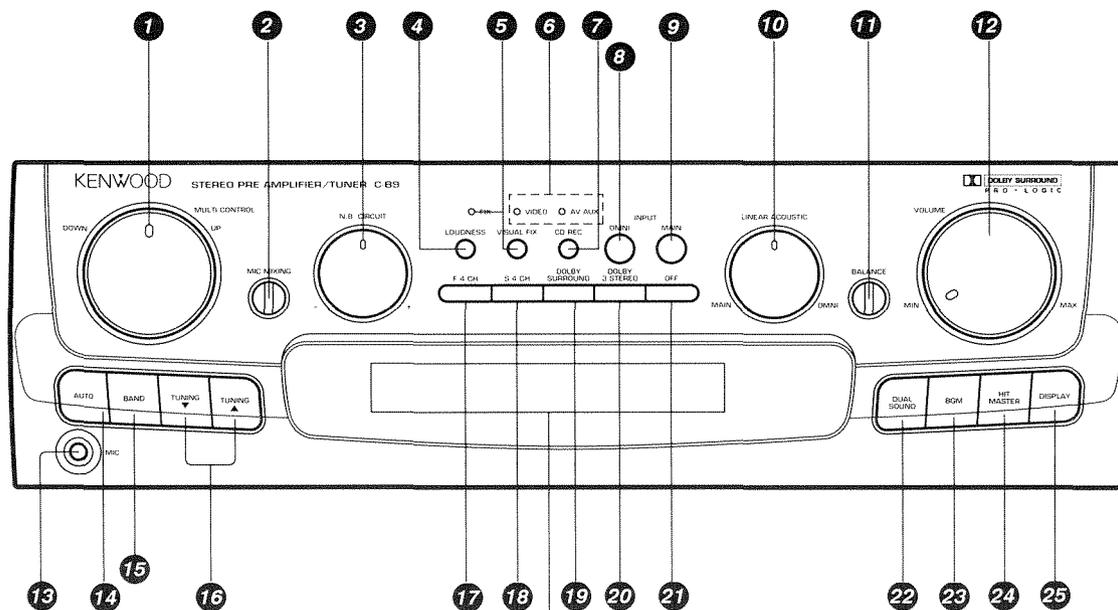
- 接続コードは、本システムには付属していません。
- LDプレーヤーのかわりに次のような映像機器が接続できます。
  - ・BSチューナー
  - ・ビデオカメラ
  - ・ビデオデッキ
- MD (ミニディスク) レコーダーのかわりに、DATなどが接続できます。



映像 (VIDEO) 入力端子付きのモニターテレビをご使用ください。

# 各部のなまえと働き

## プリアンプ/チューナー部

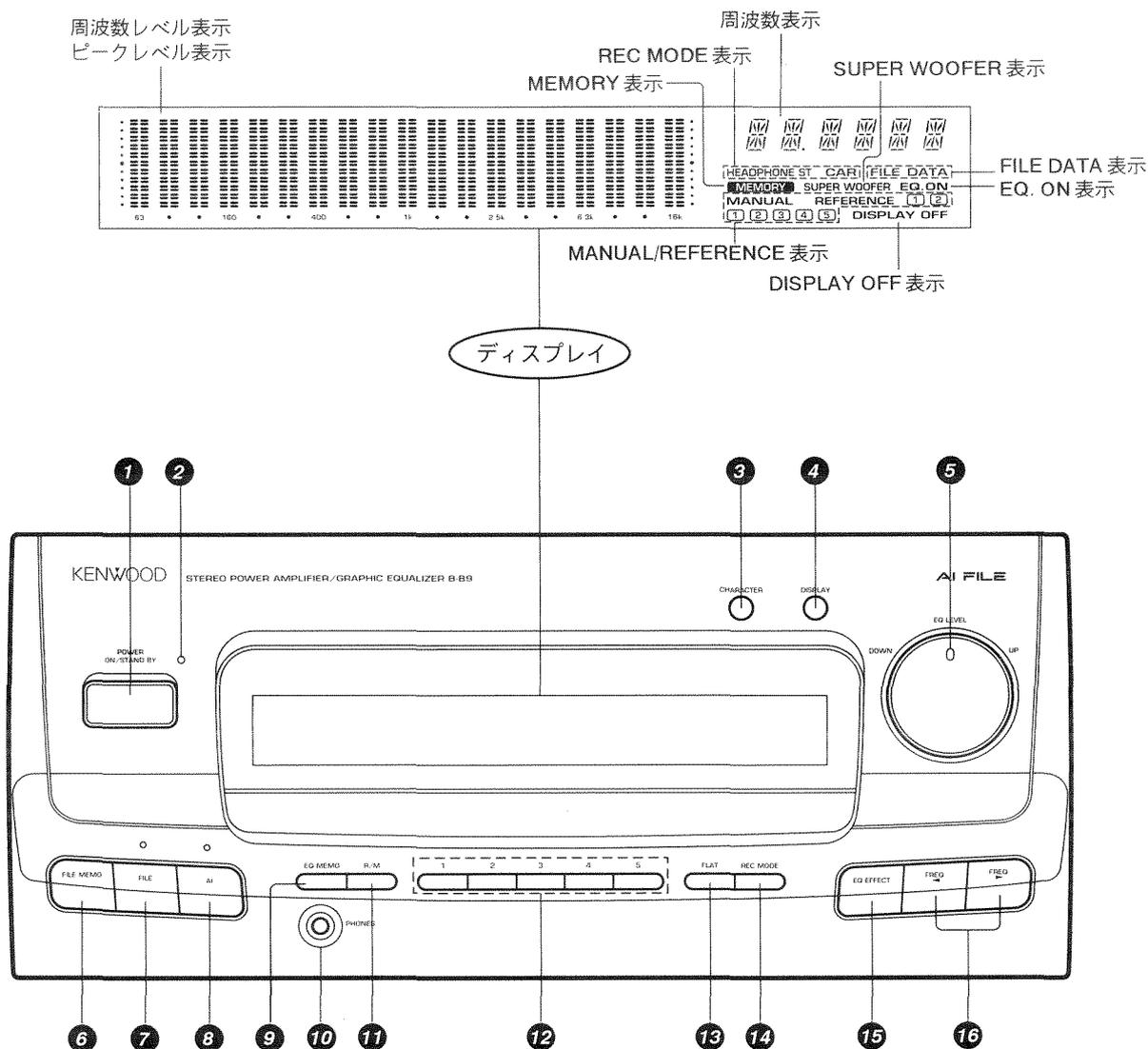


- 1 **MULTI CONTROL**つまみ → [P.58](#)  
DSPモードの音場切換え、ドルビーサラウンドのセンターモードの設定などに使います。
- 2 **MIC MIXING**つまみ → [P.71](#)  
マイクの音量を調節します。
- 3 **N.B.CIRCUIT**つまみ → [P.17](#)  
低音を調節します。
- 4 **LOUDNESS**キー → [P.17](#)  
音量が小さい時の低音と高音不足を自動的に補います。
- 5 **VISUAL FIX**キー、インジケータ → [P.56](#)  
映像入力インジケータ  
映像系の入力を表示します。
- 7 **CD REC**キー  
CDを録音しながら他のソースの音をきくことができます。 → [P.48](#)

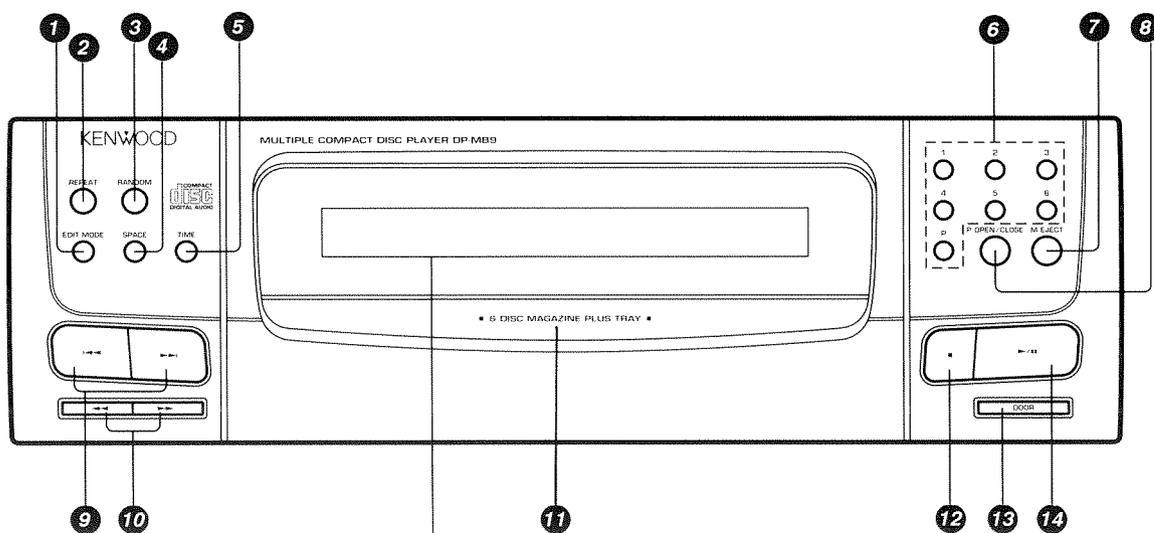
- 8 **OMNI INPUT**キー → [P.34](#)  
バーチャルリアリティーサウンドやDSPモードのときに、オムニトップスピーカーから再生する機器を選びます。
- 9 **MAIN INPUT**キー  
再生する機器を選びます。
- 10 **LINEAR ACOUSTIC**つまみ  
メインスピーカーとオムニトップスピーカーの音量バランスを調節します。 → [P.16](#)
- 11 **BALANCE**つまみ  
左右のスピーカーの音量を調節します。 → [P.17](#)
- 12 **VOLUME**つまみ
- 13 **MIC**端子 → [P.71](#)
- 14 **AUTO**キー  
自動受信モードを選ぶときに押します。 → [P.30](#)
- 15 **BAND**キー  
受信する周波数バンド (FM/AM) を選びます。

- 16 **TUNING** (▼, ▲) キー  
受信する放送局を選びます。
- 17 **F.4CH**キー → [P.58](#)
- 18 **S.4CH**キー → [P.58](#)
- 19 **DOLBY SURROUND**キー → [P.60](#)
- 20 **3 STEREO**キー → [P.62](#)
- 21 **OFF**キー  
サラウンドやDSPモードを解除します。
- 22 **DUAL SOUND**キー → [P.34](#)  
バーチャルリアリティーサウンドや、DSPモードのときに使います。
- 23 **BGM**キー → [P.72](#)
- 24 **HIT MASTER**キー → [P.71](#)  
カラオケをするとき、曲に収録されているヴォーカルを小さくします。
- 25 **ディスプレイ** **DISPLAY**キー → [P.30](#)  
押すごとにディスプレイ表示が切り換わります。

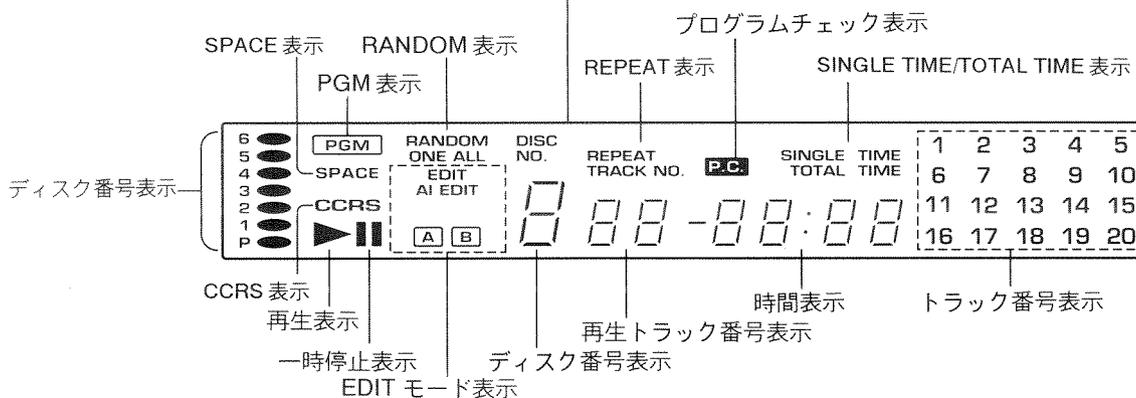
# パワーアンプ/グラフィックイコライザー部



- ① **POWER**キー → P.16  
電源のON/OFFをします。
- ② **STAND BY**インジケータ → P.16
- ③ **CHARACTER**キー → P.50  
押すたびにスペクトラムアナライザの表示モードが切り換わります。
- ④ **DISPLAY**キー → P.50  
押すごとにグラフィックイコライザ、スペクトラムアナライザ、デモ、ディスプレイOFFが切り換わります。
- ⑤ **EQ. LEVEL**調整つまみ → P.54  
イコライザカーブのレベルを調節します。
- ⑥ **FILE MEMO**キー → P.52  
CD1枚ごとの、最適なイコライザカーブなどの設定を記憶するときに使います。
- ⑦ **FILE**キー/インジケータ → P.52  
FILE MEMOキーで記憶した設定を呼び出すときに使います。
- ⑧ **AI**キー/インジケータ → P.51  
ディスクに合ったイコライザカーブを自動的に設定します。
- ⑨ **EQ. MEMO**キー → P.54  
イコライザパターンを記憶します。
- ⑩ **PHONES**端子
- ⑪ **R/M**キー → P.53  
呼び出すカーブをREFERENCE/MANUALに切替えます。
- ⑫ **プリセット**キー → P.53
- ⑬ **FLAT**キー → P.54  
イコライザカーブをフラット(平担)にします。
- ⑭ **REC MODE**キー → P.53  
レックモード  
カーステレオ、ヘッドホンステレオ用のテープを作るときにお使いください。
- ⑮ **EQ. EFFECT**キー → P.53  
イコライザ効果のON/OFFをします。
- ⑯ **FREQ. ◀, FREQ. ▶**キー → P.54  
調整したい周波数を選ぶときに使います。



ディスプレイ



① **EDIT MODE**キー → P.44  
編集録音のモードを選びます。

② **REPEAT**キー → P.24  
繰り返し再生をするときに使います。

③ **RANDOM**キー → P.25  
毎回曲を無作為に再生します。

④ **SPACE**キー → P.23  
PGMモードのときに押すと曲と曲の間に約4秒間の音のない部分を自動的に作ります。

⑤ **TIME**キー → P.24  
ディスプレイの時間表示モードを切替えます。

⑥ **ディスクセクターキー**(1~6、P)

⑦ **M.EJECT**キー

⑧ **P.OPEN/CLOSE**キー

⑨ **スキップ**キー  
曲の頭出しをします。

⑩ **サーチ**キー  
早送り、早戻しをします。

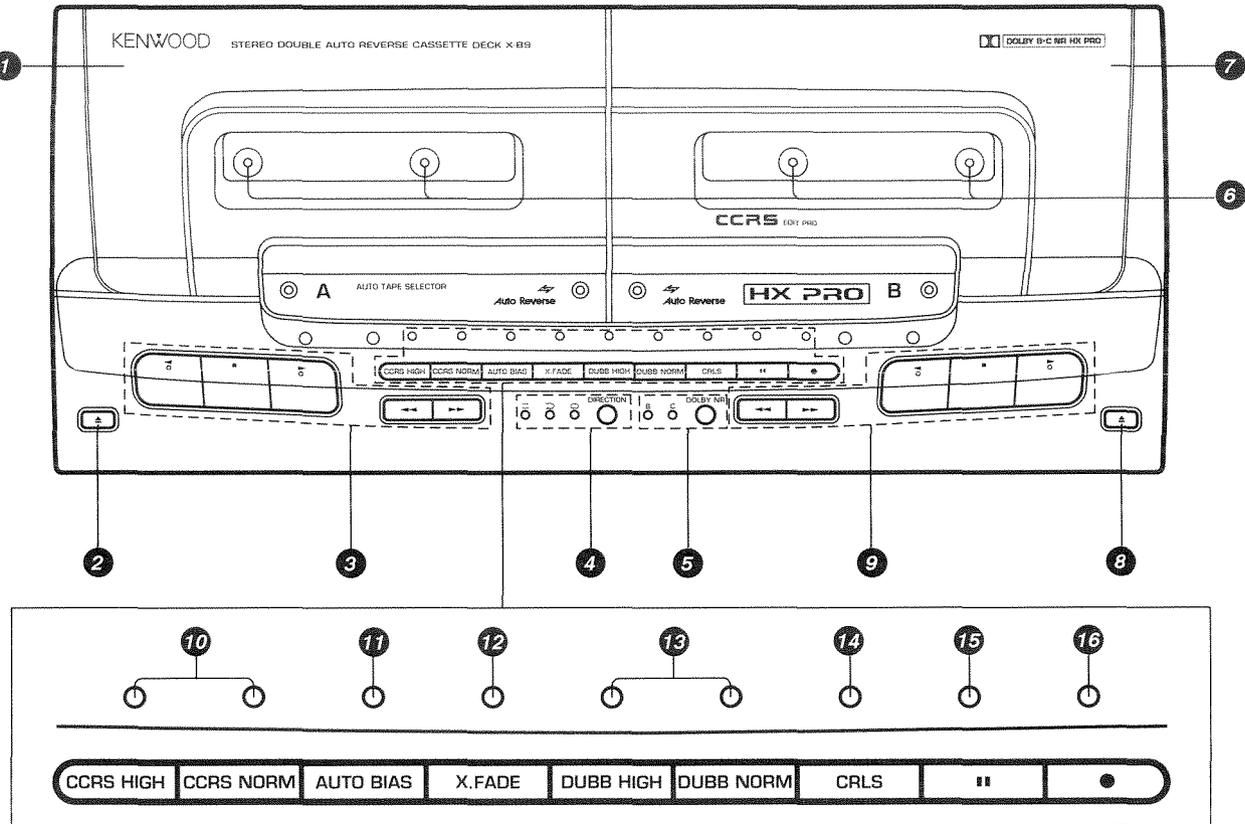
⑪ **プラス-1**トレイ

⑫ **停止**キー

⑬ **DOOR**キー

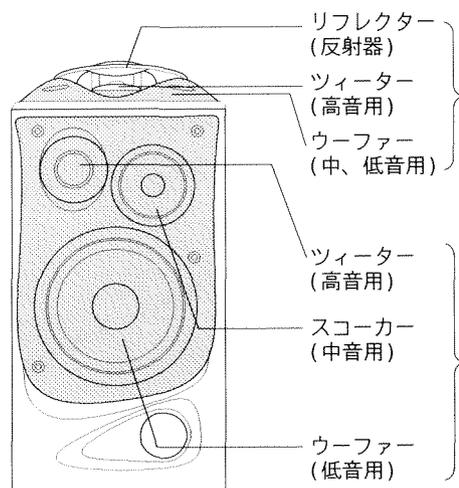
⑭ **再生/一時停止**キー

# カセットデッキ部



- ① Aデッキカセットホルダー
- ② Aデッキ用イジェクトキー
- ③ Aデッキ操作部  
 ◀▶再生キー/ディレクションインジケータ  
 ■停止キー  
 ▶▶早送りキー  
 ◀◀巻き戻しキー
- ④ DIRECTION 切換キー/インジケータ  
再生モードを切換えます。
- ⑤ DOLBY NR 切換キー  
インジケータ
- ⑥ テープランニングインジケータ
- ⑦ Bデッキカセットホルダー
- ⑧ Bデッキ用イジェクトキー
- ⑨ Bデッキ操作部  
 ◀▶再生キー/ディレクションインジケータ  
 ■停止キー  
 ▶▶早送りキー  
 ◀◀巻き戻しキー
- ⑩ CCRS キー (HIGH,NORM)/インジケータ  
CDの最適録音レベルとテープの最適録音バイアスを自動的に設定し、録音をスタートします。
- ⑪ AUTO BIASキー/インジケータ  
オートバイアス  
テープの録音バイアスを自動的に設定します。
- ⑫ X.FADEキー/インジケータ → P.40  
クロスフェード  
曲の初めと終わりをフェードイン/フェードアウトし、曲の切れ目のない音楽テープが作れます。
- ⑬ DUBB キー (HIGH,NORM)/インジケータ → P.39  
テープをダビングするときに使います。
- ⑭ CRLS キー/インジケータ  
自動的に適切な録音レベルを設定します。
- ⑮ 一時停止キー/インジケータ
- ⑯ 録音キー/インジケータ

# スピーカー部



型名:LS-B9  
 キャビネット形式:  
 バスレフ型  
 (図は右チャンネル)

**オムニトップスピーカー**  
 同軸2way方式のスピーカーが上向きに配置されています。リフレクターの働きで、音は広い範囲に放射され、柔らかく包みこまれるような響きになります。  
 通常の再生のとき、音はメインスピーカーとオムニトップスピーカーの両方から出すことができます。  
 DPSプレゼンス再生のときはプレゼンス音が、バーチャルリアリテ ィーサウンド再生のときは、環境音(オムニ入力)が、オムニトップスピーカーから出力されます。

**メインスピーカー**  
 3way方式のスピーカーです。オムニトップスピーカーと比べると、ダイレクトで力強い音質です。

## 入力切換えキー

MAIN INPUT キー：再生する機器を選びます。  
OMNI INPUT キー：オムニトックスピーカーから再生する機器を選びます。

デュアルサウンド  
DUAL SOUNDキー  
スリープ  
SLEEPタイマーキー

## カセットデッキ操作キー

デッキAを操作するときは、A/B切換えスイッチをA側にします。(●/■キーは働きません)  
デッキBを操作するときは、A/B切換えスイッチをB側にします。

## 数字/曜日キー

入力切換えがCDのときは、CDプレーヤーの数字キーとして働きます。  
入力切換えがTUNERのときは、チューナーの数字キーとして働きます。  
タイマー予約をするときは、曜日キーとして働きます。

## VOLUME CONTROL キー

音量を調節します。操作すると、本体のVOLUMEつまみが回転します。このとき、つまみのインジケータが早い点滅をします。

## ミュートキー

一時的に音を消すときに使います。

## サラウンド、プレゼンス関連キー

MULTI CONTROL キー、F.4CH キー、S.4CH キー  
DOLBY SURROUND キー、DOLBY 3 STEREO キー  
OFF キー、ASFC キー、TEST TONE キー、  
CENTER キー、REAR キー、DELAY TIME キー、  
MULTI LEVEL CONTROL キー、

## スーパーウーファー/MD 操作キー

スーパーウーファー(別売)を操作するときは、A/B切換えスイッチをA側にします。  
MD(ミニディスク)レコーダー(別売)を操作するときは、A/B切換えスイッチをB側にします。  
S.W.POWER キー、S.W.EFFECT キー、S.W.VOL キー  
◀▶キー、▶キー、●キー、■キー、■キー

## A/B 切換えスイッチ

この部分のキーは、2通りの使いかたができます。  
用途に応じて機能を切換えてください。

- 白と茶色の文字で名前が印刷されているキーは、Aのとき茶色、Bのときは白で印刷された働きをします。

POWERキー

## チューナー操作キー

BAND キー、P.CALL キー

## CD プレーヤー操作キー

◀▶キー、■キー、▶/■キー

BGM キー

リニア アコースティック コントロール  
LINEAR ACOUSTIC CONTROL キー

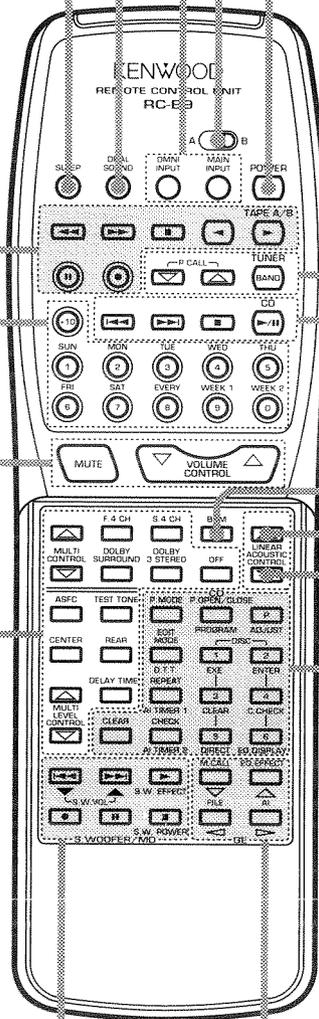
## CD/タイマー操作キー

CDを操作するときは、A/B切換えスイッチをB側にします。タイマーを操作するときは、A/B切換えスイッチをA側にします。

P.MODE キー、EDIT MODE キー、REPEAT キー、  
CLEAR キー、CHECK キー、P.OPEN/CLOSE キー、  
ディスクセレクターキー(1~6、P)  
PROGRAM キー、ADJUST キー、O.T.T.キー、  
EXE.キー、ENTER キー、AI TIMER1 キー、  
CLEAR キー、C.CHECK キー、AI TIMER2 キー、  
DIRECT キー、EQ. DISPLAY キー

## グラフィックイコライザー操作キー

△▽◀▶キー、M.CALL キー、  
EQ. EFFECT キー、FILE キー、AI キー、

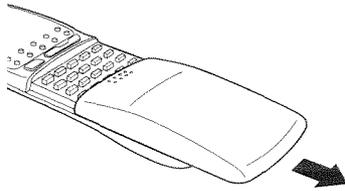


型名:RC-B9  
赤外線方式

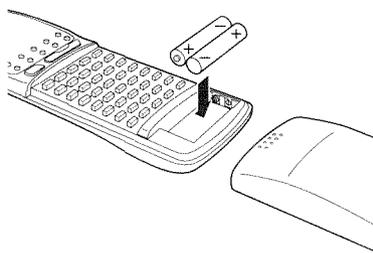
# リモコンの使いかた

## 14 電池の入れかた

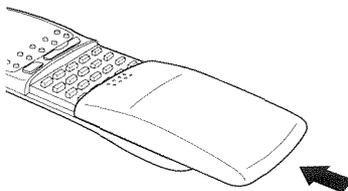
### 1 カバーをはずす



### 2 電池を入れる



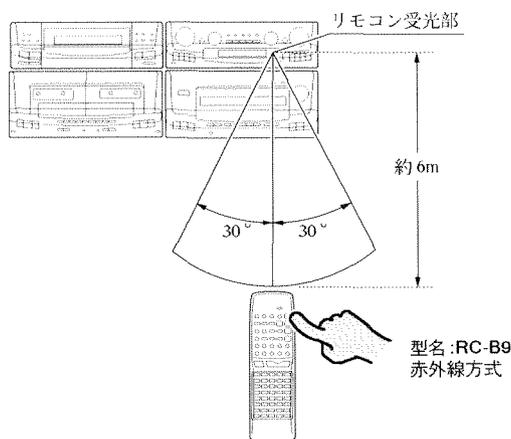
### 3 カバーを閉める



- 単4乾電池 (R03/UM-4) 2個を極性マークに従って入れる。

## 操作のしかた

プリアンプ/チューナーの電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンの **POWER** キーを押すと、電源がONになります。電源がONになったら、操作したいキーを押します。



- リモコンの各操作キーを押してから次のキーを押すときは、約1秒以上の間隔をあけて確実に押してください。

以後の各ページでは、説明の都合上、リモコンのカバーが省略されたイラストを使っています。あらかじめご了承ください。

ご注意



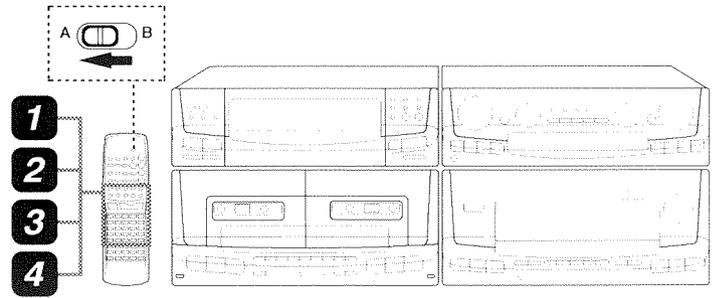
1 付属の乾電池は、動作チェック用のため、寿命が短いことがあります。ご了承ください。

2 操作できる距離が短くなったら、2個とも新しい電池と交換してください。

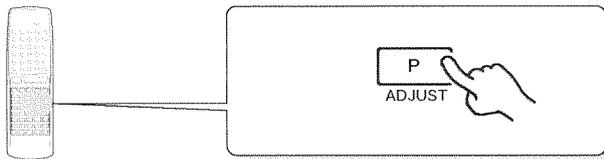
3 リモコン受光部に直射日光や高周波点灯(インバーター方式等)の蛍光灯の光が当たると、正しく動作しないことがあります。このような場合、誤動作を避けるために設置場所を変えてください。

# 時刻合わせ

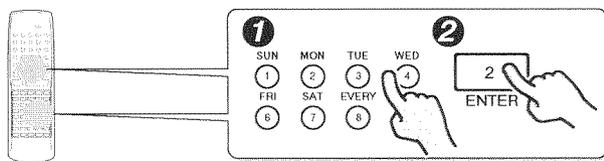
ブリアンプ/チューナーには、時計機能がついています。タイマーを使う前に必ず正確な時刻を合わせてください。



## 1 ADJUST キーを押す



## 2 西暦年を入力し、ENTER キーを押す

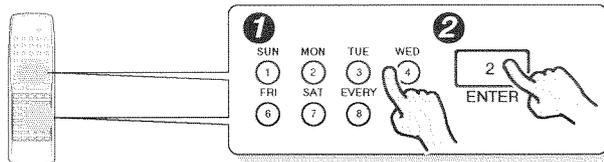


数字キーを押す順序は...

1993年なら... **1, 9, 9, 3**

●数字キーを間違えて押したときは、**CLEAR**キーを押して、やり直してください。

## 3 月、日を入力し、ENTER キーを押す



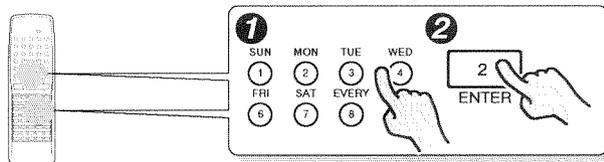
数字キーを押す順序は...

3月7日なら... **0, 3, 0, 7**

12月30日なら... **1, 2, 3, 0**

●数字キーを間違えて押したときは、**CLEAR**キーを押して、やり直してください。

## 4 時刻を合わせてENTER キーを押す



数字キーを押す順序は...

午前9時5分なら... **0, 9, 0, 5**

午後4時50分なら... **1, 6, 5, 0**

●数字キーを間違えて押したときは、**CLEAR**キーを押して、やり直してください。

●時報と同時に**ENTER**キーを押すと正確な時刻合わせができます。

●停電があったり、電源プラグをコンセントから抜いたときは時刻表示が点滅します。その場合は、もう一度時刻合わせをしてください。

## カレンダーチェックのしかた

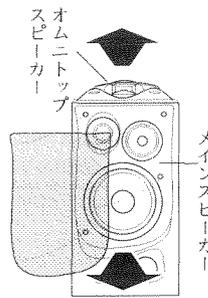
西暦年、月、日を入力すると、入力した日の曜日が自動的に点灯します。

●チェックできる範囲は、1900年1月1日～2099年12月31日です。



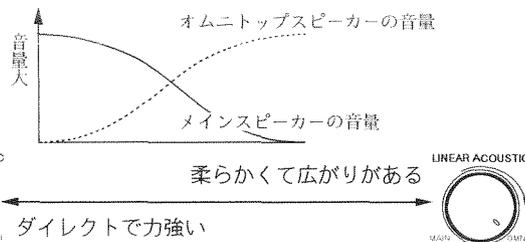
# 音の調節のしかた

## メインスピーカーとオムニトップスピーカーの音量バランスを調節する



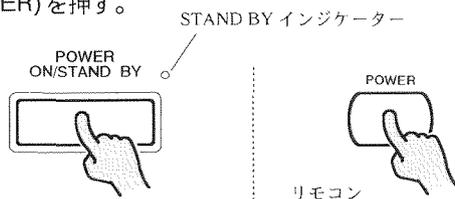
メインスピーカーとオムニトップスピーカーの音量バランスを、自由に変えることができます。聴いている曲の雰囲気や、その日の気分に合わせて、いろんな音の響きが楽しめます。

- つまみを片側に回しきると、メインまたはオムニだけの音を楽しめます。



## 電源の ON/OFF

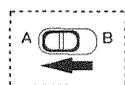
パワーアンプ/グラフィックイコライザーの電源キー (POWER) を押す。



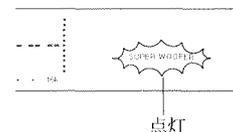
- パワーアンプ/グラフィックイコライザーの POWER キーだけで基本システムの電源 ON/OFF ができます。

## スーパーウーファー (別売 SW-07) で重低音を楽しむ

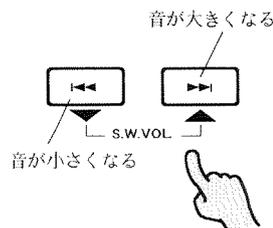
- 1 S.W.EFFECT キーを押す



パワーアンプ/グラフィックイコライザー部の表示

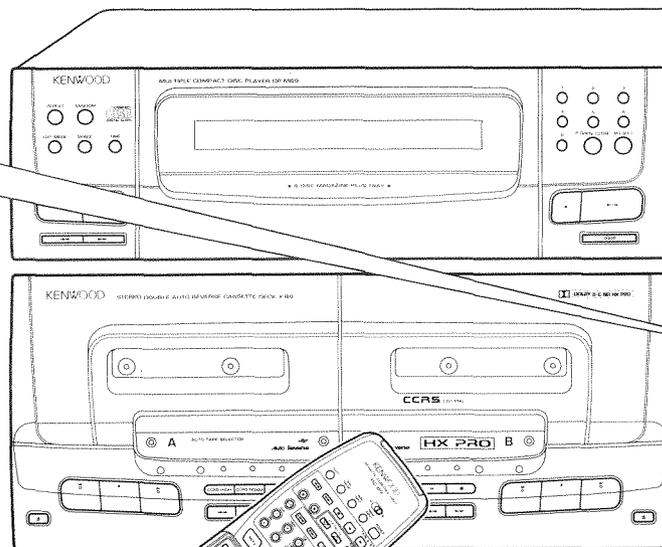


- 2 スーパーウーファーの音量を調整する



または、スーパーウーファーのボリュームコントロールで調節する。

- スーパーウーファーの音量を一度決めると、あとは VOLUME CONTROL だけで、同じバランスのまま増減します。



## POWER スイッチの STAND BY について

本機では電源プラグをコンセントに接続すると、電源 ON/OFF に関係なく STAND BY インジケーターが点灯します。これは電源 OFF 時にも、メモリー保護のため、微弱な通電を行っているためです。これをスタンバイ状態といいます。STAND BY インジケーターが点灯しているとき、リモコン操作によっても電源の ON/OFF ができます。

### 小音量で大きくとき

低音不足を補います。

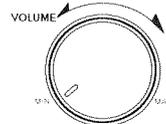
LOUDNESS



- もう一度押すと、解除されます。

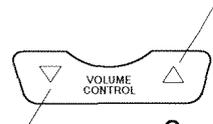
### 音量を調節する

音が小さくなる 音が大きくなる



プリアンプ/チューナー部

音が大きくなる



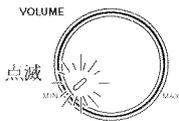
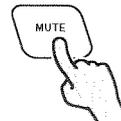
音が小さくなる

リモコン

- リモコンで調節すると、キーを押している間、VOLUMEつまみのポイントインジケータが点滅しながら回転します。

### 一時的に音を消したいとき

リモコンのみ



- もう一度押すと、元の音量に戻ります。

### 左右の音量バランスを調節する

BALANCE

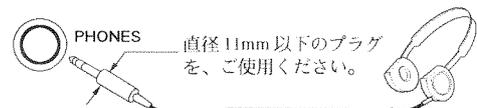


右側の音が小さくなる

左側の音が小さくなる

### ヘッドホンで聴く

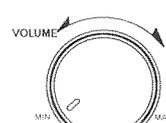
- ① ヘッドホンのプラグを PHONES 端子に差し込む



- すべてのスピーカーから音が出なくなります。
- オムニトップスピーカーから出る音は、ヘッドホンからは、聞こえません。

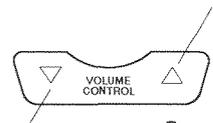
- ② 音量を調整する

音が小さくなる 音が大きくなる



プリアンプ/チューナー部

音が大きくなる



音が小さくなる

リモコン

- プラグを抜くときは音量を絞ってから抜いてください。

### 重低音の補正



N.B. CIRCUIT : Natural Bass CIRCUIT

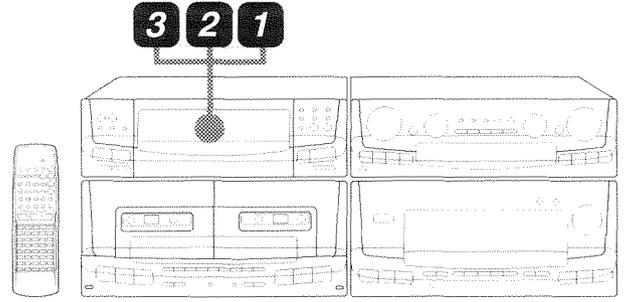
- 通常は中央の位置に(図のように)しておいてください。
- より自然な低音にするために調節します。

## プリアンプ/チューナーの入力切替とイージーオペレーション機能について

プリアンプ/チューナーの MAIN INPUT キーで入力 (TAPE、TUNER、CD など) を切替えるだけで、選んだ機器が再生を始めます。逆に、目的の機器を再生させると、入力切替キーが自動的にその機器に切り換わります。

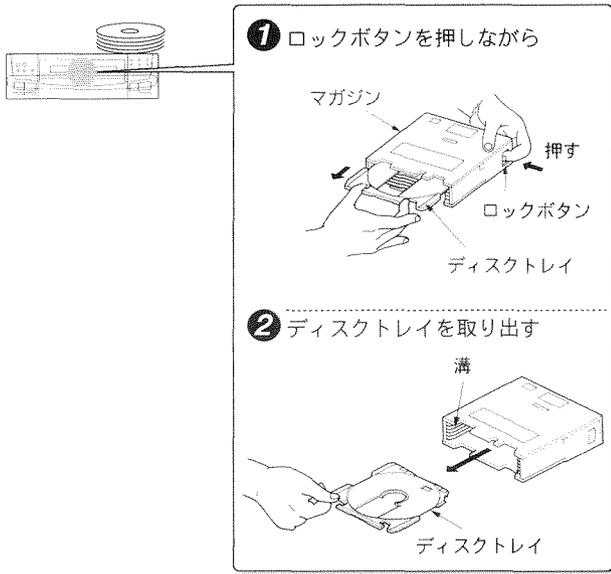
リモコンでも同様に操作できます。なお、電源を入れたときは、電源を切る前にきいていたソース (TUNER、CD など) になります。

※バーチャルリアリティーサウンド再生 (メインスピーカーとオムニトップスピーカーから別々の音を出す) のときは、イージーオペレーションは働きません。

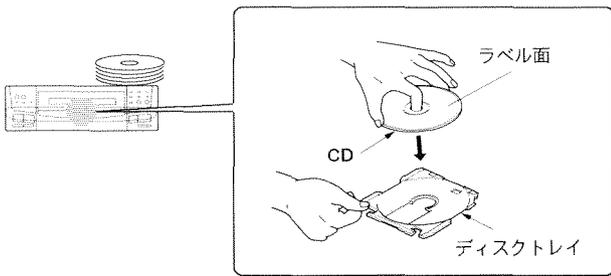


## マガジンにディスクを入れる

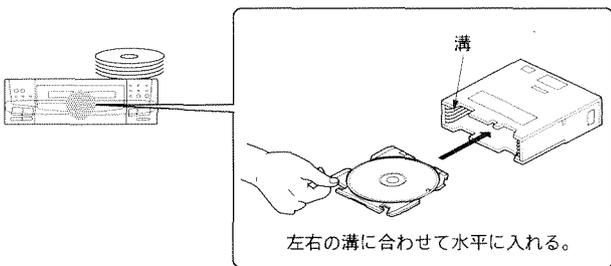
### 1 ディスクトレイを取り出す



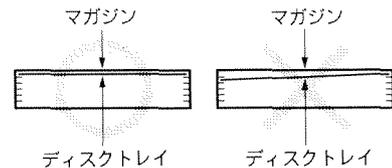
### 2 ディスクをのせる



### 3 トレイをマガジンに入れる

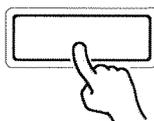


- 市販のCDシングル(8cm)ディスクアダプターは、本機では使用できません。CDシングル(8cm)ディスクを使用するときは、別売のCDシングル用マガジン“CDM-608”を使用してください。

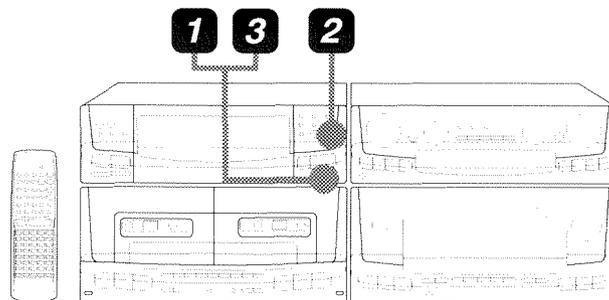


- ディスクは必ずディスクトレイにのせてマガジンに入れてください。
- ディスクの有無にかかわらずマガジンには、6枚のディスクトレイを入れておいてください。
- マガジンを持ち運ぶときは、水平に持ってください。

準備しましょう

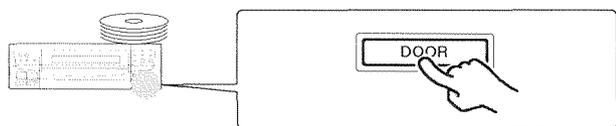
POWER ON/STAND BY 

下記の操作をする前に必ずパワーアンプ/グラフィックイコライザーの電源をONにする

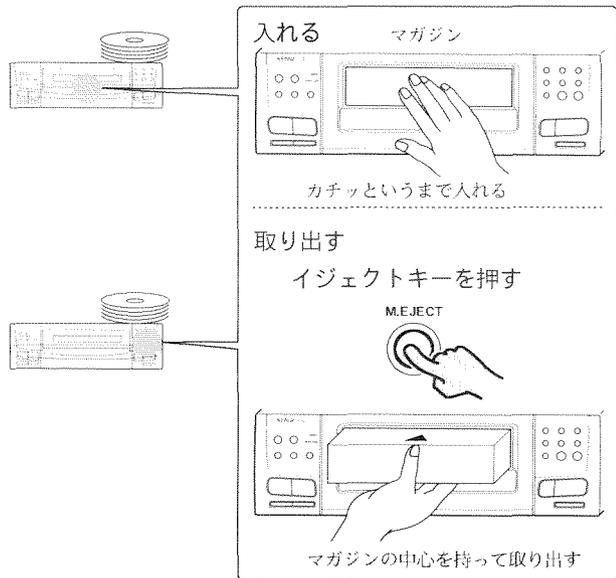


## マガジンを入れる (取り出す)

### 1 ドアを開ける

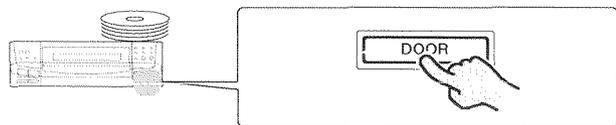


### 2 マガジンを入れる (取り出す)

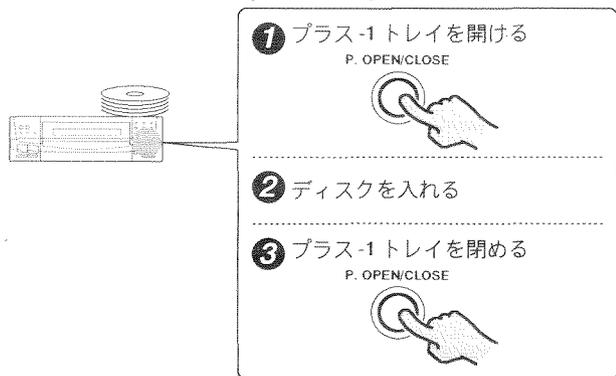


- **M.EJECT**キーを押すと、ドアが開いてマガジンが出てきます。

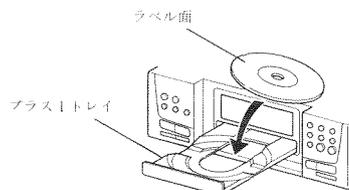
### 3 ドアを閉める



## プラス-1トレイにディスクを入れる

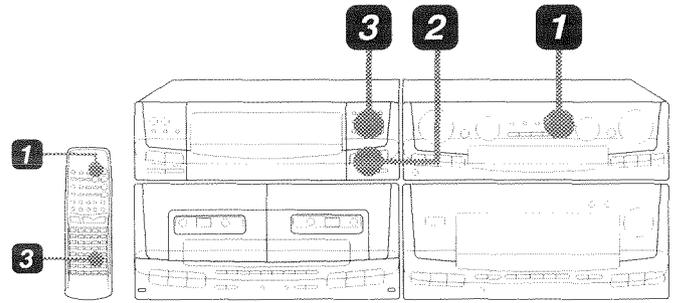


- ドアが開いてプラス-1トレイが出てきます。
- ディスクは、トレイの溝に合わせて、正しく置いてください。(ディスクを斜めに置くと、故障の原因になります。)



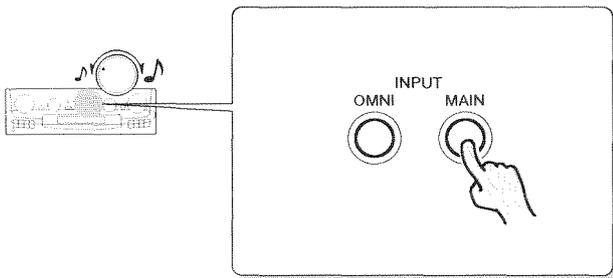
- プラス-1トレイが閉じてドアが開まります。

CDを、1曲目から、そのままの曲順で聴くときの使いかたです。



## 1曲目から順に聴く

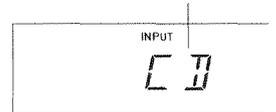
### 1 “CD” を選ぶ



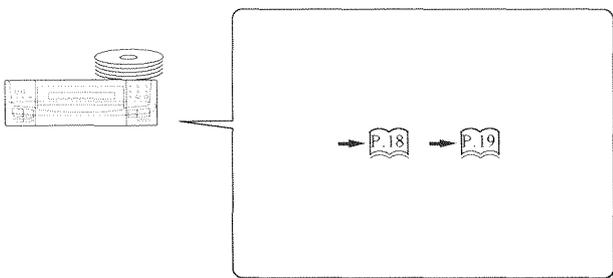
押すたびに切り替わります。

- ① CD
- ② TUNER (周波数の表示)
- ③ TAPE
- ④ MD / DAT
- ⑤ VIDEO
- ⑥ AV AUX

“CD” の表示にします

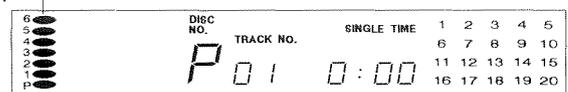


### 2 ディスクを入れる

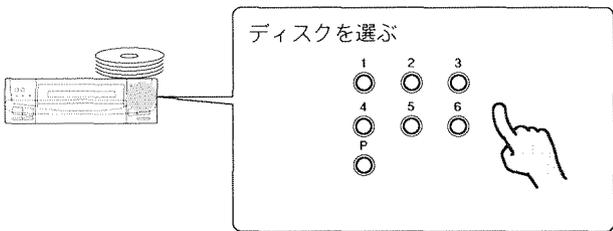


- 1枚のディスクのみ再生するときは、マガジンを取り出しプラス-1トレイのみにディスクを入れます。

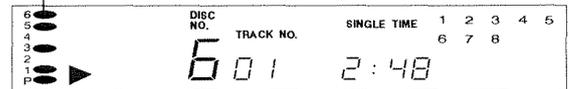
ディスクの有無にかかわらず、すべてのディスクインジケーターが点灯します。



### 3 再生を始める

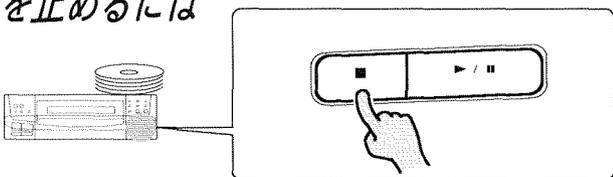


選ばれたディスクが無いとき消灯します。

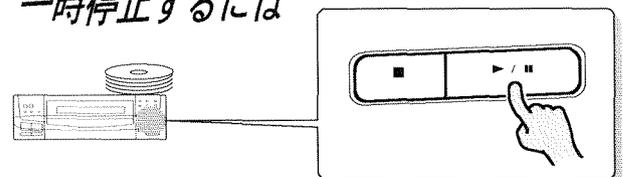


- 選ばれたディスクから、ディスクNo. 順に再生が始ります。
- ディスクを選ばずに▶/■キーを押すと、自動的に次の順番で再生されます。(P→1→2→3→4→5→6) P: プラス-1トレイ

### 再生を止めるには



### 一時停止するには

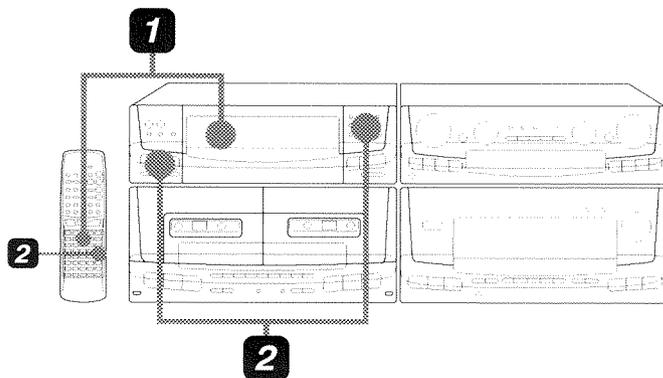


- 押すたびに、一時停止と再生が切り替わります。

### 準備しましょう

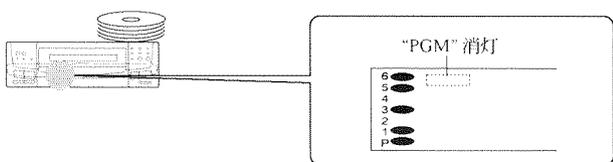
→ P.19

- CDプレーヤーにディスクを入れる。
- **MAIN INPUT**キーで"CD"を選ぶ。



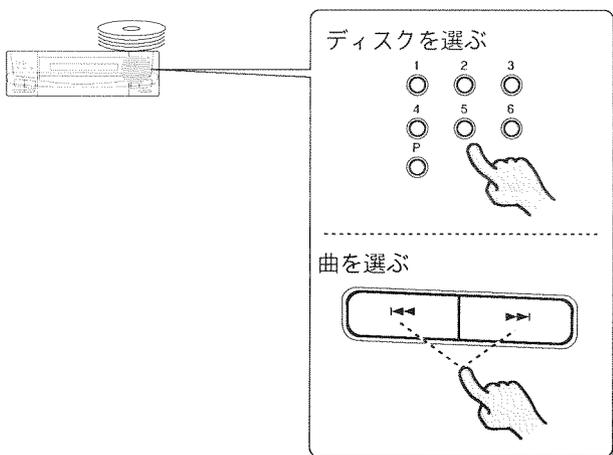
## 聴きたい曲を選ぶ

### 1 "PGM" 表示の消灯を確かめる



- "PGM"表示が消灯していないときは、リモコンの**P.MODE**キーを押して消灯させてください。

### 2 聴きたい曲を選ぶ

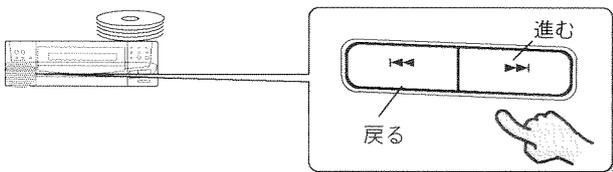


数字キーを押す順序は...

- 23 曲目なら: **+10 +10 3**
- 40 曲目なら: **+10 +10 +10 +10 0**

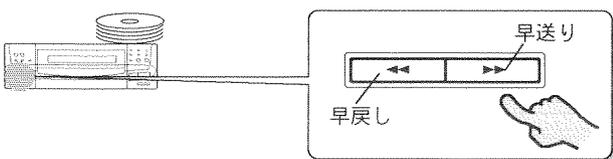
- 選んだ曲以降を再生します。
- トレーを開けた状態でディスクにない曲を選ぶと、ディスクの最後の曲を再生します。
- トレーを閉めた後、および再生が始まってからは、ディスクにない曲を選ぶことはできません。

### 曲を飛び越すには (スキップ)



- 再生中に **||◀◀** キーを1回押しと、その曲の最初に戻ります。

### 早送り・早戻しするには (サーチ)



- 手を離れた所から、再生します。

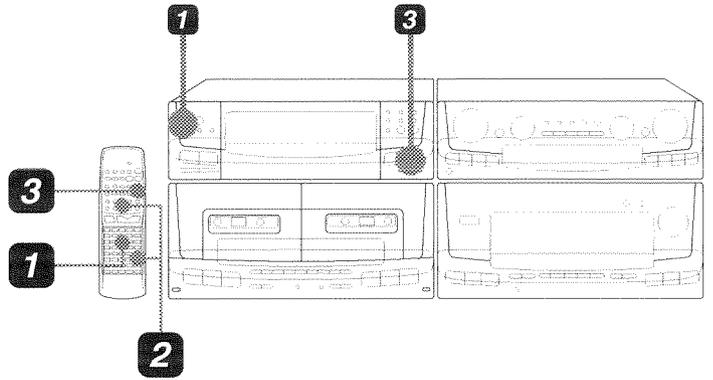


22 7枚のディスクの中から、好きな曲を好きな順番で(最大32曲)プログラムできます。

準備しましょう

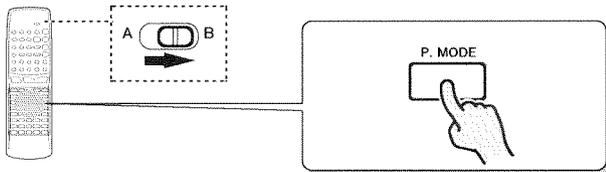


- MAIN INPUT キーで“CD”を選ぶ。
- CDプレーヤーにディスクを入れる。

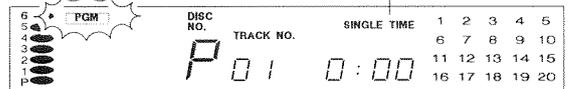


## 曲順を自由にプログラムする

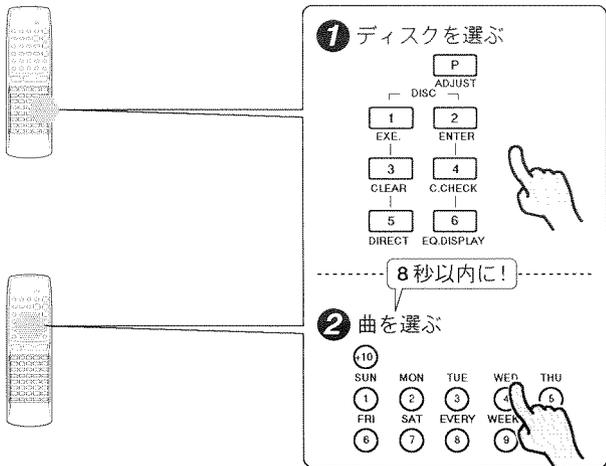
### 1 PGMモードに切り換える



点灯 プログラムモードでは、“SINGLE TIME”表示のみです。



### 2 聴きたい順に曲を選ぶ



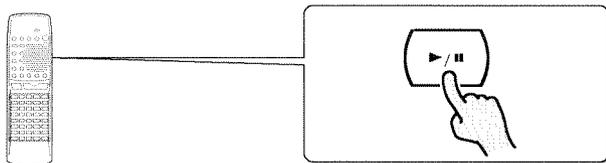
選んだ曲番号を表示します



- 32曲まで選べます。33曲になると、“FULL”と表示します。
- 間違えたときは、[CLEAR]キーを押してから、選び直してください。
- ディスクを選んだから8秒以内に曲を選ばないと、そのディスクの全ての曲がプログラムされます。
- ディスクの入っていないDISC No.を選ぶと、いったんプログラムされますが、再生のときにキャンセルされます。

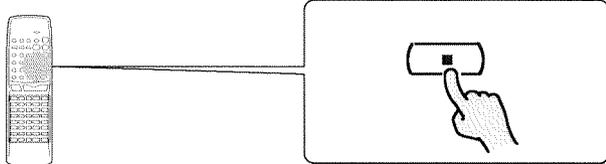
2枚以上のCDから曲を選ぶときは、①と②を繰り返してください。

### 3 再生する

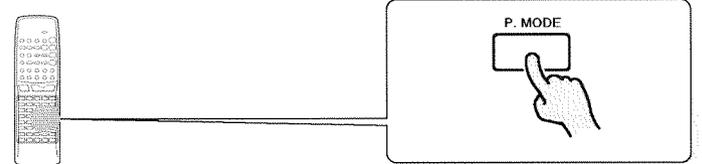


- 選んだ順(P-番号順)に再生します。
- 再生中に、[◀◀]または[▶▶]キーを押すと、押した方向へ飛び越します。

### 再生を止めるには



### 曲番号順の再生にするには



- そのとき聴いている曲から、曲番号順の再生に戻ります。

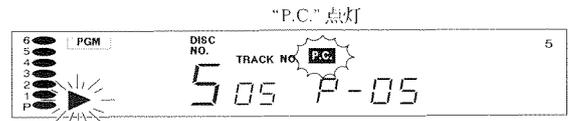
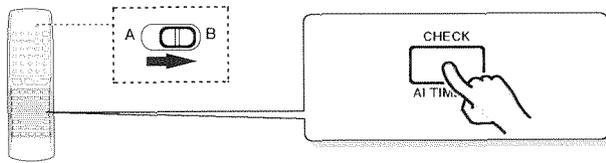
CDを聴く

## オートスペース機能について

カセットに録音するときに便利な機能です。曲順のプログラム中に **SPACE** キーを押すと、曲間に約4秒間の無音部分が作られます。この状態でカセットに録音すれば、**DPSS** 機能(無音部分を探す)を使って、テープの頭出しやリピート再生などが確実に行えます。

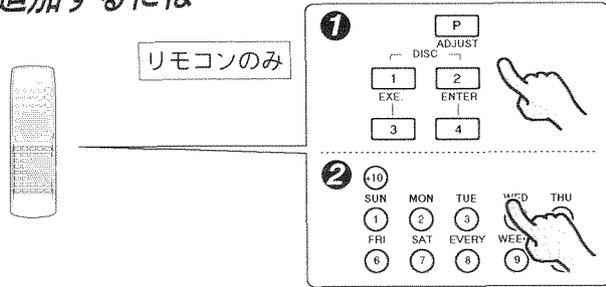
- 前曲と次曲の演奏がつながっている場合でも(クラシックやライブ収録など)、別々の曲番号がついていれば無音部分が作られます。
- 解除するときは、もう一度 **SPACE** キーを押してください。

### プログラムした曲順を確認するには リモコンのみ



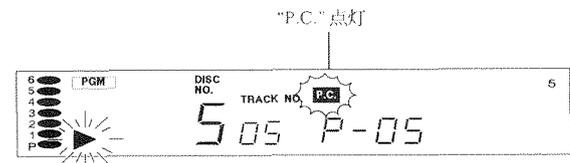
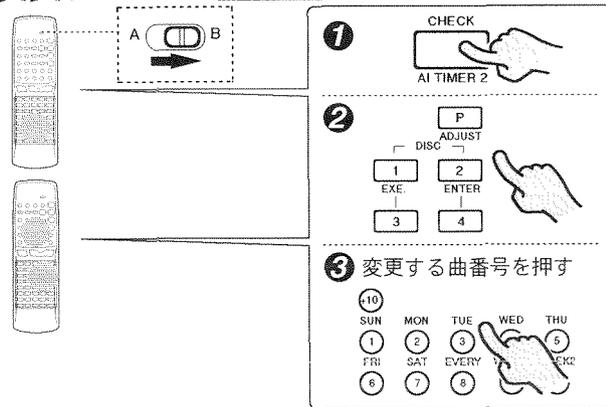
- 押すたびに、プログラムした曲順(P-NO)と、DISC番号を表示します。
- 数秒後に元の表示に戻ります。

### 曲を追加するには



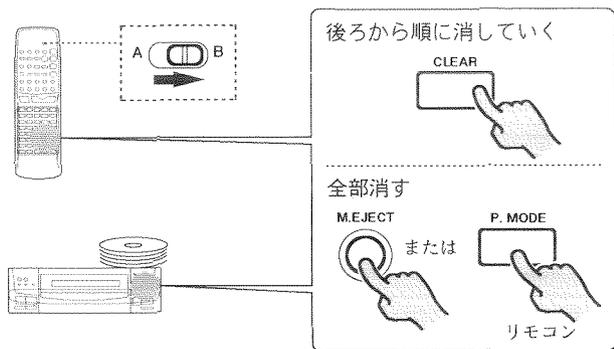
- 追加したいDISC番号と曲番号を選ぶと、プログラムの最後に追加されます。

### 曲を変更するには リモコンのみ



- 変更したい曲番号が表示されるまで、繰り返し **CHECK** キーを押します。
- "P.C."表示の点灯中に押してください。
- そのとき聴いている曲は変更できません。

### プログラムした曲を取り消すには



#### リモコンのみ

- 押すたびに、最後の曲から1曲ずつ消えていきます。
- そのとき聴いている曲は取り消せません。

- P.OPEN/CLOSE キーでもプログラムの内容が、全部消えます。

準備しましょう



- **MAIN INPUT** キーで“CD”を選ぶ。
- CDプレーヤーにディスクを入れる。

## 繰り返し聴く (リピートプレイ)

### 選んだ曲だけを繰り返すには

- PGMモードにする**  
P. MODE
- ディスクを選ぶ**  
DISC (1, 2, 3, 4), EXE, ENTER, CLEAR, C.CHECK
- 曲を選ぶ**  
SUN, MON, TUE, WED, THU, FRI, SAT, EVERY, WEEK1, W
- REPEATを指定する**  
REPEAT, AI TIMER
- 再生する**  
▶/||

### ディスク全体を繰り返すには

- “PGM”表示を消灯させる**  
P. MODE
- REPEATを指定する**  
REPEAT, AI TIMER
- 再生する**  
▶/||

## CDプレーヤーの時間表示について

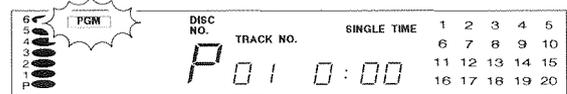
**TIME**キーを押すたびに、ディスプレイの表示が切り換わります。



( --- : --- 21曲目以降の再生中は、“SINGLE TIME”の残り時間がこのようになります )

- PGMモードとRANDOMモードでは、SINGLE TIME表示のみです。

“PGM”表示を点灯させます。



- ディスクを選んでから8秒以内に曲を選ばないと、そのディスクの全ての曲がプログラムされます。
- 選んだ曲全部を繰り返します。
- 1曲だけ選んだ場合は、その曲だけを繰り返します。
- ②と③を繰返して32曲まで選べます。
- プラス-1トレイのみで繰返し再生をするときは、②でプラス-1トレイを選んで8秒以上待ちます。

“REPEAT”表示を点灯させます。



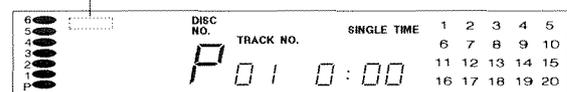
### 繰り返し再生をやめるには

もう一度、**REPEAT**キーを押します。

- “REPEAT”表示が消灯し、CDプレーヤーのモードに従った再生に戻ります。

- マガジン、プラス-1トレイにあるディスクの全ての曲を繰返し再生します。

“PGM”表示を消灯させます。



“REPEAT”表示を点灯させます。



### 繰り返し再生をやめるには

もう一度、**REPEAT**キーを押します。

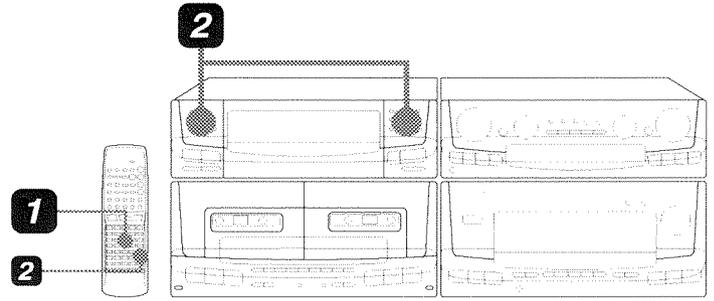
- “REPEAT”表示が消灯し、CDプレーヤーのモードに従った再生に戻ります。

毎曲がランダム(無作為)に選択されるので、長時間でも飽きることなく楽しめます。

準備しましょう

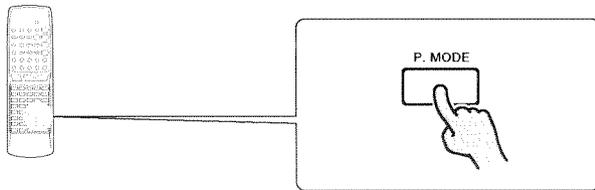
→ P.19

- **MAIN INPUT**キーで"CD"を選ぶ。
- CDプレーヤーにディスクを入れる。



## 順番にこだわらずに聴く(ランダムプレイ)

### 1 PGM表示を消灯させる



"PGM"表示を消灯させます。



### 2 ディスクを選ぶ

1枚のディスク

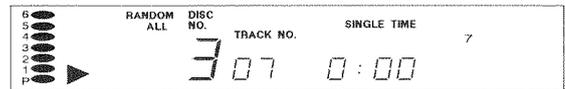
全てのディスク

RANDOM ONE を選ぶ

RANDOM ALL を選ぶ

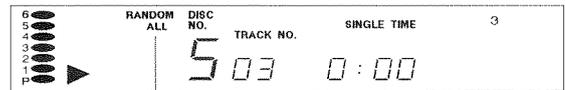
RANDOM

最初にディスク3の7曲目が選ばれたとき

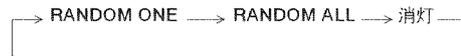


● 1曲終わると次々に曲を選び、再生していきます。

次にディスク5の3曲目が選ばれたとき



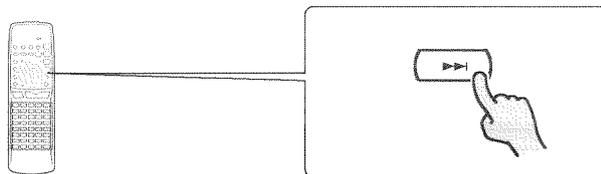
"RANDOM ONE" / "RANDOM ALL" の表示



押すごとに切り換わります。

● 同じ曲が連続して再生されることはありませんが、もう一度再生されることがあります。

### 曲の途中で別の曲を選ぶには



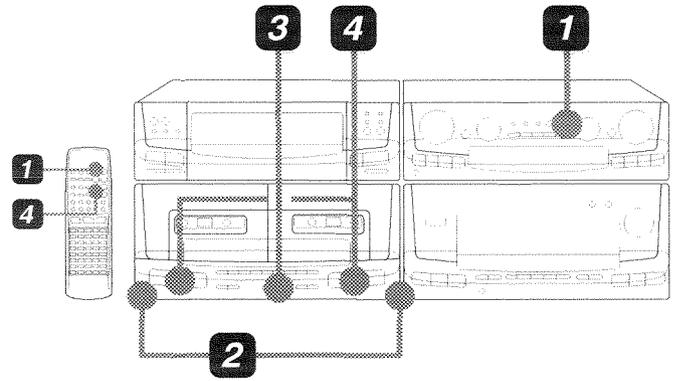
● **SKIP**キーを1回押すと、再生している曲の初めに戻ります。

### ランダム再生をやめるには

"RANDOM"表示を消灯させる

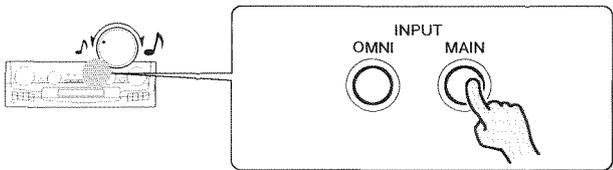
または

- **STOP**キーを押すと再生が停止します。
- **RANDOM**キーを押すと通常再生になります。



## テープの再生

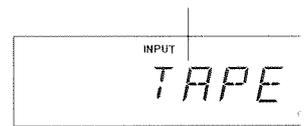
### 1 "TAPE" を選ぶ



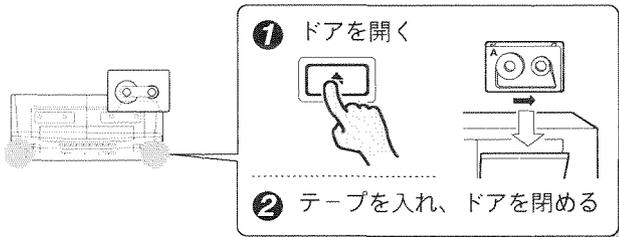
押すたびに切り替わります

- ① CD
- ② TUNER (周波数の表示)
- ③ TAPE
- ④ MD/DAT
- ⑤ VIDEO
- ⑥ AV/AUX

"TAPE" の表示にします



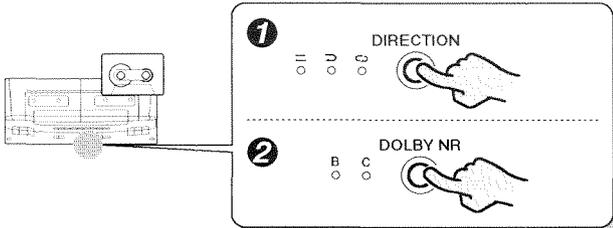
### 2 カセットテープを入れる



- ノーマル、クローム、メタルのテープ選択は自動設定されます。
- テープはたるみのない状態にして入れてください。

- ドアは、確実に閉めてください。

### 3 再生モードを決める



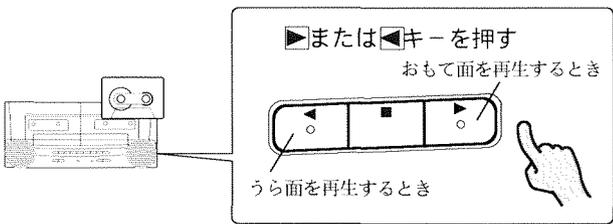
押すたびに切り替わります

- ① "∞"... エンドレス再生をする
- ② "∞"... 片面のみを再生して止まる
- ③ "∞"... 両面を再生して止まる

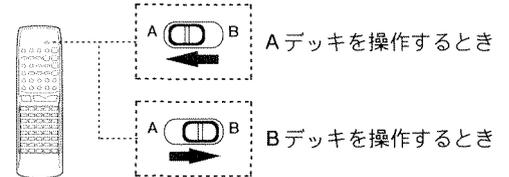
- ① DOLBY NR "B" ..... 一般的なタイプ
- ② DOLBY NR "C" ..... より高性能なタイプ
- ③ DOLBY NR "OFF" (消灯)... DOLBY NR を使わない

- DOLBY NR は、テープの録音状態に合わせて選んでください。

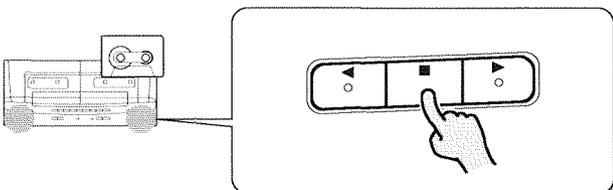
### 4 再生する



- リモコンを使う場合は、A/B 切換えスイッチで、操作するデッキを選びます。

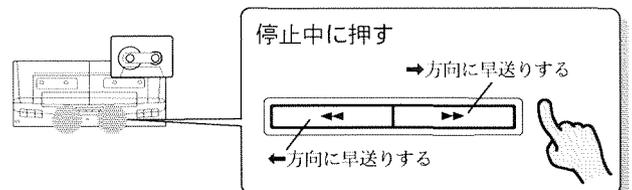


### 再生を止めるには



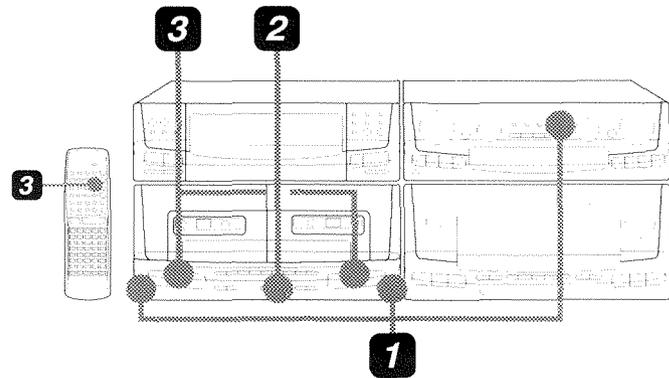
- テープが完全に停止するまで、イジェクトキーを押さないでください。

### 早送り・早戻しするには



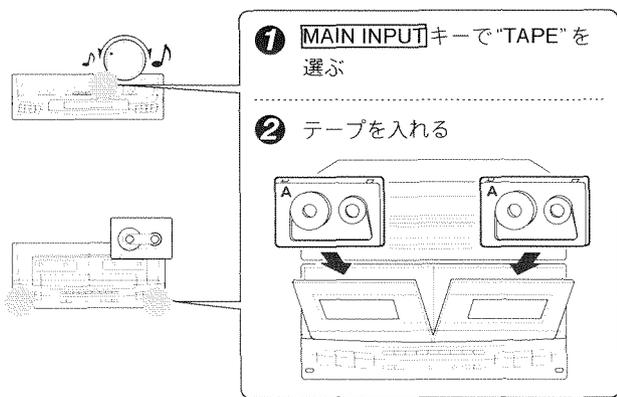
- 早送りを止めるときは、■キーを押してください。

A、B 両デッキに入れたテープを交互に繰り返し再生します。

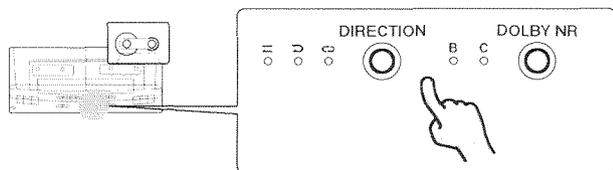


## リレー再生のしかた

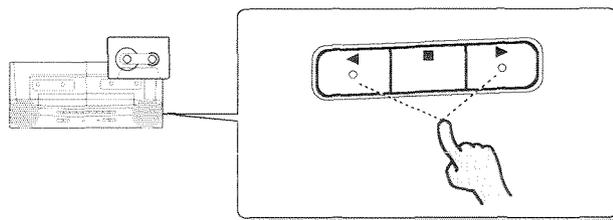
### 1 テープを入れる



### 2 再生モードを選ぶ



### 3 再生する



●テープは走行方向インジケーターと同じ向きの面を再生します。

押すたびに切り替わります

- ▶ ① "∞"...このときは、リレー再生になりません
- ▶ ② "ニ"...A,B デッキの片面だけを繰り返し再生します
- ▶ ③ "つ"...A,B デッキの両面を繰り返し再生します

- ▶ ① DOLBY NR "B" ..... 一般的なタイプ
- ▶ ② DOLBY NR "C" ..... より高性能なタイプ
- ▶ ③ DOLBY NR "OFF"(消灯)...DOLBY NR を使わない

●DOLBY NR は、テープの録音状態に合わせて選んでください。

●押した方のデッキから再生が始まります。

## ドルビーノイズリダクション (NR) とは

ドルビー NR システムは、テープを聴くときの「サー」というヒスノイズを、できるだけ聞こえにくくするためのシステムです。B タイプと C タイプがありますが、録音するときと再生するときと同じタイプを選ばないと効果がありません。

テープには「B」、「C」の区別を書き込んでおきましょう。

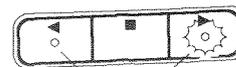
ドルビー B NR：一般的なドルビー NR 方式です。

ドルビー C NR：B タイプよりもノイズ低減効果が優れています。

本機だけで録音再生するときはドルビー C NR の利用をおすすめします。

## 走行方向表示について

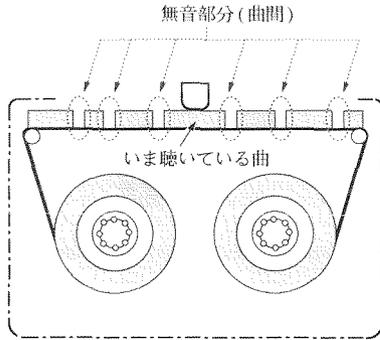
イージーオペレーションなどで、再生や録音が自動スタートするとき、テープが進む方向を、◀▶ キーのインジケーター(◀▶)の点灯で示します。最後にテープを止めたときの方向が記憶されます。(向きを変えるときは、いったん逆向きの▶◀キーを押してから▶◀キーを押します。)



走行方向表示

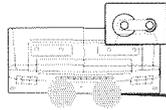
## DPSS (ダイレクト・プログラム・サーチ・システム) について

4秒以上の無音部分を「曲間」として探し出す機能で、4種類の使いかたがあります。



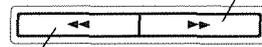
1. 飛び越し選曲 : 途中の曲を飛び越して、目的の曲の最初から再生します。最大16曲まで飛び越せます。
2. ダッシュ&プレイ : 10秒以上の無音部分を早送りで飛び越しながら、繰り返し再生します。
3. 巻き戻し再生 : テープを巻き戻して、最初から再生します。
4. 1曲リピート再生 : 同じ曲を16回繰り返し再生して再生します。

## 飛び越し選曲



おもて面を聴いているとき (▶点灯中)

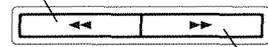
次の曲を聴くとき :1回押す  
4曲先を聴くとき :4回押す



聴いている曲の最初に戻る :1回押す  
4曲前に戻る :5回押す

うら面を聴いているとき (◀点灯中)

次の曲を聴くとき :1回押す  
4曲先を聴くとき :4回押す

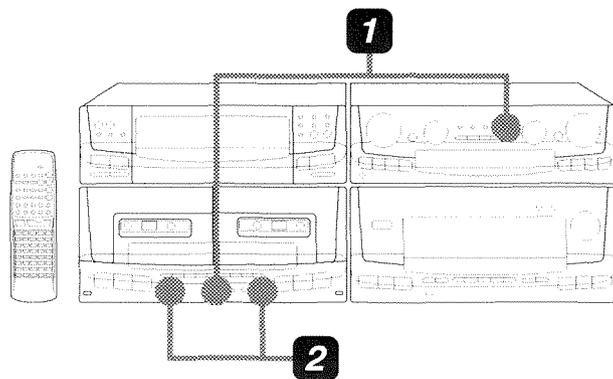


聴いている曲の最初に戻る :1回押す  
4曲前に戻る :5回押す

**ご注意**

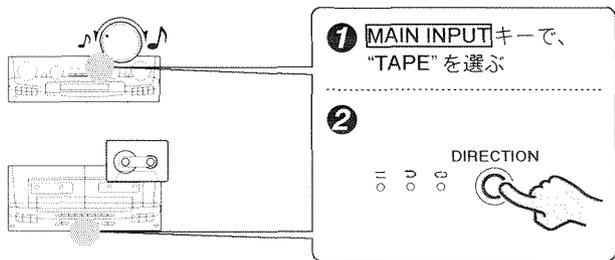
1. DPSSは、Aデッキ、Bデッキ同時には使えません。
2. 次のようなテープでは、DPSSが正常に動作しません。
  - 会話、落語などで音声4秒ぐらい途切れるテープ
  - クラシック音楽など、1曲の中に、音量が極端に小さくなる場所のあるテープ
  - 曲間に、大きな雑音などが録音されているテープ
  - 曲間が4秒未満のテープ
  - 小さな音で録音されたテープ
  - クロスフェード録音(前曲の最後に、次曲の最初が重なっていること)されたテープ



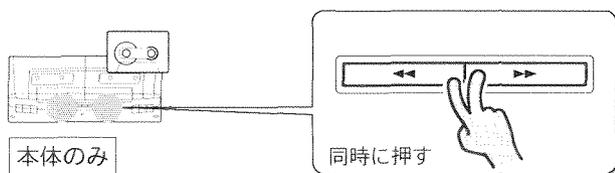


## ダッシュ&プレイ

### 1 再生モードを選ぶ



### 2 ダッシュ&プレイを始める



再生中に10秒以上の無音があると、その部分を自動的に早送りし、音声のある部分だけを再生します。

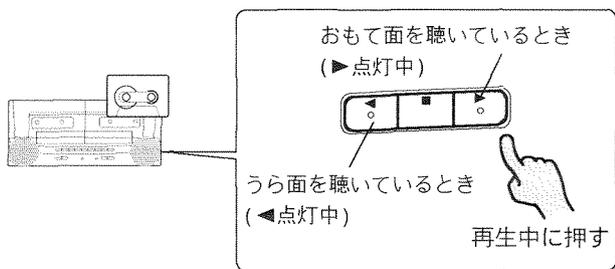
押すたびに切り替わります

- ① "∞"...両面を8回繰返し再生して止まる
- ② "∞"...片面だけを8回繰返し再生して止まる
- ③ "∞"...両面を1回だけ再生して止まる

- A, B両方のデッキにテープが入っているときに、"∞"を選ぶと、一方のデッキのダッシュ&プレイ終了後に他方のデッキがダッシュ&プレイを始めます。これを16回繰返しして停止します。

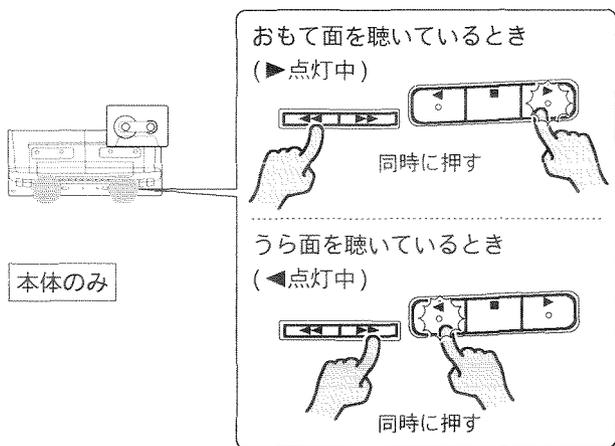
- ■キーを押すと再生が停止し、ダッシュ&プレイは取り消されます。

## 1曲リピート再生



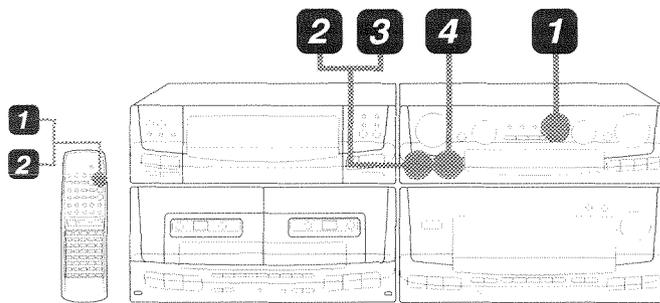
- そのとき聴いている曲を、16回繰返し再生し、通常の再生に戻ります。
- ■キーを押すと再生が停止し、1曲リピートは取り消されます。

## 巻き戻し再生



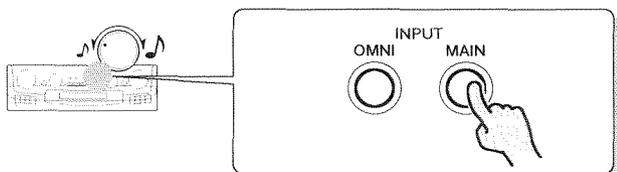
- そのとき聴いている面の最初まで巻き戻してから、再生が始まります。

ラジオ放送を受信する方法です。放送局を最大20局まで記憶させ、ワンタッチで受信することもできます。  
本機はAMステレオ対応です。スポーツ中継やドラマなどを臨場感あふれる音声で楽しむことができます。  
AMステレオ放送を行う局は、全国に広がりつつあります。  
AMステレオによる新しい発見をお楽しみください。  
(新聞、雑誌等のラジオ番組表でお確かめください。)



## 放送を受信する

### 1 “チューナー” を選ぶ



押すたびに切り替わります

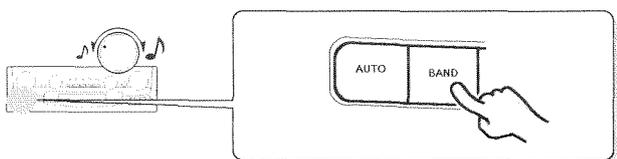
- ① CD
- ② TUNER (周波数の表示)
- ③ TAPE
- ④ MD/DAT
- ⑤ VIDEO
- ⑥ AV AUX

周波数の表示にします



放送を聴く

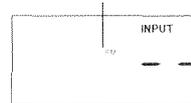
### 2 AM/FMのどちらかを選ぶ



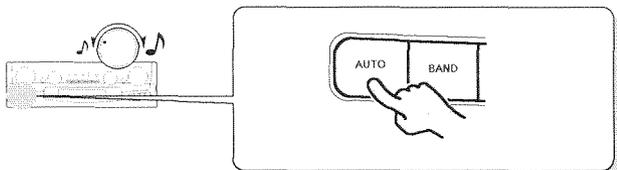
押すたびに切り替わります

- ① FM
- ② AM

AM/FMの表示



### 3 選局方法を選ぶ



押すたびに切り替わります

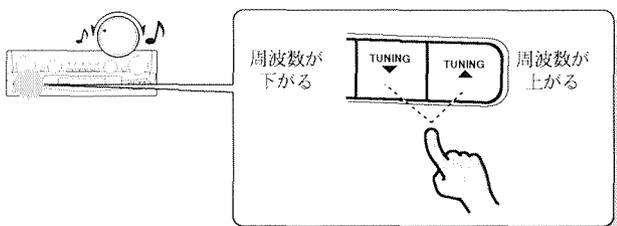
- ① AUTO点灯(オート選局)
- ② 消灯(マニュアル選局)

●通常は、AUTO(オート選局)にしておきます。



電波が弱く、雑音が多いときは、マニュアル選局にします。  
(マニュアル選局のとき、ステレオ放送はモノラル受信になります)

### 4 放送局を選ぶ



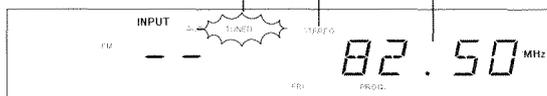
押すたびに切り替わります

- ① 入力ソース表示 : 選ばれている入力ソースを表示します。チューナーが選ばれているときは、受信中の周波数を表示します。
- ② プレゼンスモードの表示
- ③ 時計表示 ) 選局にかかわる操作をすると、数秒間だけ、
- ④ 月日表示 ) 周波数表示になります。

ステレオ受信時に点灯

受信すると、“TUNED” が点灯

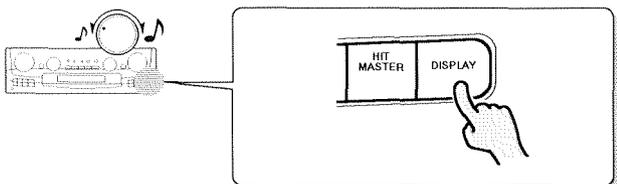
周波数の表示



オート選局のとき: 押すたびに次の放送局を受信します。  
マニュアルのとき: 受信するまで繰り返し押し。または押したままにする。

## DISPLAYキーの使いかた

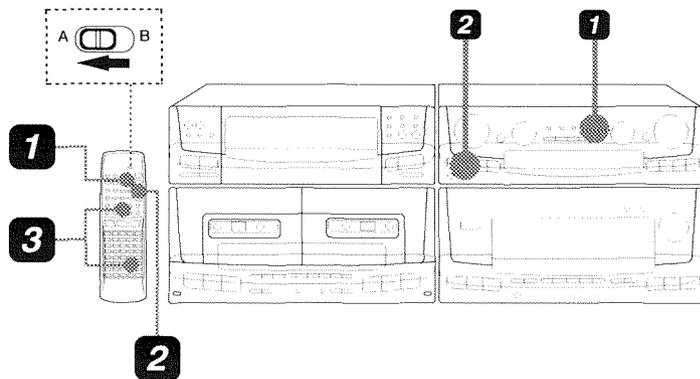
DISPLAYキーを押すたびに、プリアンプ/チューナーの表示内容が切り替わります。



押すたびに切り替わります。

- ① 入力ソース表示 : 選ばれている入力ソースを表示します。チューナーが選ばれているときは、受信中の周波数を表示します。
- ② プレゼンスモードの表示
- ③ 時計表示 ) 選局にかかわる操作をすると、数秒間だけ、
- ④ 月日表示 ) 周波数表示になります。

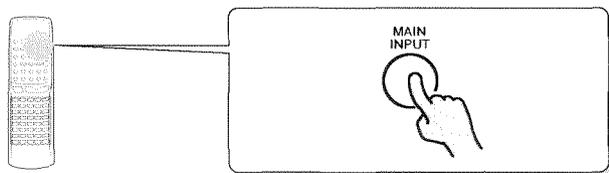
●電源がOFFのときは、月日/時計表示の切り換えになります。



## 周波数を指定して受信する

### 1 “チューナー” を選ぶ

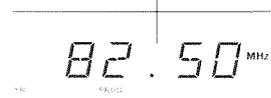
リモコンのみ



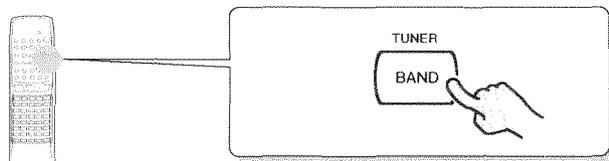
押すたびに切り替わります

- ① CD
- ② TUNER (周波数の表示)
- ③ TAPE
- ④ MD/DAT
- ⑤ VIDEO
- ⑥ AV AUX

周波数の表示にします



### 2 AM/FMのどちらかを選ぶ



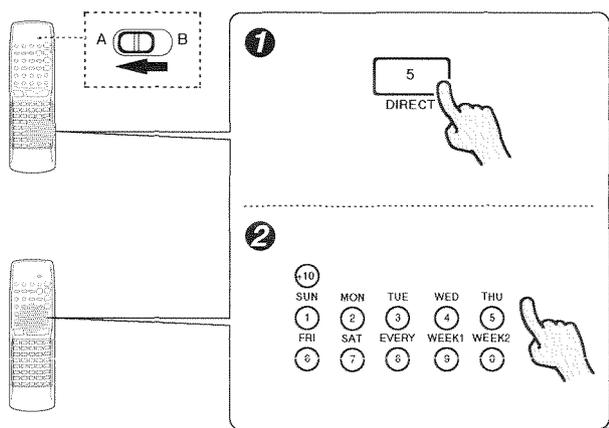
押すたびに切り替わります

- ① FM
- ② AM

AM/FM の表示



### 3 周波数を指定する

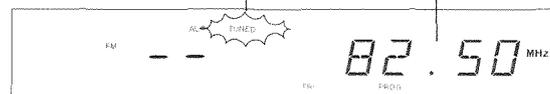


受信する周波数と、数字キーの押しかた

- AM 810kHz.....**[8][1][0]**  
 AM 1242kHz.....**[1][2][4][2]**  
 FM 80MHz.....**[8][0][0]**  
 FM 82.5MHz.....**[8][2][5]**

受信すると、“TUNED” が点灯

周波数の表示



- まちがった周波数を入力すると、ディスプレイが点滅します。正しい周波数を入力してください。
- まちがえたときは、**CLEAR** キーを押してからやり直します。

# 放送局を記憶させる (プリセット)

最大20局までの放送局に、番号を付けて記憶させておけば、次からは、番号を指定するだけで、受信できるようになります。

準備しましょう

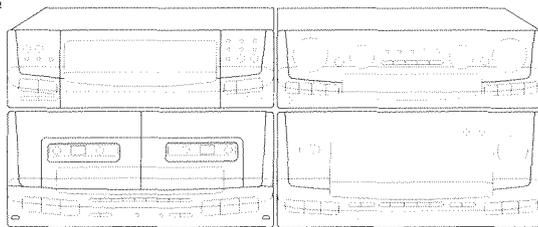
- 記憶させたい放送局を受信している状態にする。

→ P.30

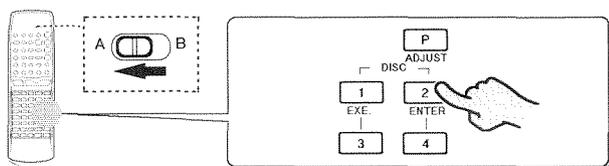


2

1



## 1 受信中に、ENTERキーを押す

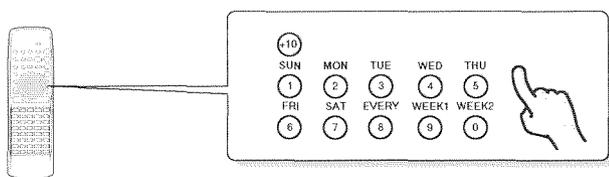


5秒以内に手順2へ 5秒以上たった場合は、もう一度押し直します。

リモコンのみ



## 2 1~20のプリセットナンバーをつける



数字キーを押す順序は...

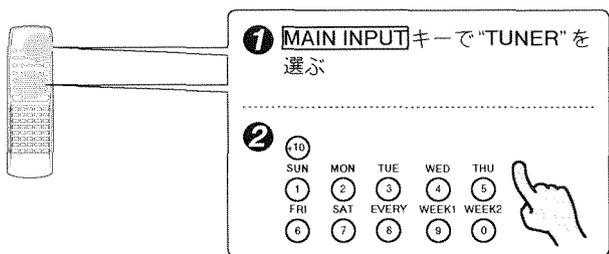
"15"に記憶させるとき: **+10** **5**

"20"に記憶させるとき: **+10** **+10** **0**

- プリセットを続けるときは、手順1、2を繰り返します。
- 同じ番号に重ねて記憶させると、新しい記憶内容に変更されます。

# 記憶させた放送局を受信する

目的の放送局のプリセットナンバーを押す



リモコンのみ

数字キーを押す順序は...

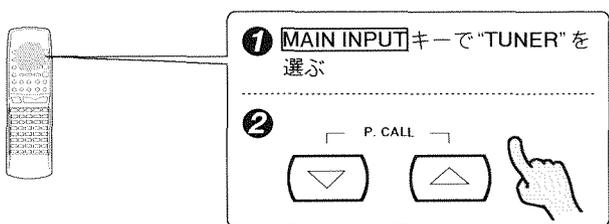
"15"なら...: **+10** **5**

"20"なら...: **+10** **+10** **0**

# 記憶させた放送局を順に聴く (プリセットコール)

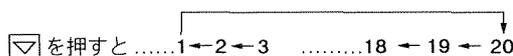
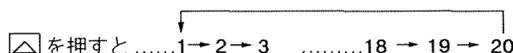
プリセットコール

P.CALL キーを押す



リモコンのみ

- キーを押すたびに、記憶されている放送局が順に切り替わります。



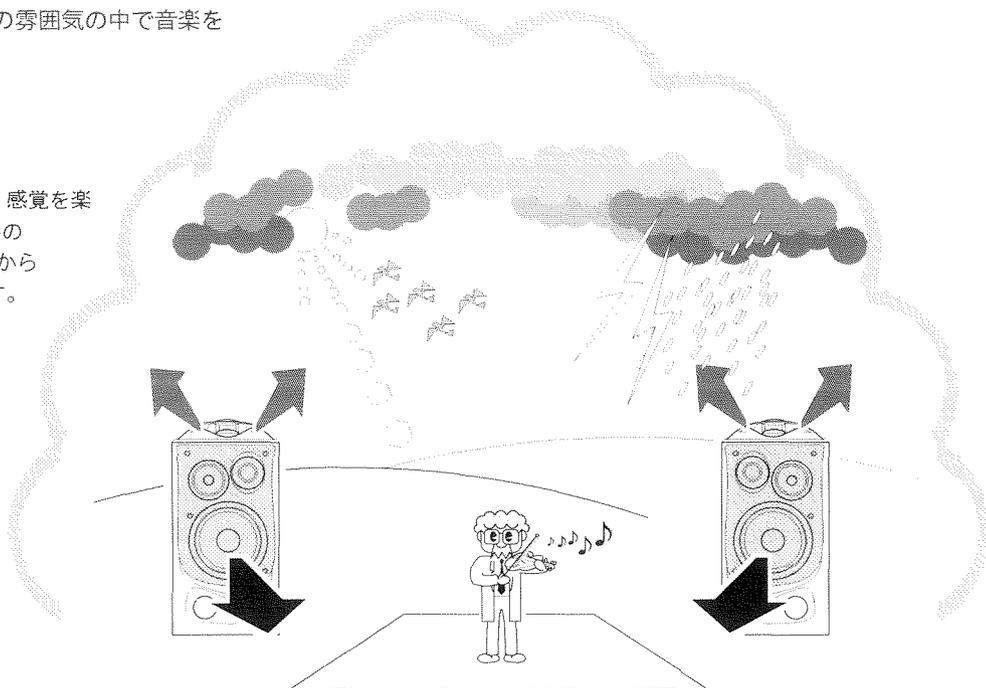
押したままにすると...約0.5秒間隔で、放送局をスキップします。



CD とテープなど、2種類のソースをメイン/オムニトップの両スピーカーから別々に再生する機能で、メインスピーカーからの音楽に、オムニトップスピーカーからのバーチャルリアリティーサウンドを重ね合わせると、あたかも、その場の雰囲気の中で音楽を聴いているような気分にひたれます。

## 自然音、生活音で楽しむ

自然の中で、または季節を感じながら音楽を聴く感覚を楽しめます。付属のCDに収録されている、お好みの「自然音」、「生活音」をオムニトップスピーカーから再生し、メインスピーカーから音楽を再生します。



バーチャル・リアリティー・サウンドシステム

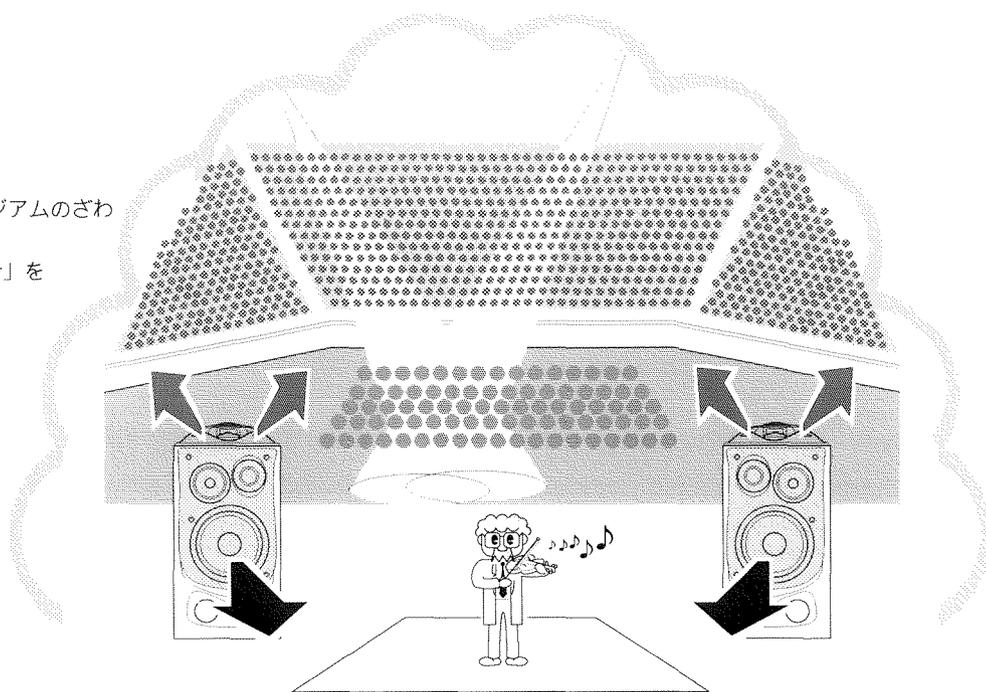
## 臨場音で楽しむ

コンサートホールやジャズクラブ、またはスタジアムのざわめきや歓声が、音楽を盛り上げます。付属のCDに収録されている、お好みの「臨場音」をオムニトップスピーカーから再生し、メインスピーカーから、音楽を再生します。



臨場音で楽しむ場合、DSPプレゼンスモードと組み合わせて使うことで、さらにリアルな雰囲気を楽しめます。

→ P.58

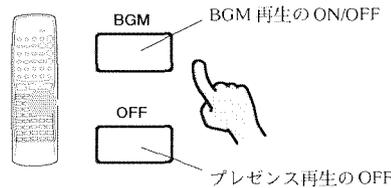


## 付属のCDについて

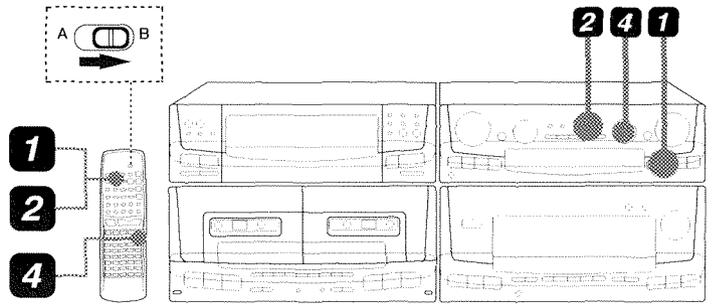
バーチャルリアリティーサウンドをバックにCDを聴きたいときは、付属のCDからテープに、お好みのトラックを録音してください。録音したテープをオムニトップスピーカーから再生し、お好きなCDの曲をメインとして再生できます。録音するときにCDプレーヤーのリピート機能を利用すると、同じトラックを何回も続けて録音できます。

→ P.24 → P.36  
リピート 録音

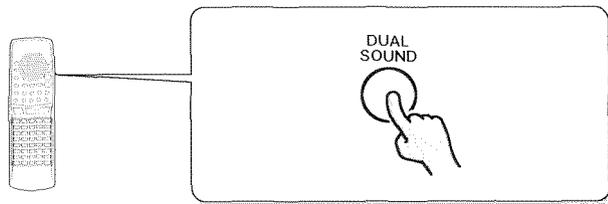
準備しましょう ●プレゼンス、BGM再生をOFFにします。



→ P.18 → P.26 → P.30 ●放送を受信するか、CDプレーヤーまたはカセットテープを再生します。



## 1 デュアルサウンドをONにする

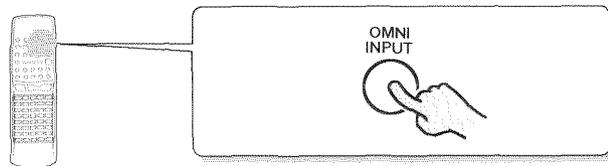


●プレゼンス、BGM表示の消灯を確かめます。

**DUAL SOUND**キーを押すたびに切り替わります

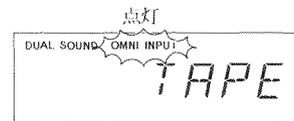
- ① LEVEL 1 (環境音の音量:小)
- ② LEVEL 2 (環境音の音量:中)
- ③ LEVEL 3 (環境音の音量:大)
- ④ LEVEL表示なし (環境音を出力しない)・"DUAL SOUND"消灯

## 2 バーチャル・リアリティー・サウンドを再生する機器を選ぶ



押すたびに切り替わります。

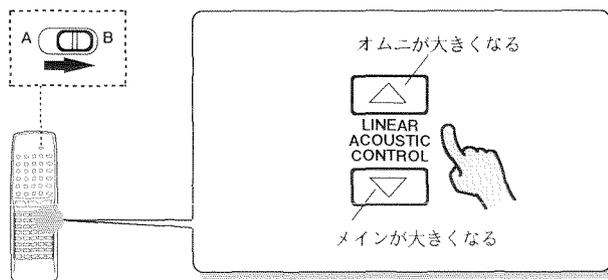
- ① CD
- ② TAPE
- ③ MD / DAT
- ④ AV AUX



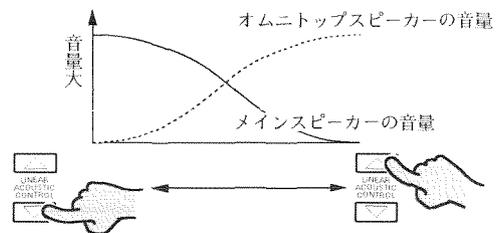
●"DUAL SOUND"表示の消灯中には、オムニ入力は選ばません。

## 3 バーチャル・リアリティー・サウンドを再生する

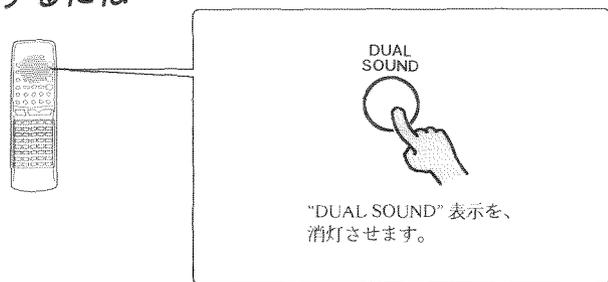
## 4 音量のバランスを調節する



●**LINEAR ACOUSTIC CONTROL**キーで、フロントスピーカーとオムニスピーカーの音量バランスを設定してください。



解除するには



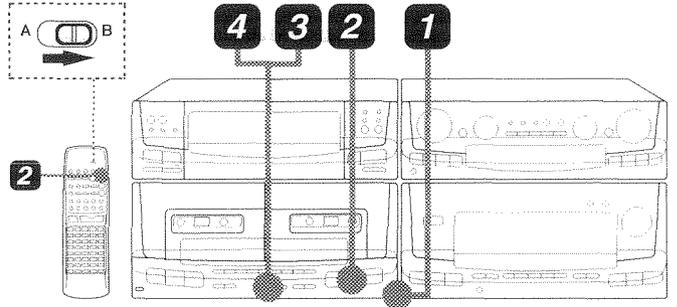
バーチャル・リアリティー・サウンドシステム

# 録音のしかた (Bデッキのみ)

本機はオートバイアス、CRLS(自動録音レベル設定)とDOLBY HX Pro headroom extensionを搭載しています。カンタンな操作できれいに録音できます。



音にイコライザーやプレゼンスの効果をかけると、効果のかった音が録音されます。  
バーチャルリアリティーサウンド機能を使うと、メイン入力とオムニ入力をミックスした録音ができます。CDとチューナー、あるいは接続した外部機器との組み合わせでお楽しみください。(この場合、Aデッキの音をBデッキで録音することはできません。)



## 録音の準備をしましょう

### 1 Bデッキにテープを入れる

- 1 Bデッキのドアを開く
- 2 テープを入れる
- 3 ドアを閉める

### 2 テープの進む向きを選ぶ

- 1 ▶または◀キーを押す  
おもて面から録音するとき / うら面から録音するとき
- 2 ■キーを押す

### 3 録音モードを選ぶ

### 4 DOLBY NRを選ぶ

- ノーマル、クローム、メタルのテープ種別は、自動設定されます。
- テープは、たるみのない状態で入れてください。
- マイクを使わない場合は、MIC MIXINGつまみを左いっぱい回しておいてください。

- 録音を始めると、このとき選んだ方向にテープが進みます。
- テープの頭出し(録音を始める位置をさがすこと)をしておきます。

押すたびに切り替わります。

- ▶ ① “∞”...(この場合も、両面を録音して止まります。)
- ▶ ② “=”...片面を録音して止まる
- ▶ ③ “∞”...両面を録音して止まる

押すたびに切り替わります。

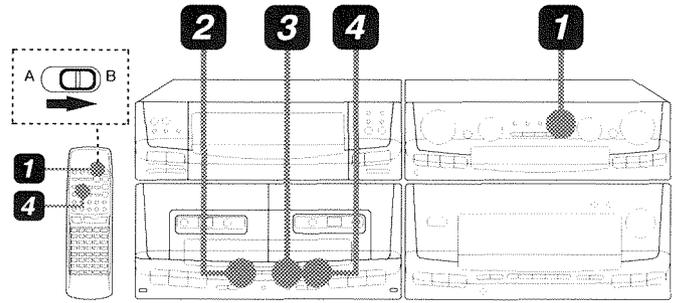
- ▶ ① DOLBY NR B ...Bタイプ(一般的なタイプ)を使う
- ▶ ② DOLBY NR C ...Cタイプ(より高性能なタイプ)を使う
- ▶ ③ DOLBY NR OFF(消灯)...ドルビーノイズリダクションを使わない

## 準備しましょう

→ P.36

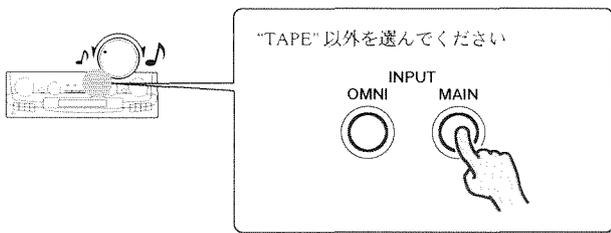
- Bデッキにカセットテープを入れる。
- テープの進む向き (◀▶) を選ぶ。
- “コ”(両面録音) / “ニ”(片面録音) を選ぶ。
- ドルビーノイズリダクションを選ぶ。
- (CDプレーヤーにディスクを入れる。)

DUAL SOUNDがONで、オムニ入力が“TAPE”になっているときは録音できません。



音にイコライザーやプレゼンスの効果をかけると、効果のなかった音が録音されます。 → P.53 → P.52

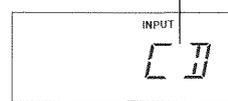
## 1 何を録音するか選ぶ



押すたびに切り替わります

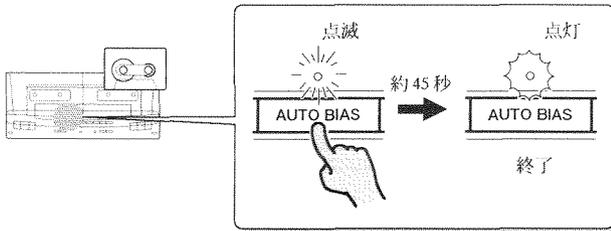
- ① CD
- ② TUNER (周波数の表示)
- ③ TAPE
- ④ MD/DAT
- ⑤ VIDEO
- ⑥ AV AUX

録音したい機器名の表示にします



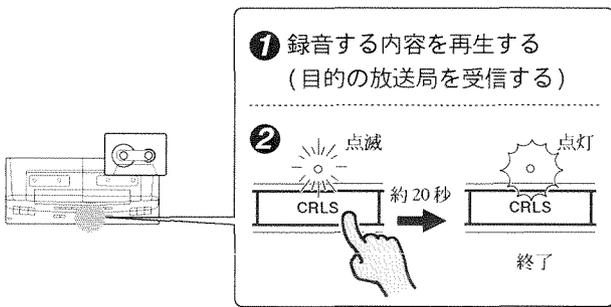
- CDを選んだ場合、すでにディスクがセットされているときは、再生が始まります。

## 2 バイアスを自動調整する



- バイアスの調整とは、そのときセットされているテープの特性を調べて、最もバランスの良い録音ができるように、デッキを調整することです。調整結果は、電源をOFFにしたり、Bデッキのドアを開けない限り記憶されているので、録音のやり直しのときは、再調整しなくてもかまいません。
- 約45秒でバイアスの設定が終了し、デッキが停止します。
- バイアス設定を途中でやめるときは、**■**キーを押します。
- バイアスの設定を省略しても、ノーマル、クローム、メタルの、一般的な設定がセットされているので、録音に支障はありません。

## 3 録音レベルを自動調整する

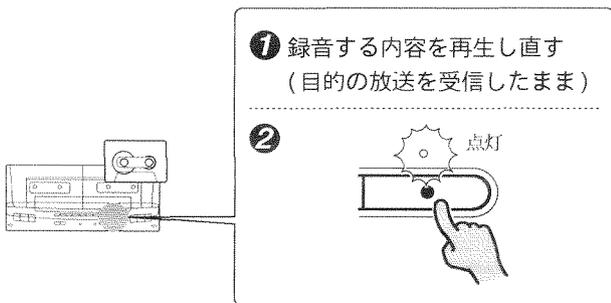


① 録音する内容を再生する (目的の放送局を受信する)

②

- 約20秒で録音レベルの設定が終了し、録音ポーズ状態になります。
- 設定中(点滅中)に録音を始めると、はずんだ音が録音される場合があります
- 設定中(点滅中)に**CRLS**キーを押すと、その時点で設定を中断し、録音ポーズ状態になります。
- **CRLS**キーを押したときから5秒以上無音が続くと、録音レベルの設定は中止されます。

## 4 録音をスタートさせる



CDを録音する場合、**■**キーを押さずに、ディスクセレクターキー、または数字キーで曲を選ぶと、デッキの録音も自動的に始まります。(シンクロ録音機能)

- 録音が始まります。
- 録音する面(片面または両面)が終了すると、自動的に終了します。
- DUAL SOUNDがONの状態での録音中にLINEAR ACOUSTIC CONTROLつまみを動かすと、録音される音量(またはメイン入力とオムニ入力のバランス)が変化します。

## CRLSキーの働きについて

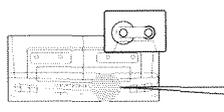
録音したい音声进行分析し、20秒間で自動的に録音レベルを設定します。

1度もキーを押さないと...当社が設定した基本レベルで録音されます。  
 キーを押すと.....録音レベルを自動設定し、そのとき選んでいた入力(CD, TUNER, VIDEO...)の録音レベルとして記憶します。次からは、キーを押さなくても同じレベルで録音できます。

キーを押した後で、前回のレベルに戻すには  
 .....CRLSインジケータの点滅中に■キーを押してください。

基本レベルに戻すには.....インジケータが消えるまで(約3秒間)キーを押したままにしてください。

## 録音をやり直す



**① 録音を中止し、巻き戻す**

うら面の録音中(◀)

おもて面の録音中(▶)

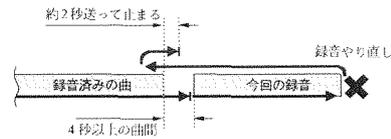
**② ●キーを2回押す**

点滅

**③ ●キーを1回押す**

点灯

- 録音開始位置の手前に、4秒以上の無音がある場合は、録音を中止し、図のように巻き戻します。

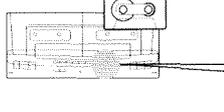


- 録音済みの曲が手前にはない場合は、テープを巻き取って止まります。

- 約4秒の無音部分を作って停止します。
- テープの最初から録音し直す場合は、リーダーテープ(テープ巻き初めの録音できない部分)を送ってから録音を始めてください。

- 録音が始まります。

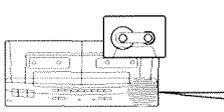
## 録音を一時停止する(ポーズ)



点灯

- 録音を再開するときは、●キーを押します。

## 録音を途中で終了する



## ドルビーHX Proとは

DOLBY HX Pro headroom extensionとは、録音中に、録音している音の周波数成分に応じてバイアス電流をコントロールすることで、シンバルなどの高音域を美しく録音するシステムです。本機で録音すると、自動的にこのシステムが働きます。

録音のしかた

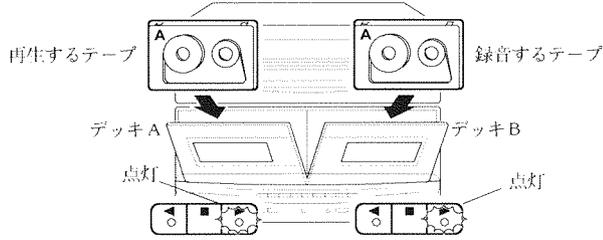
# テープをコピーする (ダビング)



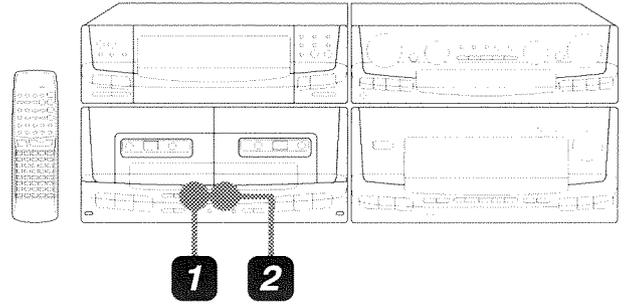
## 準備しましょう

- デッキにカセットテープを入れる。
- テープの進む向き (◀▶) を選ぶ。
- “コ” (両面録音) / “ニ” (片面録音) を選ぶ。

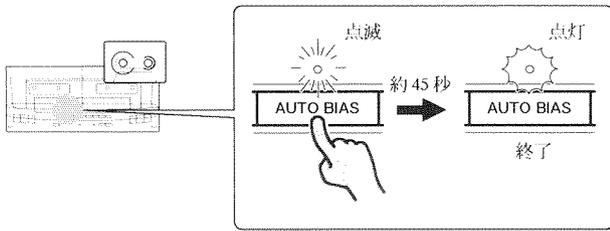
→ P.36



Aデッキにセットしたテープの内容を、Bデッキのテープにコピーします。

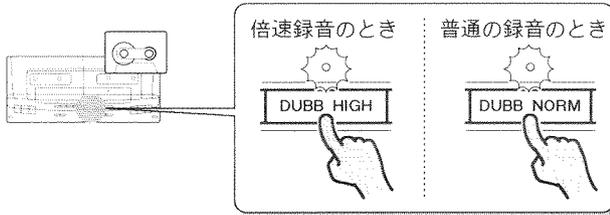


## 1 バイアスを自動調整する



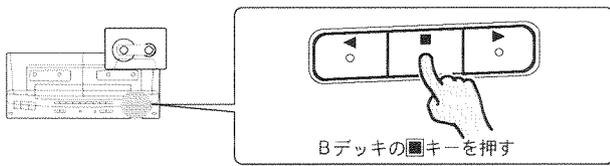
- バイアスの自動調整とは、そのときセットされているテープの特性を調べて、最もバランスの良い録音ができるように、デッキを調整することです。調整結果は、電源をOFFにしたり、Bデッキのドアを開かない限り、記憶されています。
- 約45秒でバイアスの設定が終了し、デッキが停止します。
- バイアス設定を途中でやめるときは、■キーを押します。
- バイアスの設定を省略しても、ノーマル、クローム、メタルの、一般的な設定がセットされているので、録音に支障はありません。

## 2 ダビングをスタートさせる



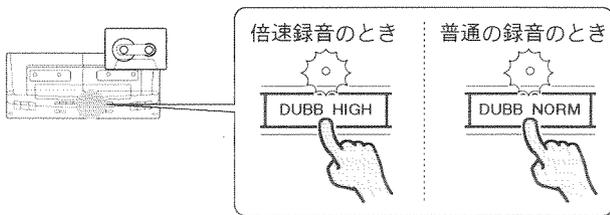
- ダビングが始まります。
- ダビングする面 (片面または両面) が終了すると、自動的に終了します。

## ダビングを止めるには



- Aデッキ、Bデッキとも停止します。

## ダビングを一時停止するには



- 普通で速度でダビングしていたときは約4秒間、倍速のときは約6秒間の無音部分を作ってから、Bデッキだけが録音ポーズになります。
- ダビングしたくない曲を飛び越すときは、Aデッキの▶▶キーを押します。
- ダビングを再開するときには、**DUBB NORM**、**DUBB HIGH**のうち、一時停止するときにしたほうのキーを押します。

### ご注意



1. ダビングするとき、録音レベルの調節は不要です。
2. ダビングするとき、DOLBY NR キーは働きません。Bデッキで録音されるテープは、Aデッキで再生されているテープと同じDOLBY NRになります。
3. 雑音が入ることがありますので、倍速ダビングするときはTVから離してください。
4. 音質を損なう場合がありますので、大きな録音レベルで録音されたテープをダビングするときは、普通で速度でダビングしてください。

# CDの編集録音

テープの長さ(時間)をセットするだけのカンタンな操作で、CDを編集録音する方法です。録音レベルやバイアスの設定はもちろんのこと、テープの折返しや終点での面倒な処理まで、全部まとめてアローラが引き受けます。(CCRS機能)

2枚以上のCDから、好きな曲を好きな曲順で編集することもできます。そのときは、“プログラム編集録音”を選んでください。

## 編集録音のタイプを選ぶ

**START !!**

1本のテープに録音するCDの枚数は?

2枚以上

1枚だけ

曲順には、  
こだわりがある

Yes

No

どんな曲順に  
したい?

好きな順

CDのまま

**3 タイム編集録音**

**1 プログラム編集録音**

テープの長さに  
ゆとりがある?

Yes

No

曲と曲の間は  
どうする?

**4 AI編集録音**

クロスフェード  
(次の曲が重なる)

無音 (ふつう)

**2 クロスフェード編集録音**

**5 フェード編集録音**

## CCRSとは

CDをワンタッチでカセットテープに録音する便利な機能です。

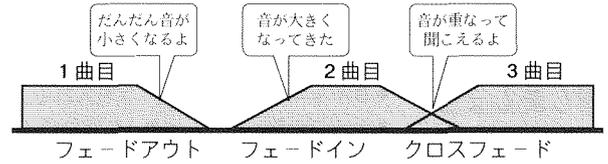
CCRSキーを押すと、約90秒間で、CDの内容と、使用するテープの特性を調べて、録音レベルとバイアスが自動的にセットされ、録音が始まります。録音が終了すると、自動的に停止します。CCRSキーを押すと、バーチャルリアリティースOUNDは自動的にOFFになります。

電源をOFFにしたり、Bデッキのドアを開けるとAUTO BIASは解除されます。(記憶中は、“AUTO BIAS”のインジケータが点灯しています。)

また、電源をOFFにしたり、CDを停止すると編集内容が解除されます。



## フェードイン/フェードアウトとは



フェードアウト: だんだん音を小さくして曲が終わること

フェードイン: だんだん音を大きくして曲が始まること

クロスフェード: 曲間で音が重なるようにフェードアウトとフェードインを組み合わせること

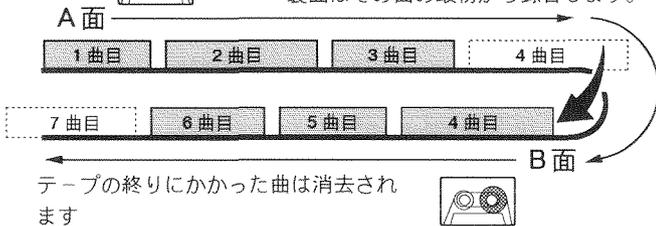


### 1 プログラム編集録音 → P.42

#### 1枚のCDから



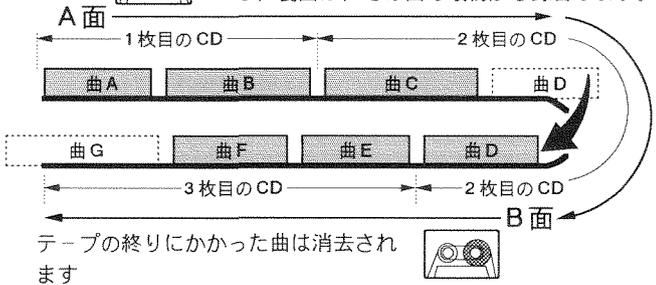
プログラムした曲順で録音します。テープの折返しにかかった曲を消去し、裏面はその曲の最初から録音します。



#### 2枚以上のCDから



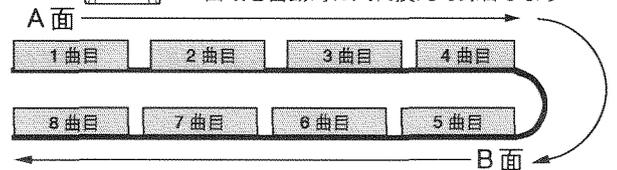
複数のCDから、好きな曲だけを選んで編集録音します。テープの折返しにかかった曲を消去し、裏面は、その曲の最初から録音します。



### 3 タイム編集録音 → P.44



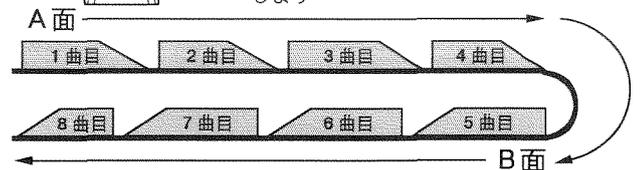
テープの折返しで曲が途切れないように、曲順を自動的に入れ換えて録音します



### 4 AI編集録音 → P.45



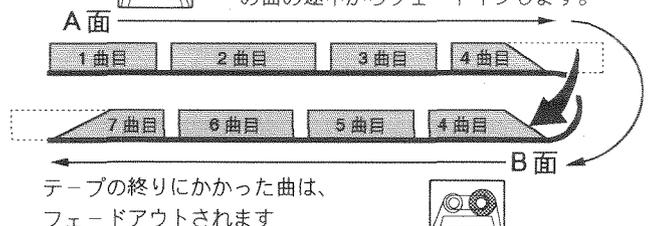
テープの長さがたりないときに、曲の終りをフェードアウトして全曲を録音します



### 5 フェード編集録音 → P.46



CDの曲順で録音します。テープの折返しにかかる曲をフェードアウトし、裏面はその曲の途中からフェードインします。

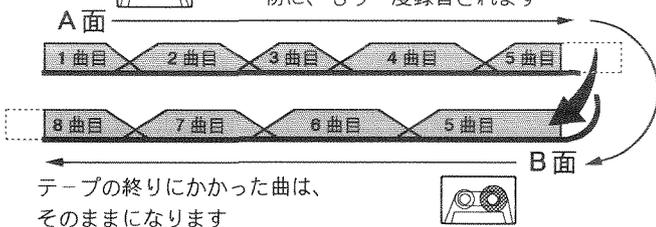


テープの終りにかかった曲は、フェードアウトされます

### 2 クロスフェード編集録音 → P.43



曲間をフェードアウトとフェードインでつなぎ、折返しにかかった曲は、裏面の最初に、もう一度録音されます



CDの曲順でも、プログラムした曲順でも録音できます。

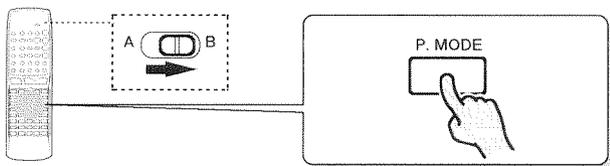
あなたが選んだ曲順で、テープの折り返しや終端で、曲がとぎれないように録音します。

## 準備しましょう

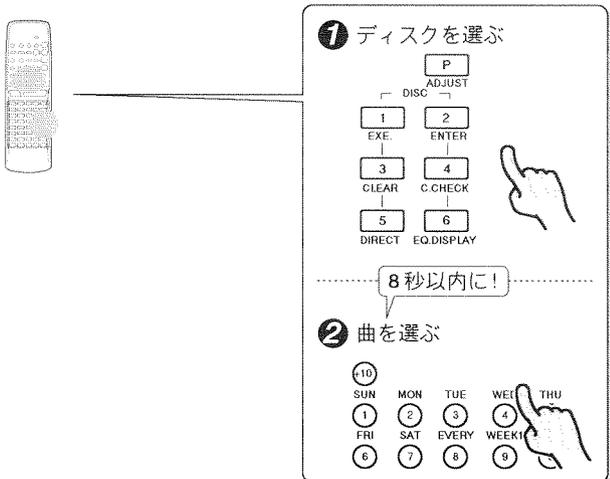
→ P.36

- Bデッキにカセットテープを入れる。
- テープの動く向き(◀▶)を確認する。
- “つ”(両面録音)を選ぶ。
- ドルビーノイズリダクションを選ぶ。
- **MAIN INPUT**キーで“CD”を選ぶ。
- CDプレーヤーにディスクを入れる。

## 1 PGMモードに切り換える



## 2 録音する順に曲を選ぶ (編集する)

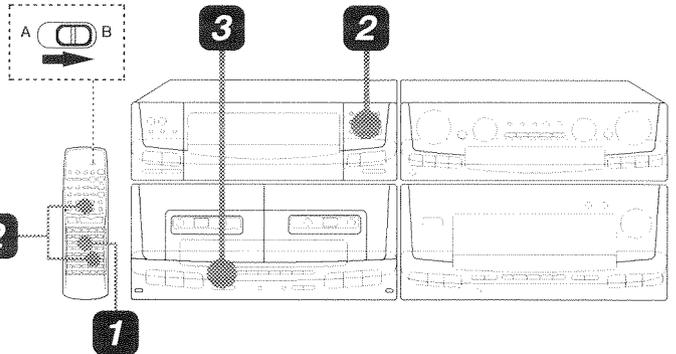


2枚以上のCDから編集するとき、**①**と**②**を繰り返してください。

編集した内容を確認する  
編集した内容を取り消す

→ P.47

## 3 編集録音をスタートする



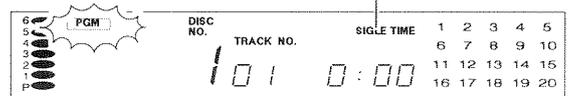
音にイコライザーやプレゼンスの効果をかけると、効果のかかった音が録音されます。

→ P.53 → P.55

(倍速録音のときはイコライザーとAI FILEをOFFにしてください)

→ P.52

プログラムモードでは、“SINGLE TIME”表示のみです。

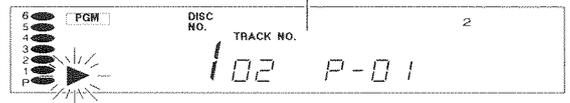


数字キーを押す順序は...

2、5、25曲目を選ぶとき:

**[2][5][+10][+10][5]**

選んだ曲番号を表示します



- 使用するテープの録音時間を超えないように選んでください。
- 32曲まで選べます。33曲になると、“FULL”と表示します。
- 間違えたときは、**CLEAR**キーを押してから、選び直してください。
- ディスクを選んで8秒以上たつとCCRS機能は働きません。
- **SPACE**キーと**REPEAT**キーは働きません。

## ご注意

1. CDプレーヤーの再生中に**CCRS**キーを押すと、再生は中止され、CCRS設定(編集録音準備)が始まります。
2. 編集録音するときの録音レベル自動設定には、セットされているCDの、録音レベルの設定に適した部分を利用しています。
3. クラシックなど、1曲が長くてテープ片面に収まらない場合は、編集録音はできません。
4. デッキが片面録音(ニ)にセットされている場合、テープ折り返し部の処理は、おもて面だけになります。



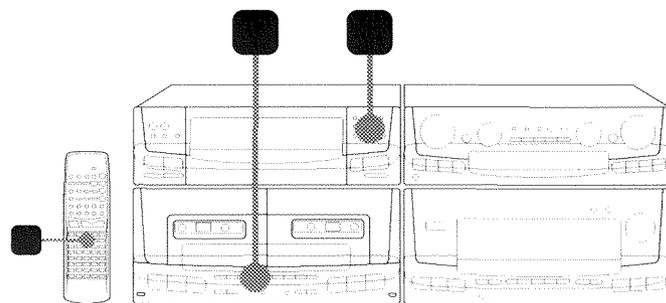


クロスフェード編集とは、曲順を編集するというよりも、曲間をクロスフェードさせる機能と言ったほうが、わかりやすいでしょう。CDの曲順で録音するときや、プログラム編集、タイム編集と組み合わせて使うことができます。

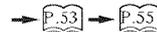
## 準備しましょう



- Bデッキにカセットテープを入れる。
- テープの動く向き(◀▶)を確認する。
- “つ”(両面録音)を選ぶ。
- ドルビーノイズリダクションを選ぶ。
- **MAIN INPUT**キーで“CD”を選ぶ。
- CDプレーヤーにディスクを入れる。



音にイコライザーやプレゼンスの効果をかけると、効果のかった音が録音されます。



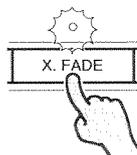
## 曲順を編集する場合

- 1 プログラム編集、または、タイム編集をする。

プログラム編集 → P.42

タイム編集 → P.44

- 2 編集録音をスタートする。

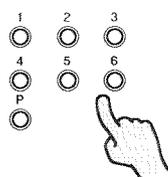


- 編集後は、**CCRS**キーを押さずに、このページに戻り、手順2に進んでください。編集後に**CCRS**キーを押すと、それぞれの編集録音が始まってしまいますので、クロスフェード録音にはなりません。

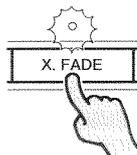
- 倍速録音はできません。
- 約90秒間で、録音レベルとバイアスの調整が行なわれたのち、録音が始まります。

## CDの曲順で録音する場合

- 1 録音するディスクを選ぶ。



- 2 編集録音をスタートする。



- 倍速録音はできません。
- 約90秒間で、録音レベルとバイアスの調整が行なわれたのち、録音が始まります。

ご注意

もともとフェードアウト/フェードインされている曲をクロスフェード録音すると、曲間があいてしまう場合があります。



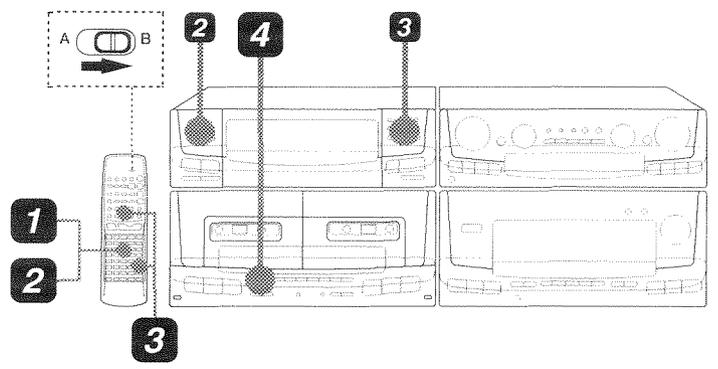
# タイム編集録音

テープの録音時間を指定すると、テープの折り返しや終端で曲がとぎれないように、自動的に曲順を入れ換えて録音します。

**準備しましょう**

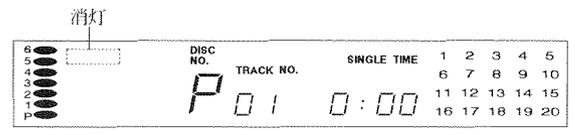
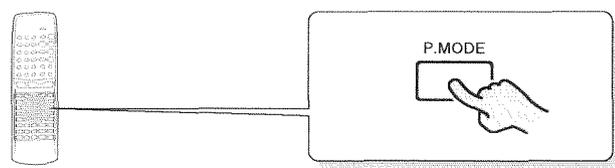
- Bデッキにカセットテープを入れる。
- テープの動く向き(◀▶)を確認する。
- ドルビーノイズリダクションを選ぶ。
- “コ”(両面録音)を選ぶ。
- **MAIN INPUT**キーで“CD”を選ぶ。
- CDプレーヤーにディスクを入れる。

→ P.36

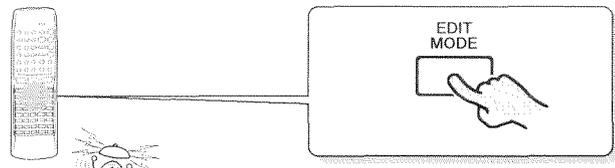


 音にイコライザーやプレゼンスの効果をかけると、効果のなかった音が録音されます。  
 (倍速録音のときはイコライザーとAI FILEをOFFにしてください)  
 → P.53 → P.55  
 → P.52

## 1 “PGM” インジケータを消灯させる



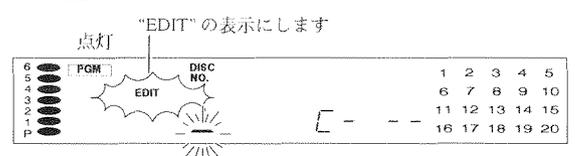
## 2 “EDIT”を選ぶ



8秒以内に手順3へ  
 8秒以上たった場合は、もう一度選び直します。

押すたびに切り替わります

- ① EDIT
- ② AI EDIT



● オートスペース機能を使うときは、**SPACE**キーを押しておきます。オートスペースを解除するときは、**P.MODE**キーを押し、手順2からやり直します。

## 3 ディスクとテープの設定をする

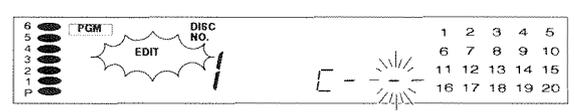
**1** ディスクを選ぶ

ADJUST DISC

1 EXE.	2 ENTER
3 CLEAR	4 C.CHECK
5 DIRECT	6 EQ.DISPLAY

**2** テープの録音時間を指定する

10 SUN	1 MON	2 TUE	3 WED	4 THU
5 FRI	6 SAT	7 EVERY	8 WEEK1	9 WEEK
				0



数字キーを押す順序は...

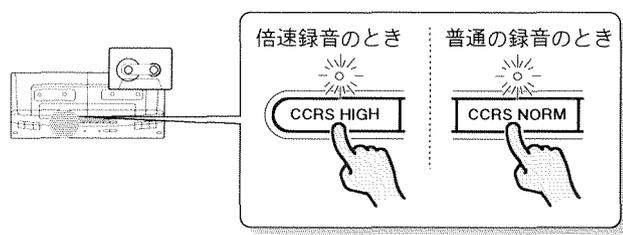
- 30分テープなら: **+10 +10 +10 0**
- 46分テープなら: **+10 +10 +10 +10 6**



**TIME**キーを繰り返し押すと、46,54,60,90分テープを簡単に選べます。選んだ後は、**EDIT MODE**キーを押してから、手順4へ移ります。

- 20曲まで編集録音できます。
- A面、B面の自動編集が行われます。編集が終了すると、“EDIT”の表示が点滅から点灯に変わります。

## 4 編集録音をスタートする



- 約90秒間で、録音レベルとバイアスの調整が行なわれたのち、録音が始まります。
- 録音が終了すると、自動的に停止します。
- 倍速録音(CCRS)中は、DOLBY NRがOFFになりますので、そのテープを再生するときも、DOLBY NRをOFFにしてください。
- 倍速録音中は、音程も倍になるので、スピーカーから音を出しても音楽として楽しむことはできません。

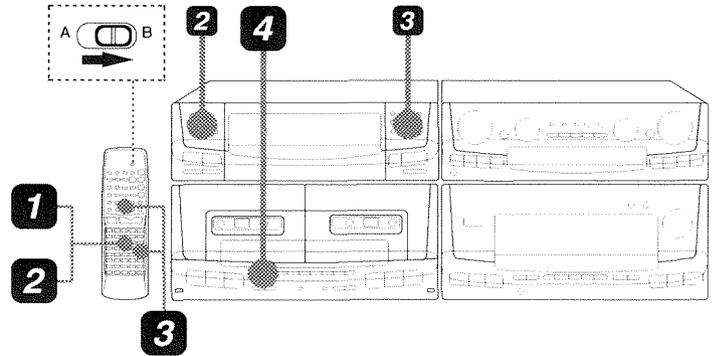


録音したいCDの収録時間よりもテープが短いとき、各曲の最後をフェードアウトで短くカットして、全曲を録音します。

## 準備しましょう

→ P.36

- Bデッキにカセットテープを入れる。
- テープの動く向き(◀▶)を確かめる。
- ドルビー・ノイズリダクションを選ぶ。
- “つ”(両面録音)を選ぶ。
- **MAIN INPUT**キーで“CD”を選ぶ。
- CDプレーヤーにディスクを入れる。



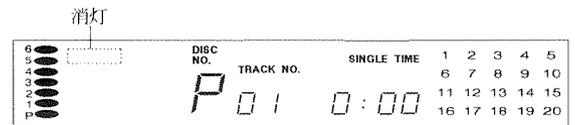
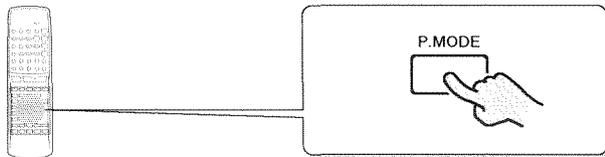
音にイコライザーやプレゼンスの効果かけると、効果のかかった音が録音されます。

(倍速録音のときはイコライザーとAI FILEをOFFにしてください)

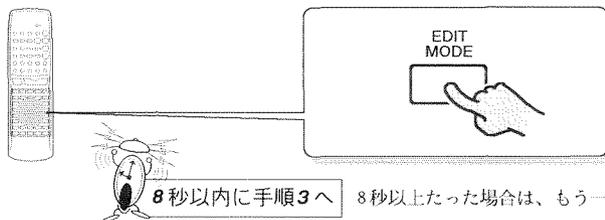
→ P.53 → P.55

→ P.52

## 1 “PGM” インジケータを消灯させる



## 2 “AI EDIT”を選ぶ



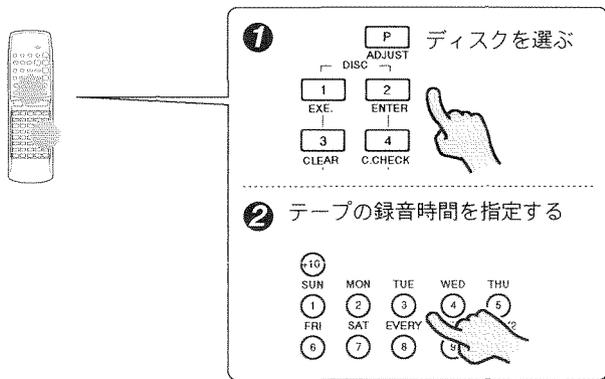
8秒以内に手順3へ 8秒以上たった場合は、もう一度選び直します。

押すたびに切り替わります

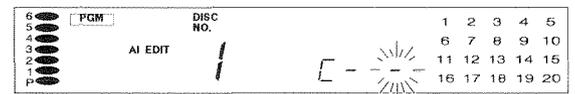
- ① EDIT
- ② AI EDIT



## 3 ディスクとテープの設定をする



- **SPACE**キーと**REPEAT**キーは動きません。



数字キーを押す順序は...

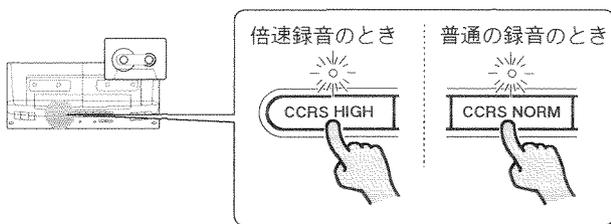
30分テープなら: **+10 +10 +10 0**

46分テープなら: **+10 +10 +10 +10 6**



**TIME**キーを繰り返し押し、46.54.60.90分テープを簡単に選べます。選んだ後は、**EDIT MODE**キーを押してから、手順4へ移ります。

## 4 編集録音をスタートする



- A面、B面の自動編集が行われます。編集が終了すると、“AI EDIT”の表示が点滅から点灯に変わります。

- 約90秒間で、録音レベルとバイアスの調整が行なわれたのち、録音が始まります。
- テープの長さに余裕があるときは、全曲ともノーカットで録音されます。
- 録音が終了すると、自動的に停止します。
- 倍速録音(CCRS)中は、DOLBY NRがOFFになりますので、そのテープを再生するときも、DOLBY NRをOFFにしてください。
- 倍速録音中は、音程も倍になるので、スピーカーから音を出しても音楽として楽しむことはできません。
- クロスフェード編集と組み合わせることはできません。

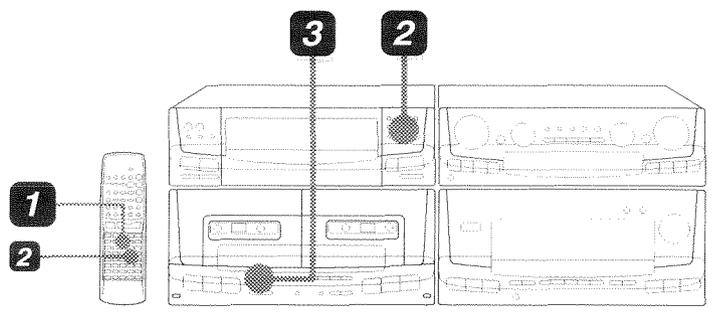
# フェード編集録音

テープの折り返しにかかった曲をフェードアウトし、うら面は、その曲の途中からフェードインします。テープ終端にかかった曲は、フェードアウトされます。

## 準備しましょう

→ P.36

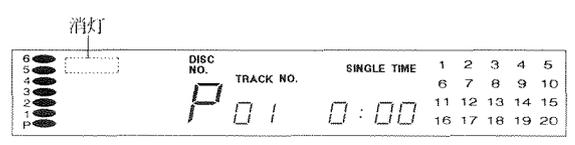
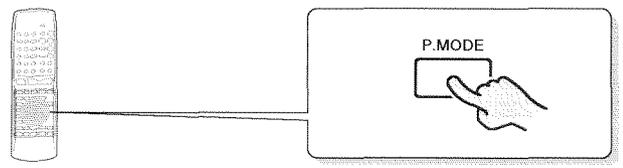
- Bデッキにカセットテープを入れる。
- テープの動く向き(◀▶)を確認する。
- “コ”(両面録音)を選ぶ。
- ドルビーノイズリダクションを選ぶ。
- **MAIN INPUT**キーで“CD”を選ぶ。
- CDプレーヤーにディスクを入れる。



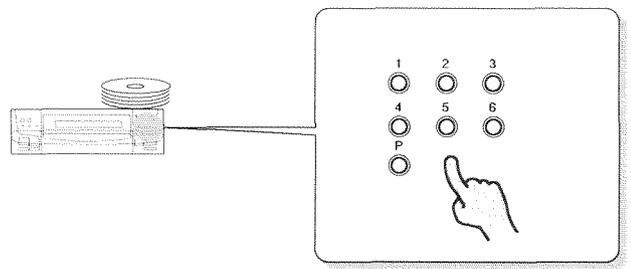
音にイコライザーやプレゼンスの効果をかけると、効果のかかった音が録音されます。  
(倍速録音のときはイコライザーとAI FILEをOFFにしてください)

→ P.53 → P.55  
→ P.52

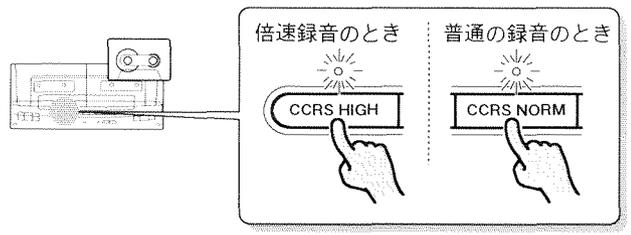
## 1 “PGM” インジケータを消灯させる



## 2 ディスクを選ぶ



## 3 編集録音をスタートする



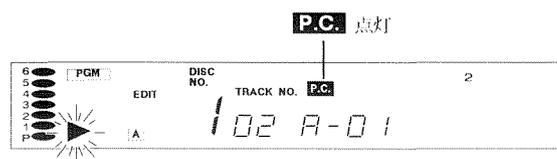
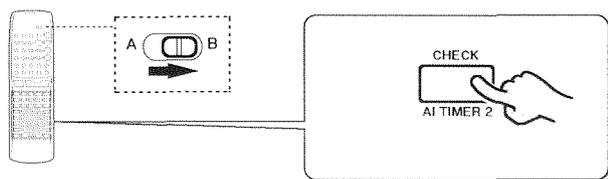
- 約90秒間で、録音レベルとバイアスの調整が行なわれたのち、録音が始まります。
- CDの曲順で録音されます。
- 倍速録音(CCRS)中は、DOLBY NRがOFFになりますので、そのテープを再生するときも、DOLBY NRをOFFにしてください。
- 倍速録音中は、音程も倍になるので、スピーカーから音を出しても音楽として楽しむことはできません。

**ご注意**



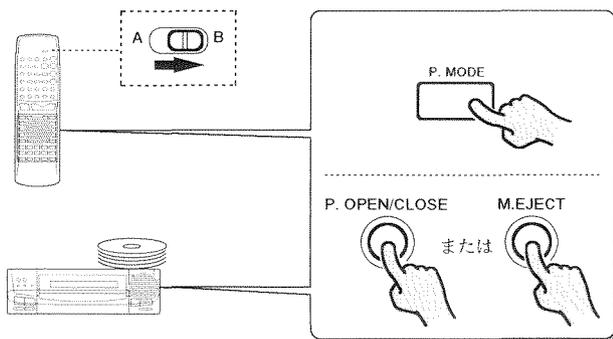
1. CDプレーヤーの再生中に**CCRS**キーを押すと、再生は中止され、CCRS設定(編集録音準備)が始まります。
2. 編集録音するときの録音レベル自動設定には、セットされているCDの、録音レベルの設定に適した部分を利用しています。
3. クラシックなど、1曲が長くてテープ片面に収まらない場合は、編集録音はできません。
4. デッキが片面録音(ニ)にセットされている場合、テープ折り返し部の処理は、おもて面だけになります。
5. テープ終端にかかった曲がフェードアウトされる時、前曲との曲間が短いと、前曲の最後も一部消去されることがあります。

## 編集した内容を確認する リモコンのみ



- 押すたびに、編集した曲番号が順に表示されます。

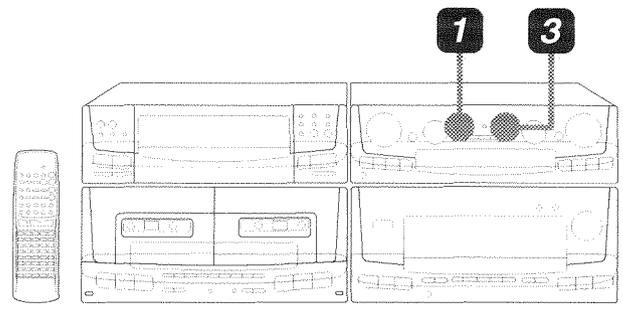
## 編集した内容を取り消す



- 編集内容のすべてが消えます。

# CDを録音しながら他のものを聴く

48 CDを録音しながらラジオ放送を聴いたり、接続した他の機器を使って楽しむことができます。

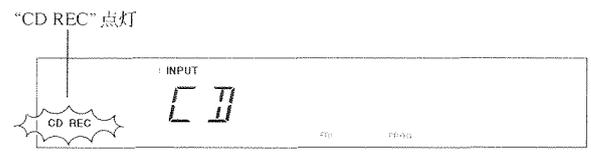
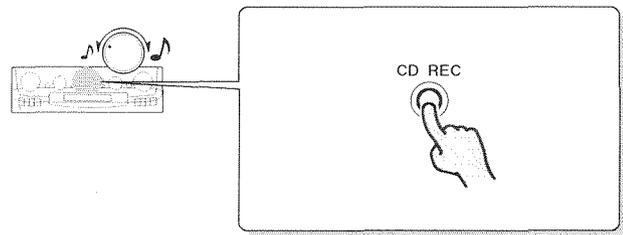


**準備しましょう**

→ P.36

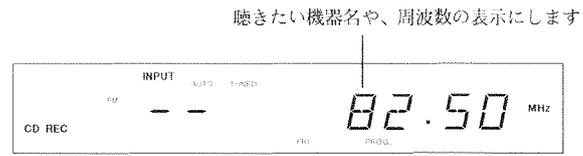
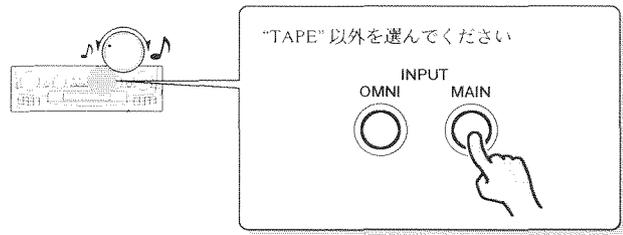
- Bデッキにカセットテープを入れる。
- テープの進む向き(◀▶)を選ぶ。
- “コ”(両面録音) / “ニ”(片面録音)を選ぶ。
- ドルビーノイズリダクションを選ぶ。
- **MAIN INPUT**キーで“CD”を選ぶ。
- CDプレーヤーにディスクを入れる。

## 1 CD RECキーを押す



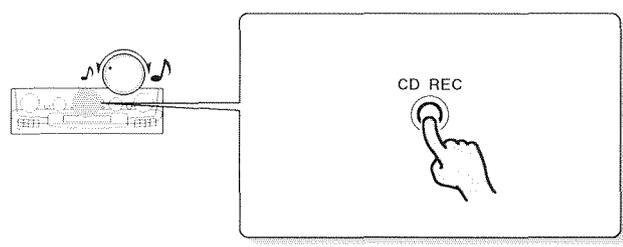
## 2 CDの録音を始める → P.37

## 3 聴きたいものを選ぶ



CDの編集録音

## CD RECを解除するには



- 録音インジケータの点灯中または点滅中には、解除できません。
- CD RECの終了後は、必ず**CD REC**キーを押してCD RECを解除しておいてください

**ご注意** **CD REC**キーを使って録音する場合、録音される音にイコライザやDSPプレゼンスの効果はかかりません。



# カンタン音質調整

- AI(人工知能)が、あなたが聞きたい音楽に最適な音質を判断します。
- 登録されている15の音質パターンを手軽に呼び出すことができます。
- お好みに合わせて自由に音質を調整できます。またその内容を記憶することができます。
- CDを再生したときにAIが創ったイコライザーカーブを、そのCD専用の設定として記憶し、次回の再生から利用できます。

## AI FILE

AI機能により設定されたイコライザーカーブと、リニアアコースティックコントロールの状態(メインスピーカーとオムニトップスピーカーの音量バランス)を、CDごとに60枚ぶんまで記憶できます。記憶済みのCDを再生するときは、AI機能による設定時間(約30秒)が必要ありません。また、DSPプレゼンスモード(F.4ch、S.4ch)を選んでいる場合は、最適な組合せとなるASFC(音の広がりを決める設定要素)の値が自動的に設定されます。 → P.52

## AI AUTO / AI FOCUS

AI AUTO : AIがあなたの聞きたいディスクに最適な音質を創ります。  
AI FOCUS : AIがディスクのDSPプレゼンス再生のときに最適な音質を創ります。 → P.51

## AI LINK

DSPプレゼンス音場を選んだり、解除したとき、最適なイコライザーカーブと、リニアアコースティックコントロールが自動設定されます。 → P.59

## REFERENCE / MANUAL

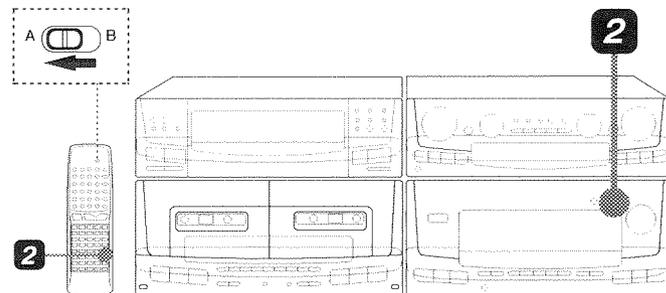
15通りの音質パターンを選べます。そのうち5パターンには、あなたの作ったイコライザーカーブを記憶できます。 → P.53

## REC MODE

カーステレオ、ヘッドフォンステレオ用のテープを録音するときに最適な音質を選べます。 → P.55

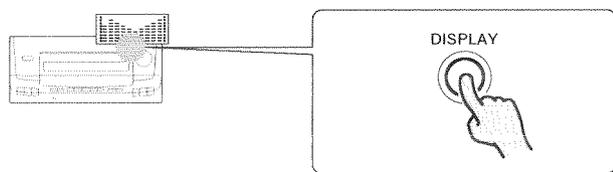
## デモンストレーションをしてみましょう

このグラフィックイコライザーで聴くことのできる音を順番に再生していきます。音に合わせて、表示も変わります。あなたの目と耳で効果を確認してみましょう。

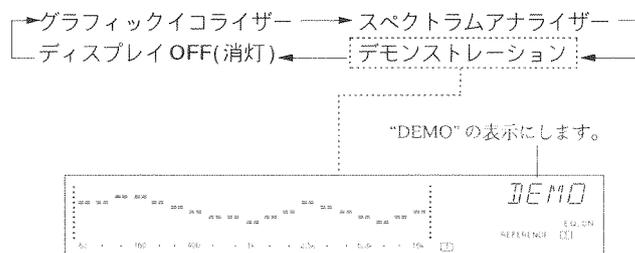


**1** ききたい音を再生する

**2** “DEMO” を選ぶ



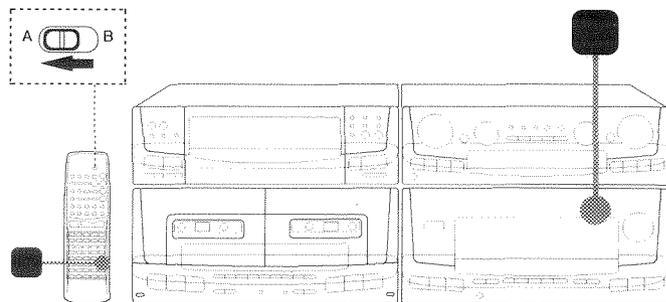
- 押すたびに切り替わります。



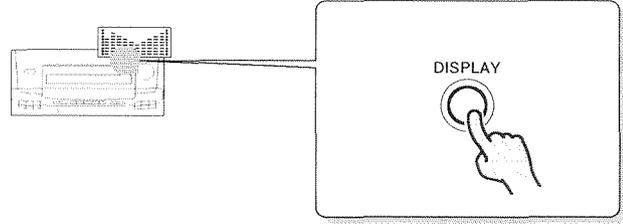
- 止めるときは、**DISPLAY**キーを押します。

## AIとは

AI (人工知能) : Artificial Intelligenceの略。



## 表示の種類を変える



**グラフィックイコライザー表示：**  
各周波数がどのように補正されているかを表示しています。

**スペクトラムアナライザー表示：**  
音に合わせて変化する周波数レベルを表示しています。

**デモンストレーション表示：**  
イコライザーのカーブが、順に変化して行きます。

**ディスプレイ OFF 表示：**  
表示したくないときに、この状態にします。ディスプレイ OFF のときもイコライザーは動きます。

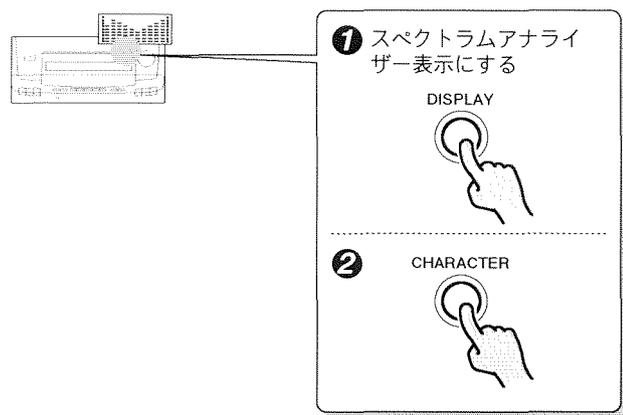
押すたびに切り替わります

- ①グラフィックイコライザー表示
- ②スペクトラムアナライザー表示
- ③デモンストレーション表示
- ④ディスプレイ OFF

## キャラクター表示にする

周波数レベルの変化をいろいろなパターンで楽しむことができます。

スペクトラムアナライザー表示のときに押す



押すたびに切り替わります

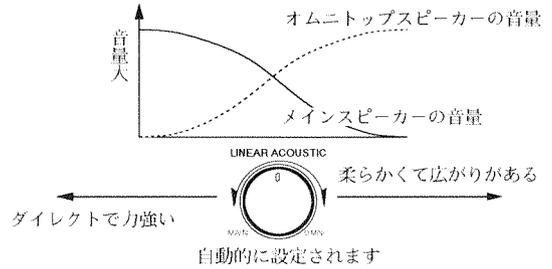
- ①ノーマル
- ②シャワー
- ③水平ソントル
- ④シーズルー

### AI AUTO

CDを聴くとき **[AI]** キーを押すと、約30秒でCDの収録内容を分析し最適なイコライザーカーブとリニアアコースティック(メインスピーカーとオムニトップスピーカーの音量バランス)の値が自動的に設定されます(つまみが回転します)。CDは1曲目から再生します。

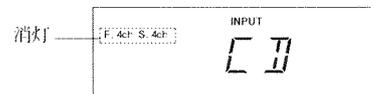
### AI FOCUS

DSPプレゼンスモードでCDを聴くとき、AI AUTOの場合に加えて、最適なASFC(音の広がりを決める設定要素)の値が自動的に設定されます。



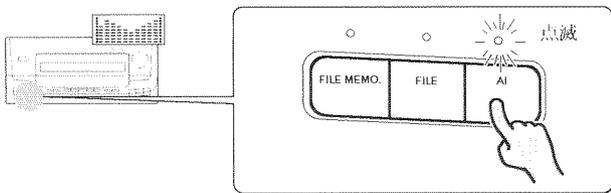
## 最適な音質でCDを聴く (AI AUTO)

### 1 ディスクセクターキーでスキップしたいディスクを選ぶ

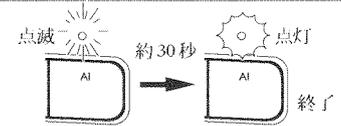


- "F. 4ch"、"S. 4ch"表示が消えていることを確かめます。

### 2 AIキーを押す



- 約30秒後、1曲目から再生が始まります。



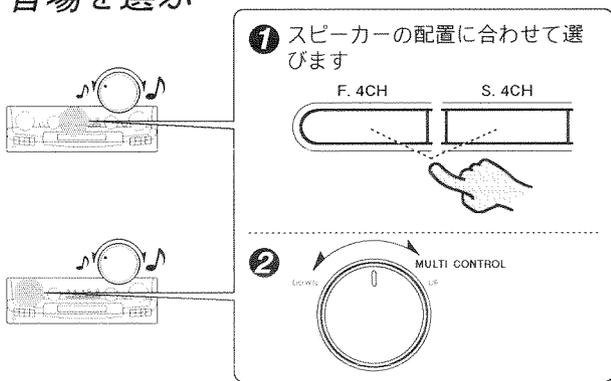
### 解除するには

- AI設定中: もう一度 **[AI]** キーを押します。(直前のカーブに戻ります)
- AI設定後: **[FLAT]** キーを押します。(カーブは平坦になります)
- CDプレーヤーの **[STOP]** キーを押したときも、解除されます。

## 臨場感を生かしてCDを聴く (AI FOCUS)

### 1 ディスクセクターキーでスキップしたいディスクを選ぶ

### 2 音場を選ぶ

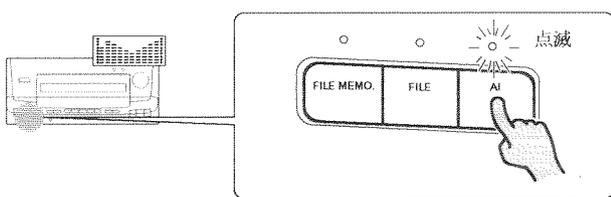


- S. 4chのときは、オムニトップスピーカーから音が出ないのでリニアアコースティックは自動設定されません。

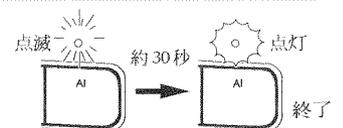
MULTI CONTROLつまみで音場を選びます。

- ① ARENA
- ② JAZZ CLUB
- ③ STADIUM
- ④ DISCO
- ⑤ CHURCH
- ⑥ MOVIE
- ⑦ GAME

### 3 AIキーを押す



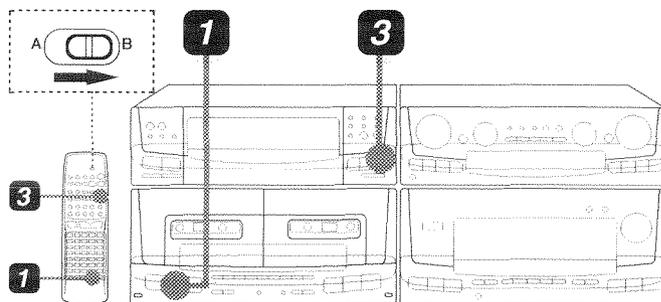
- 約30秒後、1曲目から再生が始まります。



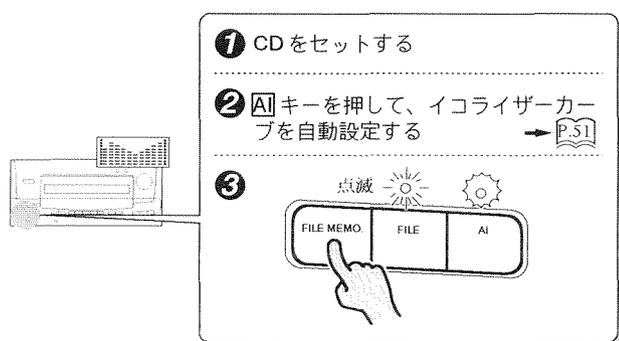
### 解除するには

- AI設定中: もう一度 **[AI]** キーを押します。(直前のカーブに戻ります)
- AI設定後: **[FLAT]** キーを押します。(カーブは平坦になります)
- CDプレーヤーの **[STOP]** キーを押したときも、解除されます。

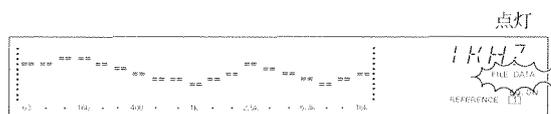
AI機能により設定されたグラフィックイコライザーのカーブを、CD60枚ぶんまで記憶させることができます。記憶済みのCDを再生するときには、イコライザーカーブ、リニアアコースティック、ASFCの設定が呼び出されるので、AI設定のための待ち時間がありません。



## 最適なイコライザーカーブを記憶させる (AI FILE)



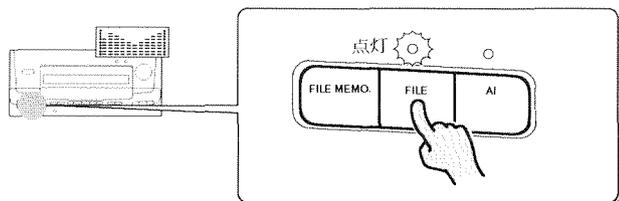
- AIによる自動設定には、約30秒必要です。



- AI機能により設定されたイコライザーカーブと、リニアアコースティックコントロール(メインスピーカーと、オムニトップスピーカーの音量バランス)を記憶します。
- CD60枚ぶんまで記憶できます。60枚を超えると、使用頻度の低いCDから順に、記憶が消去されます。(最後に記憶を呼び出した時期を調べて、古い順に記憶が消去されます。)

## 記憶させたイコライザーカーブを呼び出す (AI FILE)

### 1 FILE機能をONにする

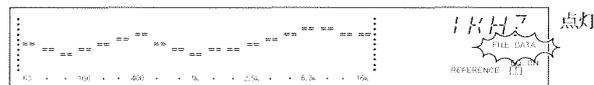


### 呼び出したくないときは

FILEキーを押して、インジケーターを消灯させておきます。

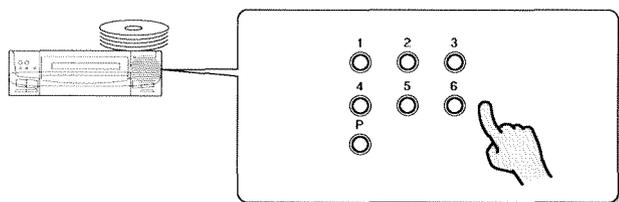
### 2 記憶済みのCDをセットする

- 記憶済みのCDをセットしてトレイを閉めると、「FILE DATA」が点灯します。



DSPプレゼンスモードで聴きたいときは、CDの再生を始める前に、選んでおきましょう。

### 3 CDを再生する



- 記憶されているイコライザーカーブが呼び出され、再生が始まります。
- DSPプレゼンスモードが選ばれている場合は、ASFC(音の広がりを決める設定要素)も自動設定されます。
- 最適なリニアアコースティックコントロール(メインスピーカーと、オムニトップスピーカーの音量バランス)が自動的に設定されます。

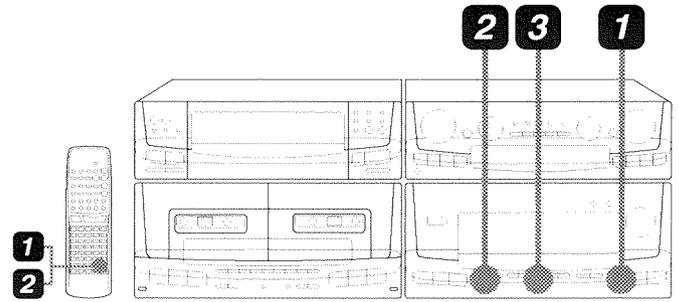
# お好みの音質で曲を聴く

あらかじめ登録されている15通りのイコライザーカーブを手軽に呼び出すことができます。音質、またはさく音楽のジャンルによりお好みに合わせてご使用ください。

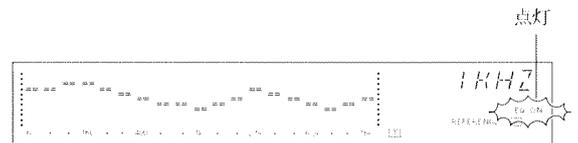
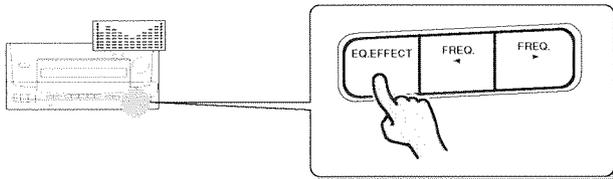
## 準備しましょう

- P.18 CD
- P.26 テープ
- P.30 放送

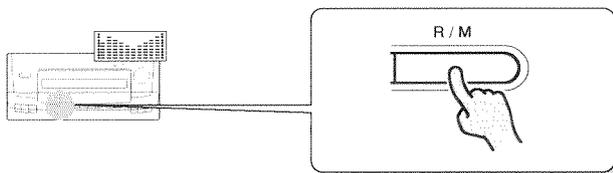
●放送を受信するか、CD、またはカセットテープを再生します。



## 1 グラフィックイコライザーをONにする

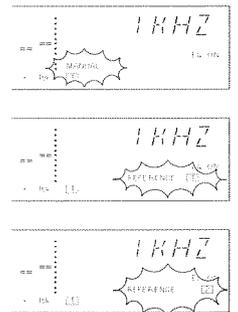


## 2 お好みのパターンを選ぶ

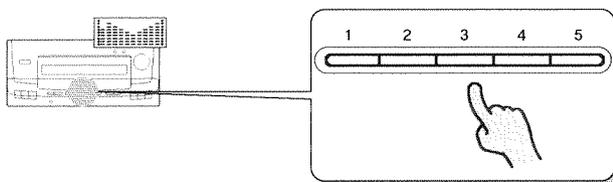


押すたびに切替わります

- ① **MANUAL (クリアー)**  
各周波数帯を補い、すっきりとした音になります。
- ② **REFERENCE 1 (ベーシック)**  
適度に低域と高域を強調した音になります。
- ③ **REFERENCE 2 (スケール)**  
各周波数帯を強調したメリハリのある音になります。



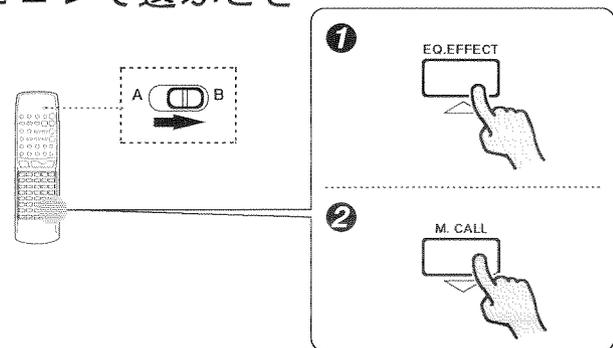
## 3 聞いているジャンルを選ぶ



- 聞いている音楽のジャンルや内容に合わせて選んでください。
- "MANUAL", "REFERENCE 1", "REFERENCE 2" の、それぞれに、1-5の種類が用意されています。

- 1 ⇒ ポピュラー、フュージョン
- 2 ⇒ ロック
- 3 ⇒ ジャズ
- 4 ⇒ クラシック
- 5 ⇒ ムービー

## リモコンで選ぶとき

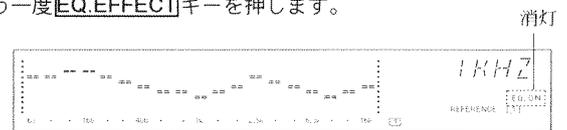


M.CALLキーを押すごとに切り換わります。

- ① **MANUAL (クリアー)** 1 ⇒ 2 ⇒ 3 ⇒ 4 ⇒ 5
- ② **REFERENCE 1 (ベーシック)** 1 ⇒ 2 ⇒ 3 ⇒ 4 ⇒ 5
- ③ **REFERENCE 2 (スケール)** 1 ⇒ 2 ⇒ 3 ⇒ 4 ⇒ 5

## 解除するには

もう一度EQ.EFFECTキーを押します。

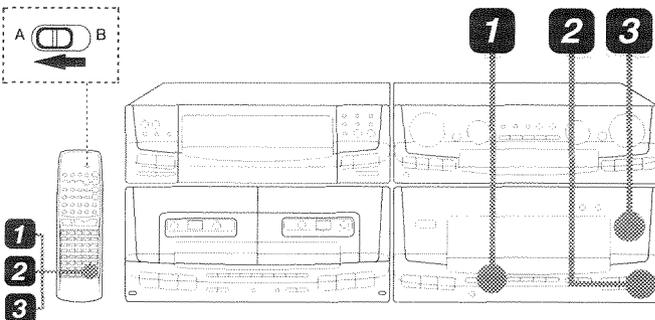
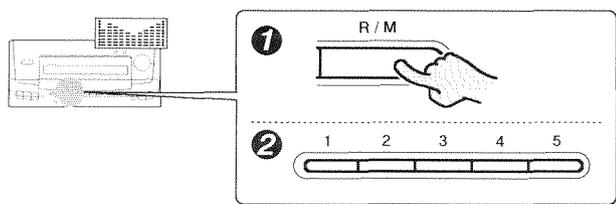


- ディスプレイ上のイコライザーカーブは、そのままです。

## 準備しましょう

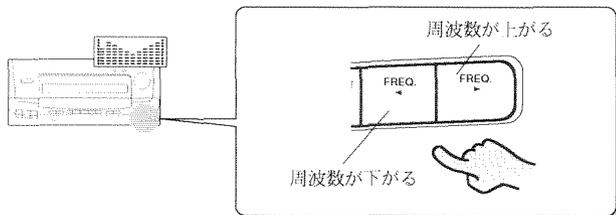
- CD テープ 放送
- ききたい音を再生します。→ P.18 → P.26 → P.30
  - EQ.EFFECTキーを押し、グラフィックイコライザーをオンにします。
  - DISPLAYキーでグラフィックイコライザー表示にします。→ P.50

## 1 イコライザーカーブを選ぶ



- 作りたいカーブに近い内容のイコライザーカーブを選びます。
- FLATキーを押すと、平坦な状態からカーブを作ることができます。

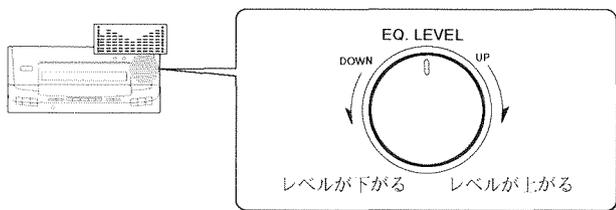
## 2 調整したい周波数をえらぶ



### 周波数の特性について

低音域 63~160Hz	低音域の楽器が安定感のある音として響きます。
中音域 400Hz~2.5kHz	歌手の声が出たり、奥に引っ込むように聞こえます。
高音域 6.3kHz	レベルを上げると、バイオリンやフルートの音などがつやのある音になります。
超高音域 16kHz	トライアングルや、シンバルなどが響き、繊細感が増します。

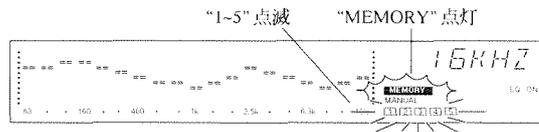
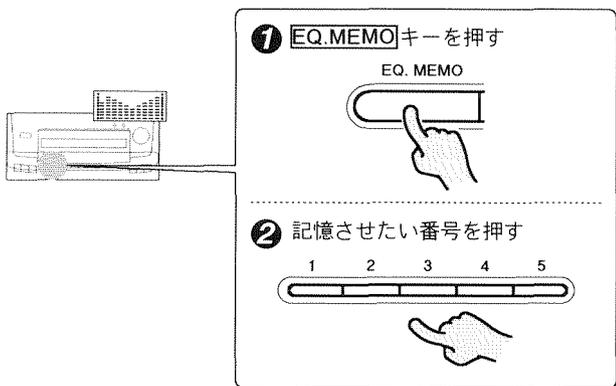
## 3 レベルを調整する



- 他に調整したい周波数があれば2、3の手順を繰り返します。

## 好みの音質を記憶させる

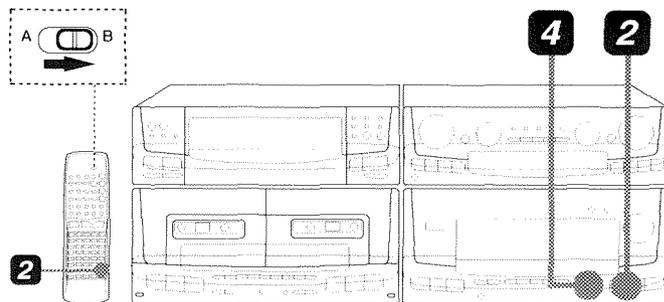
作ったイコライザーカーブを記憶させましょう。



- “MEMORY”インジケータの点灯中に手順②をおこなってください。
- あなたが作ったイコライザーカーブは、“MANUAL”の中の、押した番号に記憶されます。
- すでに記憶されているキーを押したときは新しい記憶内容に変わります。

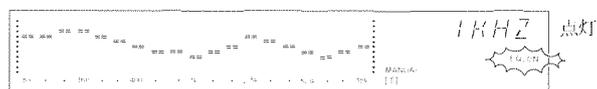
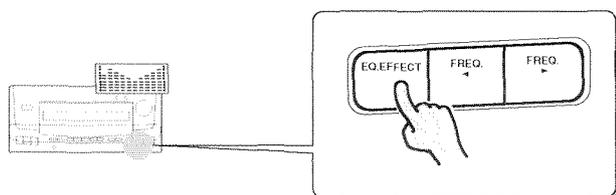
## 記憶させたカーブを取り消すとき

取り消したい番号のキーを5秒以上押し続けると、本機に最初から記憶されているイコライザーカーブに戻ります。



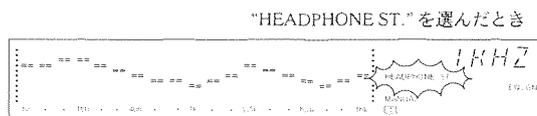
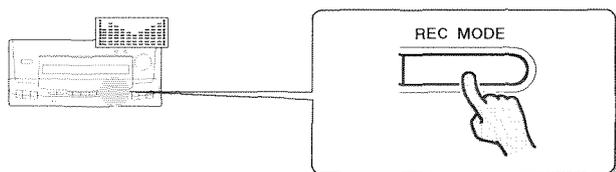
## カーステレオ用、ヘッドホンステレオ用のテープを作る

- 1 録音したい音を再生する
- 2 グラフィックイコライザーをONにする



- 3 お好みの音質にする

- 4 カーステレオかヘッドホンステレオを選ぶ



押すたびに切り替わります

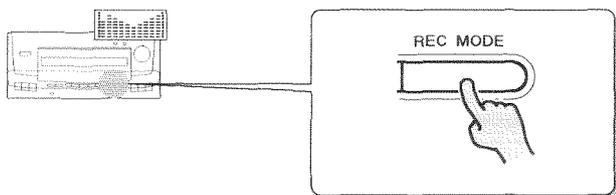
- ① CAR : カーステレオ用録音
- ② HEADPHONE ST : ヘッドホンステレオ用録音
- ③ 消灯 : **REC MODE**キーを押す前のカーブ

- カーステレオ、ヘッドホンステレオ用のイコライザーカーブが、それまで表示されていたイコライザーカーブと合成されます。
- 通常のイコライザーとして使うときや、カーステレオ、ヘッドホンステレオ用以外の録音のときには使わないでください。

- 5 録音する → P.37

### 解除するには

キーを押して、“CAR”、“HEADPHONE ST”を消灯させます。



- 最後に選んでいたカーブが表示されます。



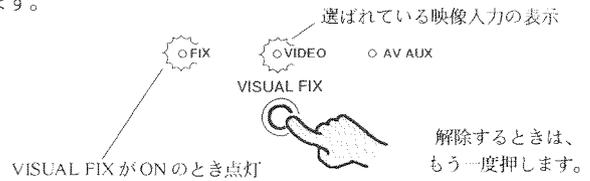
# ビデオ機器を使用する

接続や操作については、接続する映像機器の取扱説明書を、合わせてよくお読みください。

→ P.8

## VISUAL FIX キーについて

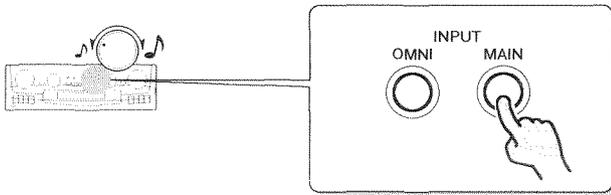
映像系 (VIDEO, AV AUX) の入力 that 切替わらないようにするキーです。たとえば、VISUAL FIX が ON のときは、入力を VIDEO から AV AUX に切替えても、映像は VIDEO のままとなり、音声だけが AV AUX に切替わります。



## ビデオを再生する

1 モニターテレビの電源を入れる

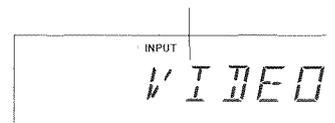
2 入力切替を VIDEO にする



押すたびに切替わります

- ① CD
- ② TUNER (周波数の表示)
- ③ TAPE
- ④ MD/DAT
- ⑤ VIDEO
- ⑥ AV AUX

"VIDEO" の表示にします



3 ビデオデッキを再生する

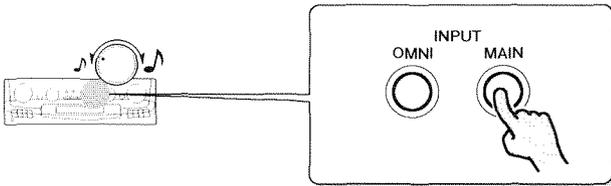
## ビデオ録画をする

1 録画したい機器を接続する

● 録画したい機器を AV AUX 端子に接続します。

● ビデオデッキ (再生のみ)、ビデオカメラ (再生のみ)、LD プレーヤー、BS チューナーなどが接続できます。

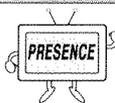
2 入力切替を AV AUX にする



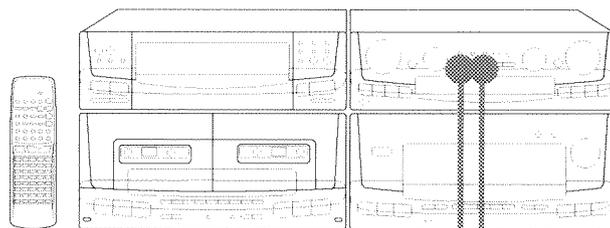
3 録画したい機器を再生する

4 ビデオデッキで録画を開始する

# 臨場感を楽しむ



臨場感を再現するための、モードを用意しました。再生ソースやお手持ちの機器に合わせて、お楽しみください。



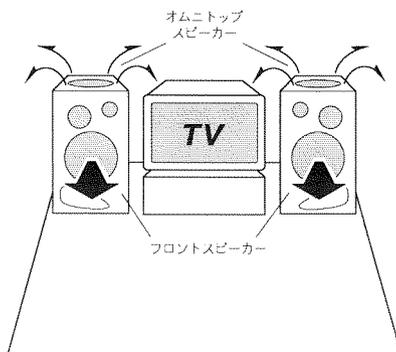
## DSP プレゼンスモード

### フロント4チャンネル (F.4ch) モード

フロントスピーカー(プレゼンススピーカー内蔵)だけを使って、手軽に7種類の臨場感を再現できます。 → P.58

モードの種類

- ARENA(アリーナ)      JAZZ CLUB(ジャズクラブ)
- STADIUM(スタジアム)      DISCO(ディスコ)
- CHURCH(チャーチ)      MOVIE(ムービー)
- GAME(ゲーム)

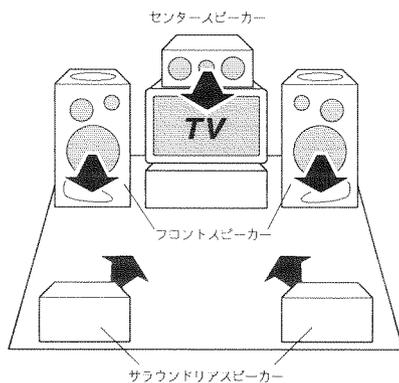


### サラウンド4チャンネル (S.4ch) モード

サラウンドリアスピーカー(別売)を接続して使うときにこのモードを選びます。フロント4チャンネルモードに比べてさらに臨場感あふれる音で聞くことができます。フロント4チャンネルモードと同様に7種類の臨場感を再現できます。 → P.58

モードの種類

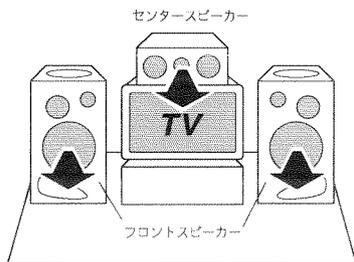
- ARENA(アリーナ)      JAZZ CLUB(ジャズクラブ)
- STADIUM(スタジアム)      DISCO(ディスコ)
- CHURCH(チャーチ)      MOVIE(ムービー)
- GAME(ゲーム)



センタースピーカー(別売)を接続すると、臨場感が一段とアップします。

## DOLBY 3 STEREO モード

一般のステレオ音声のビデオソフトを楽しむとき、センタースピーカーを加え、方向性強調と呼ぶ処理をすることで、セリふなどの音像定位を良くします。 → P.62

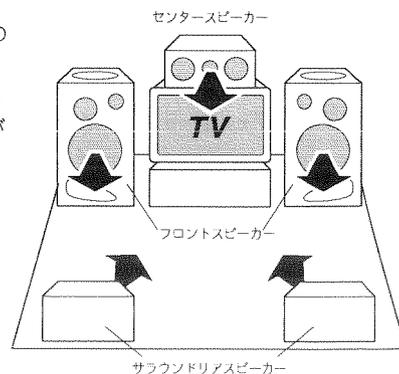


## DOLBY PRO LOGIC SURROUND モード

このモードで **DOLBY SURROUND** のマークが入ったビデオソフトやLDソフトを再生すると、映画館と同じような、臨場感あふれるドルビーサラウンド音響効果が楽しめます。

このモードを使うときはサラウンドリアスピーカー(別売)を接続してください。また、センタースピーカー(別売)を接続すると、臨場感が一段とアップします。

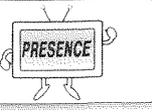
→ P.60



## DSPってなに?



デジタルシグナルプロセッサ(Digital Signal Processor)の略称。音の響きかたは様々な条件によって変化します。フロント4チャンネルモード、またはサラウンド4チャンネルモードではDSPを活用して、一般の2チャンネルステレオの音声から、臨場感の決め手となる残響成分(さまざまな空間における音の響きの要素)を作り出しています。



# 臨場感のある音楽を楽しむ (DSP プレゼンスモード)

58

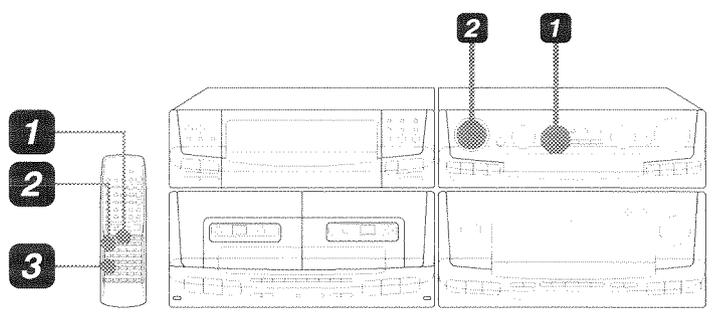
F.4ch のとき:

メインスピーカーから音楽が、オムニトップスピーカーからはプレゼンス音が出力されます。

S.4ch のとき:

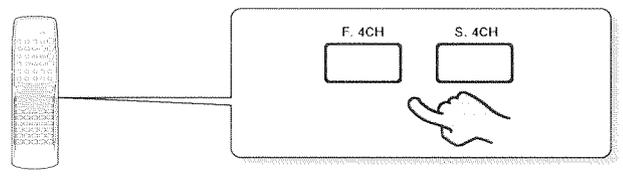
メインスピーカーから音楽が、サラウンドリアスピーカー、センタースピーカー(別売)からはプレゼンス音が出力されます。

準備しましょう ●放送を受信するか、CD、またはカセットテープを再生します。  
→ P.18 → P.26 → P.30



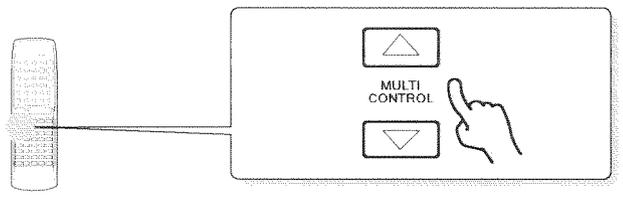
S.4CH のとき、オムニトップスピーカーから音は出ません。また、DUAL SOUND キーは働きません。

## 1 F. 4ch、S. 4ch のどちらかを選ぶ



●スピーカーの配置によって決めます。 → P.57

## 2 音場を選ぶ

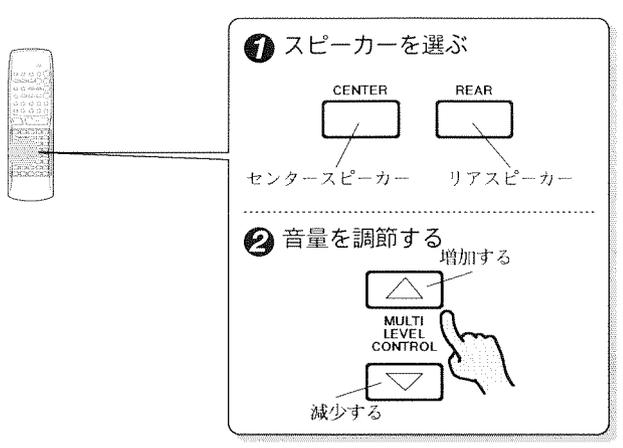


押すたびに切り替わります

- ① ARENA  
アリーナ席の最前列にいるようなライブ感を再現
- ② JAZZ CLUB  
シンバルの響きわたるジャズライブハウスを再現
- ③ STADIUM  
天井から反射してくる残響音がほとんどない解放感のある雰囲気  
を再現
- ④ DISCO  
心地よい残響とグライコの併用で、ディスコ気分を再現
- ⑤ CHURCH  
荘厳な教会の豊かな残響音を再現
- ⑥ MOVIE  
映画館特有の残響音と臨場感を再現
- ⑦ GAME  
ゲームソフトの持っている効果音をダイナミックに再現

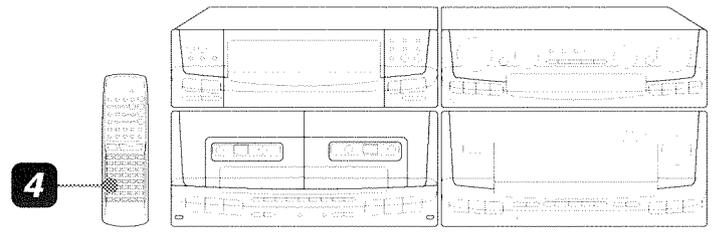
●選んだ音場に対応して LINEAR ACOUSTIC つまみが自動的に設定されます。

## 3 音量のバランスを調節する S.4chのみ

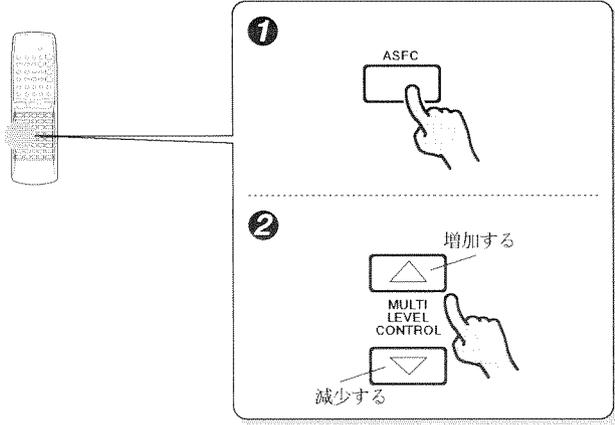


- **CENTER** キーまたは **REAR** キーを押すと、音量レベルがディスプレイに表示され、**MULTI LEVEL CONTROL** キーを押すたびに 1dB ステップで調節できます。
- 音量レベルの調整範囲は -30dB~+10dB です。
- センターレベルは“ドルビープロ・ロジックサラウンド”、“ドルビー3ステレオ”と共通、またリアレベルは“ドルビープロ・ロジックサラウンド”と共通の設定として記憶されます。

臨場感を楽しむ

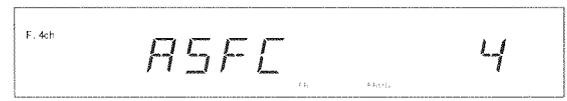


## 4 音の広がり (ASFC) を調節する

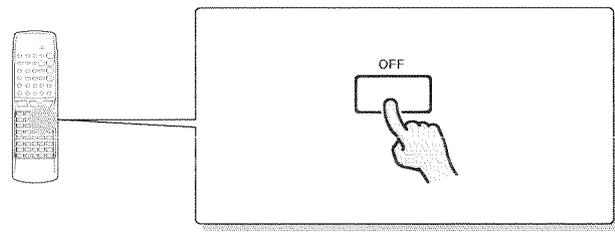


ASFC キーで、更に音の広がりを7段階に調節することができます。数字が大きくなるほど音の広がりが強調されます。(通常レベルは“4”)

- **[A]**キーを押さなかったときや、CD以外を聴くとき、好みの音になるように調節します。



## DSP再生をやめるには



- DSP再生をしないときは、必ずOFFにしてください。

## ASFCとは

アコースティック サラウンド フィールド コントロール  
ASFC: Acoustic Surround Field Controlの略。

## 音の広がりとは

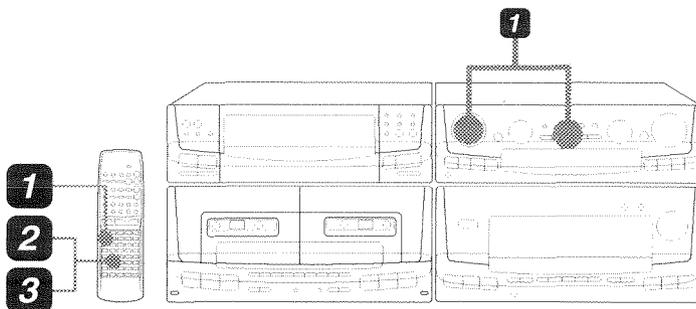
ホールによって、または野外スタジアム・ライブなどで、音の聴こえかたが違うのは、間接音の分布が異なるためです。ASFCではこれらの間接音のレベルを調整し、音の広がりを表現します。

## AI LINK イコライザー効果

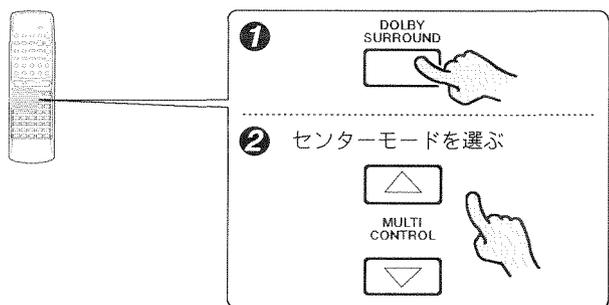
音場を選んだり解除すると、最適なイコライザーカーブとリニアアコースティックコントロール(メインスピーカーとオムニトップスピーカーの音量バランス)が自動設定され、音場効果を高めます。

# ドルビープロ・ロジックサラウンドの調整

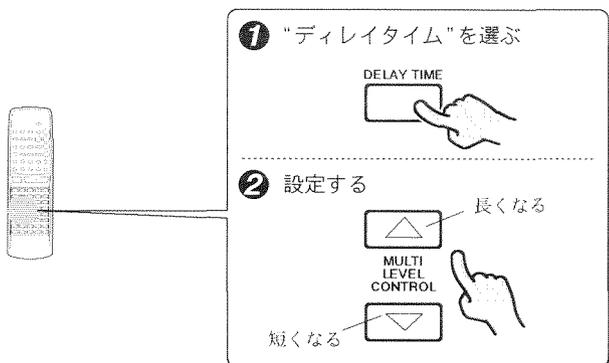
**DOLBY SURROUND** マークのビデオ(または LD)ソフトを再生すると、映画館と同じようなドルビーサラウンド音響効果が楽しめます。



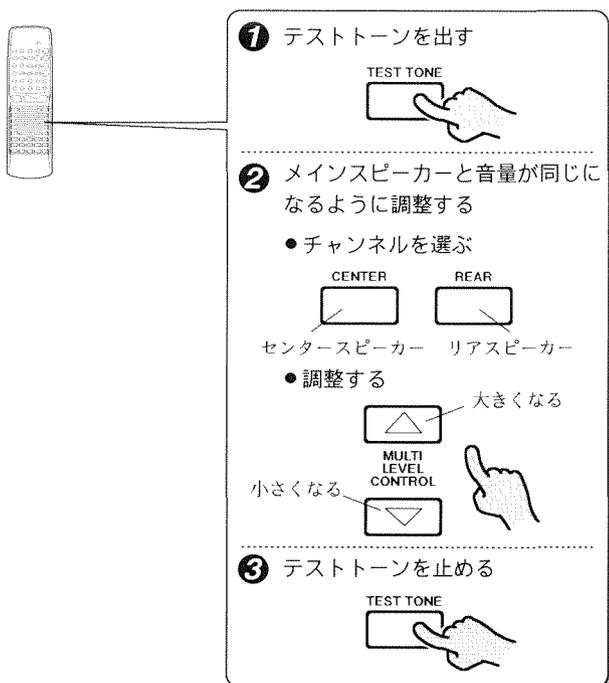
## 1 ドルビーサラウンドをオンにする



## 2 遅延時間(ディレイタイム)をあわせる



## 3 音量のバランスを調整する



ドルビープロ・ロジックサラウンドのとき、オムニトップスピーカーから音は出ません。また、DUAL SOUNDキーは働きません。



押すたびに切り替わります。

- ① **NORMAL** : センタースピーカーが小型のとき
- ② **WIDE BAND** : センタースピーカーが中型または大型のとき
- ③ **PHANTOM** : センタースピーカーを使わないとき

- センタースピーカーの小型/中型について、判断ができないときは、聞き比べて、好みの方に設定してください。



- **DELAY TIME** キーを押すと、遅延時間が表示部に表示され、**MULTI LEVEL CONTROL** キーを押すたびに1msステップで調整できます。
- 遅延時間の調整範囲は15~30msです。
- 一度設定した遅延時間は自動的に記憶され、再設定しない限り、変わりません。

- 1.5秒間隔で、「ザー」というテスト音が移動して行きます。

NORMAL、WIDE BANDのとき

▶ LEFT → CENTER → RIGHT → SURROUND(リア) ←

PHANTOMのとき

▶ LEFT → RIGHT → SURROUND(リア) ←

- **MULTI LEVEL CONTROL** キーを押すと、音量レベルが表示部に表示されます。表示中はキーを押すたびに1dBステップで調整できます。
- 音量レベルの調整範囲は-30dB~+10dBです。
- センターレベルは「ドルビー3ステレオ」、「S.4ch」と共通、また、リアレベルは「S.4ch」と共通の設定として記憶されます。

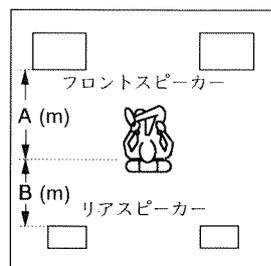
## 遅延時間の計算方法

あなたが座る場所によって、最適な遅延時間が異なります。図を参考に、計算してください。

$$\text{遅延時間 (ms)} = 20\text{ms} + 3\text{ms} \times (A - B)$$

たとえば、A=5m、B=3mなら...

$$20\text{ms} + 3\text{ms} \times (5 - 3) = 26\text{ms}$$

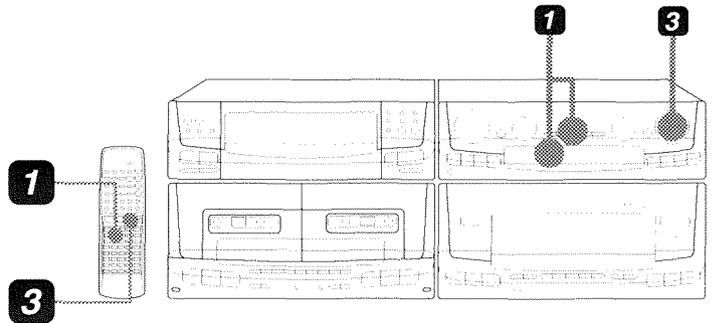


A: フロントスピーカーまでの距離  
B: リアスピーカーまでの距離

# ドルビープロ・ロジックサラウンドの再生

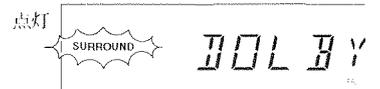
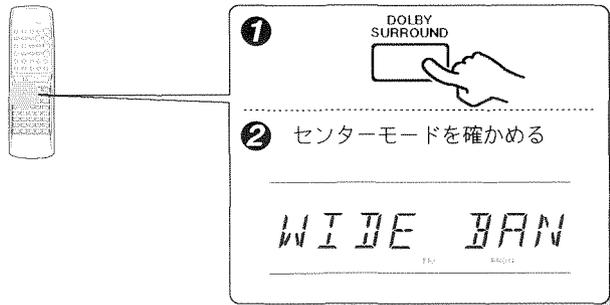


**DOLBY SURROUND** マークのビデオ(またはLD)ソフトを再生する前に、必ず「ドルビープロロジックサラウンドの調整」を済ませてください。



ドルビープロ・ロジックサラウンドのとき、オムニトップスピーカーから音は出ません。また、DUAL SOUNDキーは動きません。

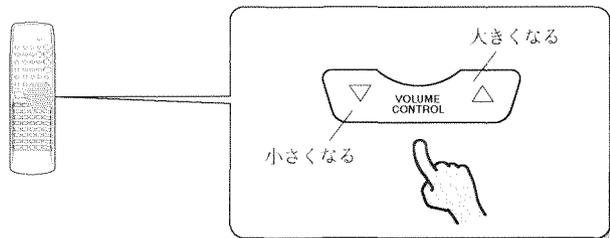
## 1 ドルビーサラウンドをオンにする



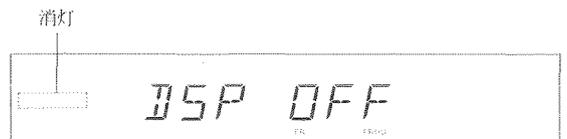
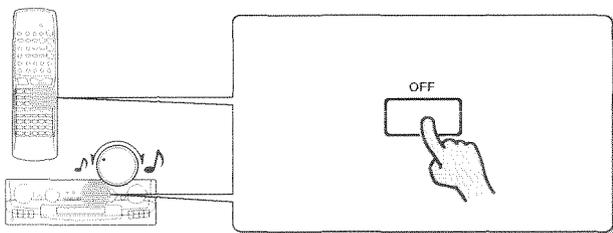
- **MULTI CONTROL** キーでセンターモードの切換えができます。
- ① **NORMAL** : センタースピーカーが小型のとき
- ② **WIDE BAND** : センタースピーカーが中型または大型のとき
- ③ **PHANTOM** : センタースピーカーを使わないとき
- 選んだセンターモードは自動的に記憶され、再設定しない限り、変わりません。

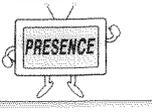
## 2 ビデオソフトを再生する

## 3 音量を調節する



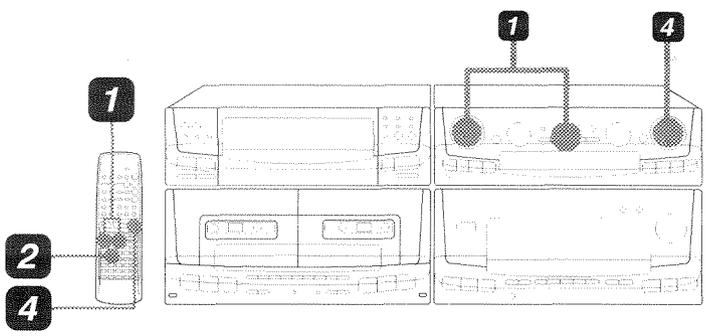
## ドルビーサラウンド再生をやめるには





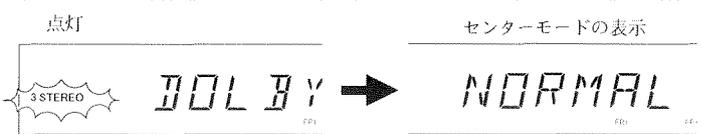
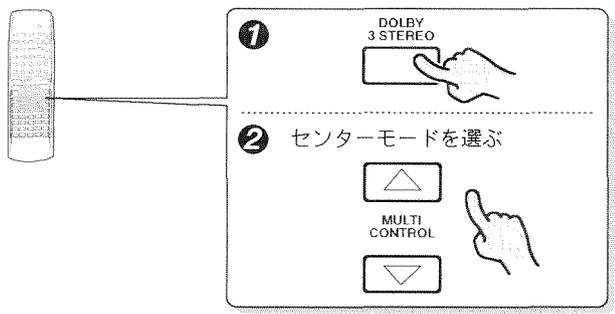
# ドルビー3ステレオの調整・再生

一般の2チャンネルステレオ音声のビデオソフトなどを再生するときに、センタースピーカーを加え、方向性強調処理をすることで、せりふ等の音像定位が良くなります。



ドルビープロ・ロジックサラウンドのとき、オムニトップスピーカーから音は出ません。また、DUAL SOUNDキーは動きません。

## 1 ドルビー3ステレオをオンにする

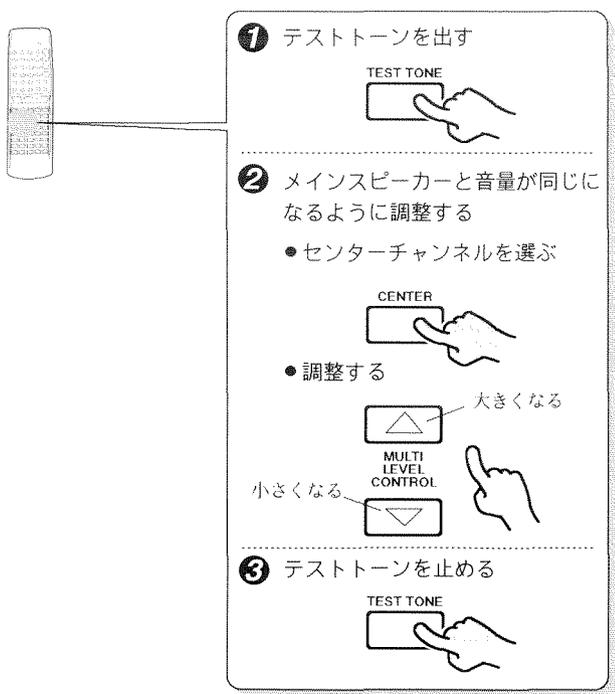


押すたびに切替わります。

- ① **NORMAL** : センタースピーカーが小型のとき
- ② **WIDE BAND** : センタースピーカーが中型または大型のとき

- 中型/小型の判断ができないときは、聴き比べて、お好みで選んでください。
- 選んだセンターモードは自動的に記憶され、再設定しない限り、変わりません。

## 2 音量のバランスを調整する



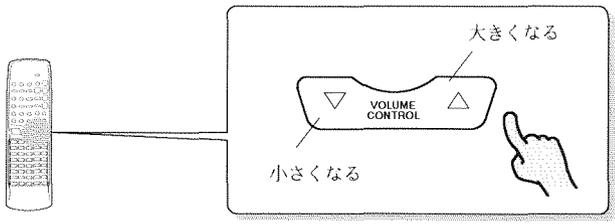
- 1.5秒間隔で、「ザー」というテストトーンが移動して行きます。



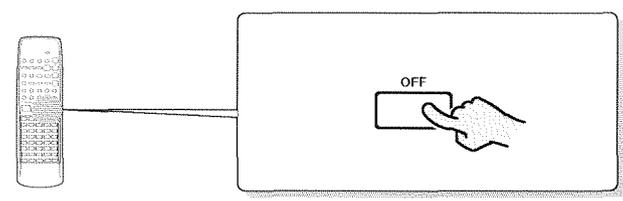
- **MULTI LEVEL CONTROL**キーを押すと、音量レベルが表示部に表示されます。表示中はキーを押すたびに1dBステップで調整できます。
- 音量レベルの調整範囲は-30dB~+10dBです。
- センターレベルは「ドルビープロ・ロジックサラウンド」、「S.4ch」と共通の設定として記憶されます。

## 3 ビデオソフトを再生する

## 4 音量を調節する

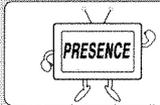


## ドルビー3ステレオ再生をやめるには

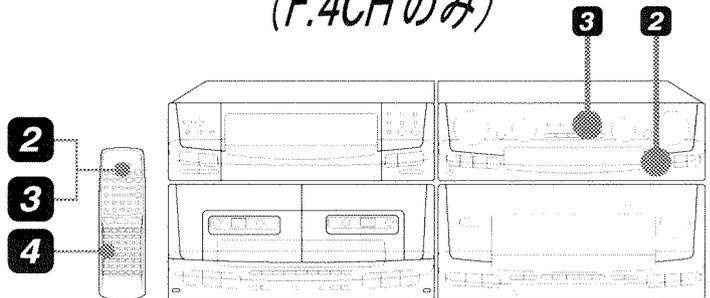


高揚感を覚えない

# 臨場感、プラス、バーチャルリアリティーサウンドを体験する (F.4CHのみ)



メインスピーカーから音楽が、オムニトップスピーカーからはプレゼンス音と環境音 (OMNI INPUT) キーで選んだソース) が出力されます。



**準備しましょう**

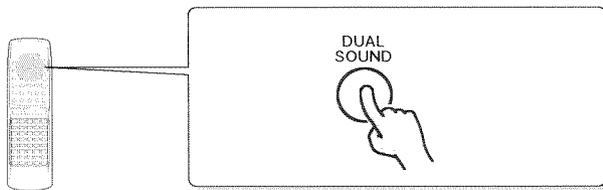
- P.18
- P.26
- P.30

● 放送を受信するか、CD、またはカセットテープを再生します。

## 1 F.4CH の、お好みの音場を選ぶ

- 7種類の音場があります。  
(ARENA, JAZZ CLUB, STADIUM, DISCO, CHURCH, MOVIE, GAME)
- 選んだ音場に対応して LINEAR ACOUSTIC つまみが自動的に設定されます。

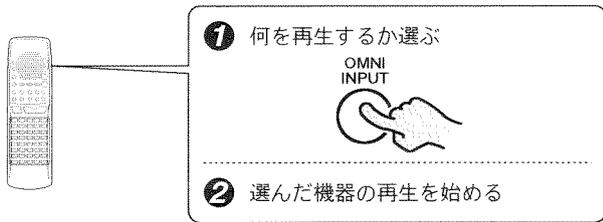
## 2 バーチャルリアリティーサウンドの音量を調節する



押すたびに切り替わります

- ① LEVEL 1 (環境音の音量: 小)
- ② LEVEL 2 (環境音の音量: 中)
- ③ LEVEL 3 (環境音の音量: 大)
- ④ LEVEL 表示なし (環境音を出力しない)... "DUAL SOUND" 消灯

## 3 バーチャルリアリティーサウンドを再生する



- ① 何を再生するか選ぶ
- ② 選んだ機器の再生を始める

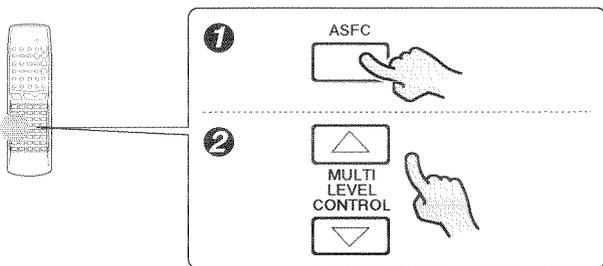


押すたびに切り替わります

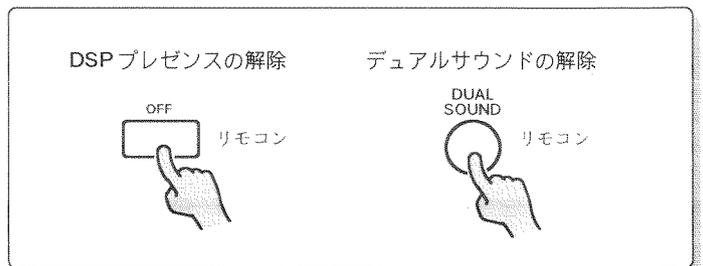
- ① CD
- ② TAPE
- ③ MB / DAT
- ④ AV AUX

● "DUAL SOUND" 表示の消灯中には、オムニ入力は選べません。

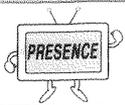
## 4 音の広がりを調節する



### 解除するには



● ASFC は、お好みにより調節してください。 → P.59

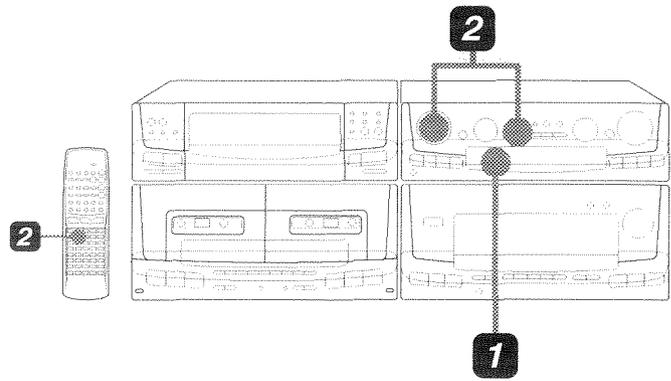


# 臨場感のある音楽を録音する (F. 4chのみ)

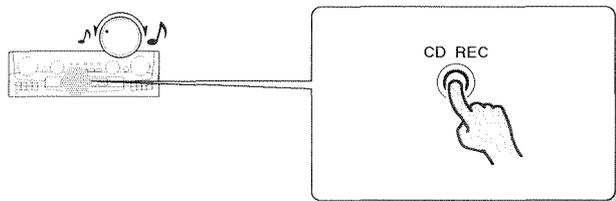
**準備しましょう**

→ P.36

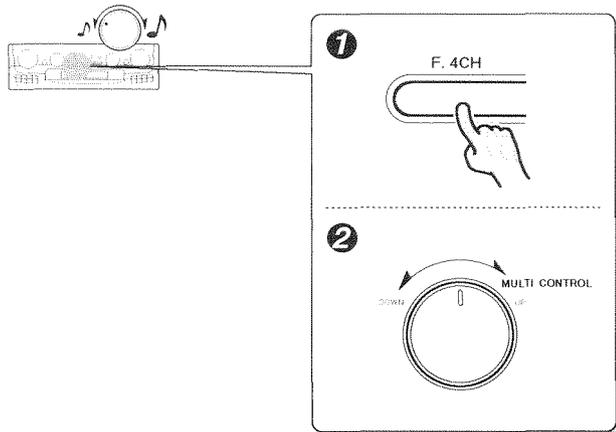
- Bデッキにカセットテープを入れる。
- テープの動く向き(◀▶)を確かめる。
- ドルビー・ノイズリダクションを選ぶ。
- CDプレーヤーにディスクを入れる。
- **MAIN INPUT**キーで“CD”または“チューナー”を選ぶ。



## 1 CD RECをOFFにする



## 2 F. 4chから音場を選ぶ



押すたびに切り替わります

- ① **ARENA**  
↑ アリーナ席の最前列にいるようなライブ感を再現
- ② **JAZZ CLUB**  
↑ シンバルの響きわたるジャズライブハウスを再現
- ③ **STADIUM**  
↑ 天井から反射してくる残響音がほとんどない解放感のある雰囲気  
を再現
- ④ **DISCO**  
↑ 心地よい残響とグライコの併用で、ディスコ気分を再現
- ⑤ **CHURCH**  
↑ 荘厳な教会の豊かな残響音を再現
- ⑥ **MOVIE**  
↑ 映画特有の残響音と臨場感を再現
- ⑦ **GAME**  
↑ ゲームソフトの持っている効果音をダイナミックに再現

● 選んだ音場に対応して LINEAR ACOUSTIC つまみが自動的に設定されます。

## 3 音楽を再生し、録音する

● バーチャルリアリティーサウンドを組合わせた場合、オムニ入力の音がミックスされた録音になります。

臨場感を楽しむ

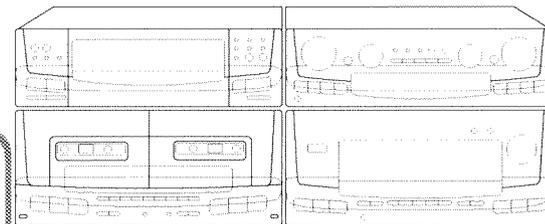
# タイマーを使う

時刻合わせを済ませてから、タイマーを設定してください



通常のタイマー予約(プログラムタイマー)に加えて、その他3種類の便利なタイマーが用意されています。目的に合わせて使い分けてください。

65



## プログラムタイマー

ON時刻に電源が入り、OFF時刻に電源が切れるように放送、テープ、CDの再生、放送の録音を行ないます。  
最大4つまでのタイマー予約ができます。

→ P.66

## おやすみタイマー

設定した時間が過ぎると、自動的に電源が切れます。

→ P.70

## 目覚ましタイマー (AI TIMER 1/2)

プログラムタイマーに、目覚ましタイマーを追加設定することができます。

AI TIMER 1 : 電源が入ると、音量が3段階でだんだん大きくなります。

AI TIMER 2 : お好きなディスクでお目覚めの後、自動的に放送を受信します。

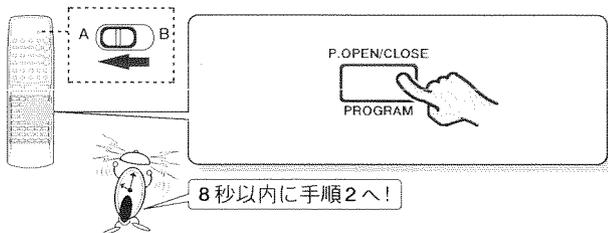
→ P.69

## ワンタッチタイマー

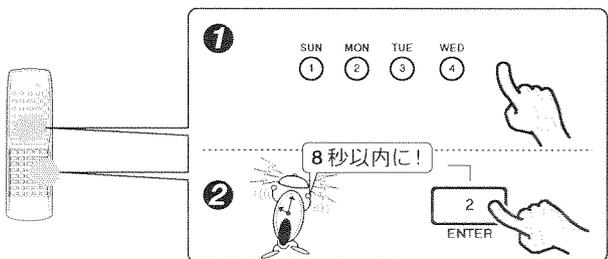
電源ON時刻を簡単に設定できます。

→ P.70

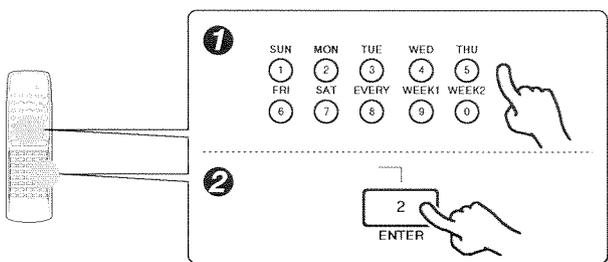
## 1 タイマー設定を始める



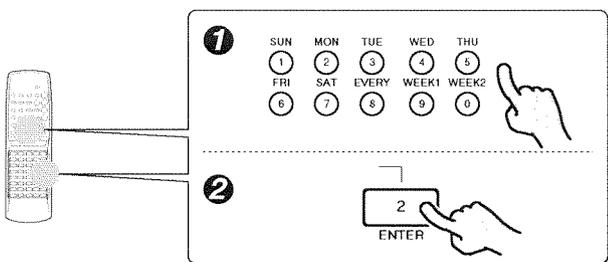
## 2 プログラム番号を選ぶ



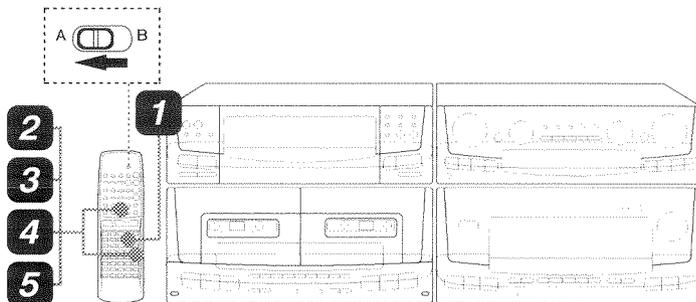
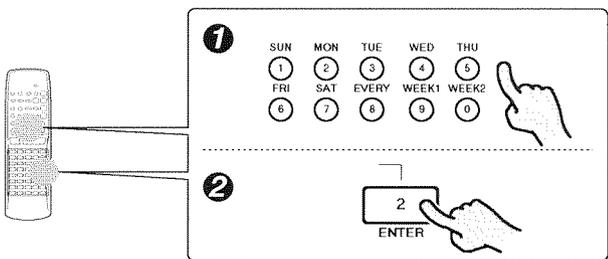
## 3 曜日を設定する



## 4 ON時刻を設定する



## 5 OFF時刻を設定する



SELECT PROGRAM

- プログラム番号(1~4)が点滅します。

PNO

- 選んだプログラム番号が点滅します。
- すでに予約されているプログラム番号を選んだときは、新しい設定内容に変わります。

DAY

- 間違えたときは、**CLEAR**キーを押してやり直してください。



日曜日～土曜日の他に、3パターン用意されています。  
 EVERY : 月曜日～日曜日の毎日  
 WEEK 1 : 月曜日～土曜日の毎日  
 WEEK 2 : 月曜日～金曜日の毎日

ON 00:00

数字キーを押す順序は ...

午前6時30分なら: **0630**

- 間違えたときは、**CLEAR**キーを押してやり直してください。

OFF 00:00

数字キーを押す順序は ...

午前7時00分なら: **0700**

- 間違えたときは、**CLEAR**キーを押してやり直してください。

## 6 希望の予約を設定する

### 放送、CD、テープを聴くとき

#### ① SELECT MODE



#### ② SELECT SOURCE

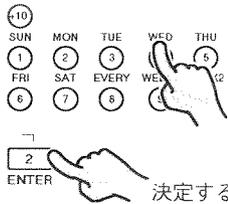


#### ③ 聴くための準備をする

##### ● 放送を聴く

#### SELECT PRESET

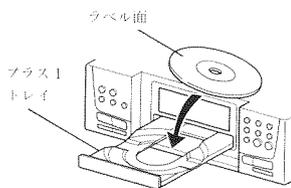
プリセットナンバーを選ぶ



放送局は必ずプリセットしておいてください。

##### ● CDを聴く

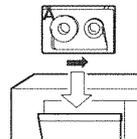
プラス1トレイにCDをセットする



プログラム再生はできません。

##### ● テープを聴く

テープをセットする



A、B両デッキにテープを入れるとBデッキから再生が始まります。

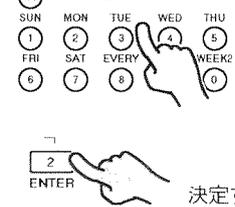
### 放送を録音するとき

#### ① SELECT MODE



#### ② SELECT PRESET

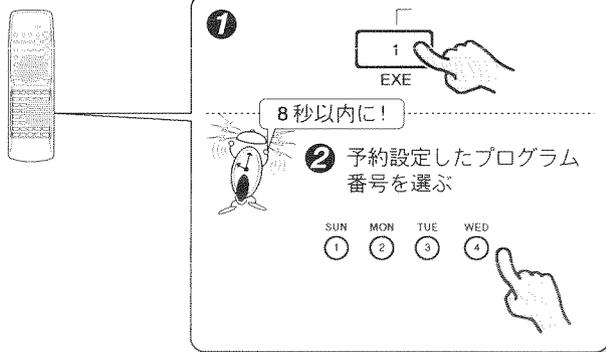
プリセットナンバーを選ぶ



#### ③ 録音の準備をする

→ P.36

## 7 働かせたいプログラム番号をセットする



### SELECT PROGRAM

- 選んだプログラム番号が点灯します。
- プログラム番号をセットしないと、タイマーは動きません。



## 8 音量を調節する

## 9 電源を切る

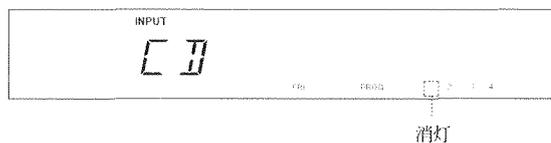
- 放送を録音するとき、タイマーで電源がONになると最低の音量に自動的にセットされます。

## タイマーで電源がONになったあとそのまま再生を続ける

①

② プログラム番号の数字キーを押す

SUN MON TUE WED  
① ② ③ ④



●実行中のプログラム番号が消灯していることを確認します。

## 予約の内容を確認する

① P.OPEN/CLOSE PROGRAM

②

点滅中に!

SUN MON TUE WED  
① ② ③ ④

プログラム番号の数字キーを押す

●予約内容を約3秒ずつ表示していきます。そのあと、元に戻ります。

## 予約の内容を変更するには

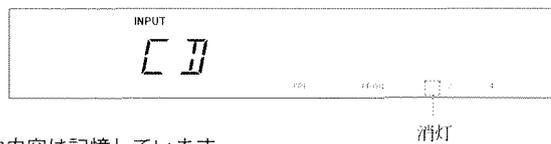
"タイマー予約をする"を始めからやり直してください。

## タイマーを働かせたくないとき

①

② プログラム番号の数字キーを押す

SUN MON TUE WED  
① ② ③ ④



●予約内容は記憶しています。

## 再び同じ内容のタイマーをセットする

① EXEキーを押す

② プログラム番号の数字キーを押す

③ 電源をOFFにする

●ディスク、テープの準備、音量の調節をしておきます。

**ご注意**

予約内容は削除できません。内容を変更することにより、以前の内容が消されます。



タイマーを使う

# AIタイマーの使いかた

時刻合わせを済ませてから、タイマーを設定してください



プログラムタイマーで時刻を設定したうえで、AIタイマー機能を利用することができます。AIタイマー1とAIタイマー2を同時にセットすることもできます。



付属のバーチャル・リアリティ・サウンドCDの1曲目には「目覚まし音」が、2曲目には「小鳥のコーラス」が収録されています。AIタイマーと組合わせてさわやかなお目覚めに、ご利用ください。

## 音量がだんだん大きくなる (AIタイマー1)

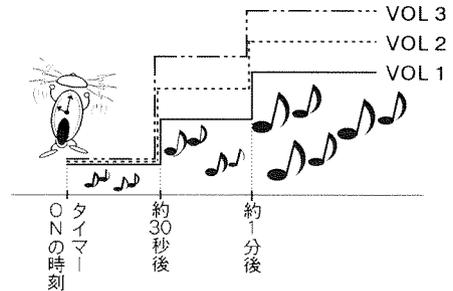
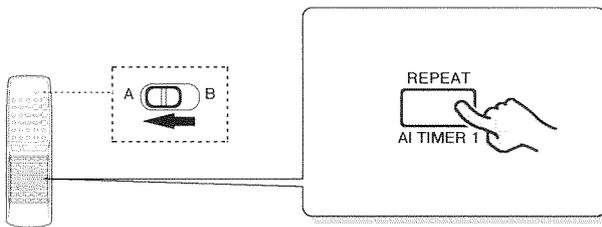
プログラムタイマーで電源が入ったとき、音量が3段階で大きくなる機能です。

準備しましょう



- プログラムタイマーを設定する
- 電源をOFFにしておく

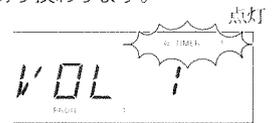
### AIタイマー1キーを押す



- イコライザーカーブも変わります。

最大音量を選びます。キーを押すごとに切り換わります。

- ① VOL 1 (小さめ)
- ② VOL 2 (中くらい)
- ③ VOL 3 (大きめ)
- ④ OFF (AIタイマー1を使わない)



- AIタイマー1が働いているときにリモコンで音量を調節するか、またはグラフィックイコライザーを操作すると、音量は固定されます。

### AIタイマー1を解除するには

**AI TIMER 1**キーを押して“OFF”を選び、インジケーターを消灯させてください。

## CDを聴いたあとで放送に切り換わる (AIタイマー2)

プログラムタイマーで電源が入ると、CDを2曲再生した後、自動的に最後に聴いていた放送局を受信します。

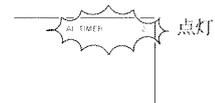
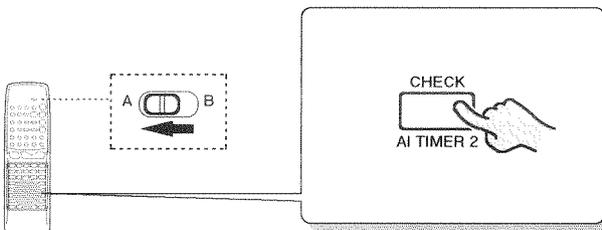
AIタイマー2は、他のプログラムタイマーより優先されます。

準備しましょう



- CDプレーヤーのプラス-1トレイにディスクを入れる
- 放送を受信するように、プログラムタイマーを設定する。

### AIタイマー2キーを押す



- AIタイマー2のCDの再生中に入力を切替えるか、CDプレーヤーの操作キーを押すと、CDの再生をやめ、AIタイマー2は解除されます。
- CDが入っていないときは、最初から放送受信になります。

### AIタイマー2を解除するには

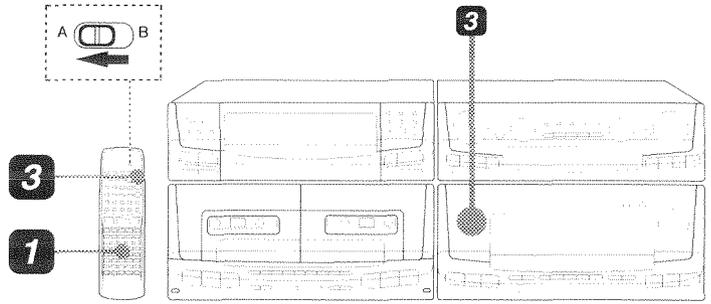
**AI TIMER 2**キーを押してインジケーターを消灯させてください。

ご注意



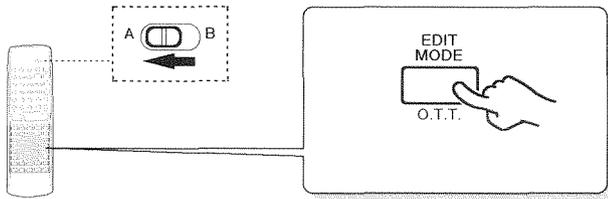
1. プログラムタイマーの動作が終わっても、AIタイマー1およびAIタイマー2のインジケーターは消えません。AIタイマーを使わないときは必ずインジケーターを消しておいてください。
2. AIタイマーは、タイマー録音のときは働きません。

タイマーを使う

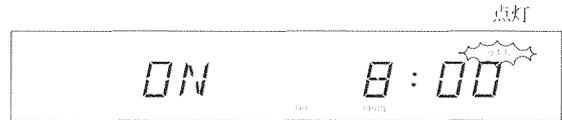


## ワンタッチタイマー予約

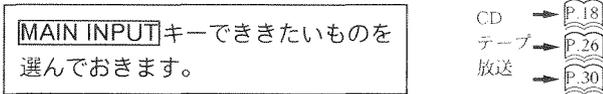
### 1 ON時刻を設定する



- 1回押しすると、30分以内の区切りのよい時間が設定されます。(例: 7時40分 → 8時00分)。以後、押すたびに30分ずつ追加されます。12時間先まで設定できます。
- 電源がOFFのときにも設定できます。

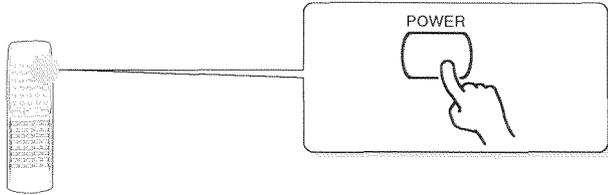


### 2 ききたい音楽を準備する



- CDのときディスクが、またはテープのときにカセットテープが入っていないと、最後に聴いていた放送局が受信されます。

### 3 電源を切る



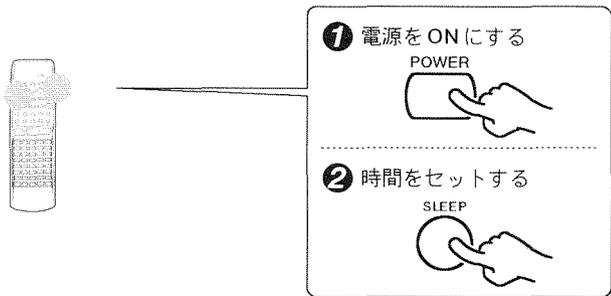
- **[O.T.T.]**キーを1回押しすると、ON時刻を確認することができます。
- ワンタッチタイマーで電源がONになると、自動的におやすみタイマーが60分にセットされます。

### 解除するには

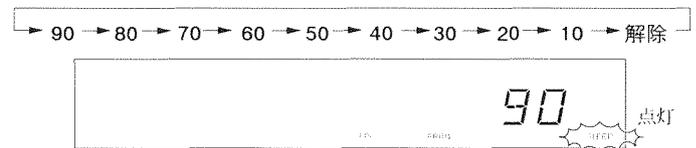
電源をONにする、または、“O.T.T.”表示が消えるまで**[O.T.T.]**キーを押します。

## おやすみタイマー予約

### 何分後に電源を切るかを設定する



- セットした時間が過ぎると、自動的に電源がOFFになります。
- おやすみタイマーは、他のタイマーより優先されます。
- 1回押しごとに10分ずつ減っていきます。最大90分まで設定できます。



### 解除するには

電源をOFFにする、または、**[SLEEP]**キーを解除になるまで押す

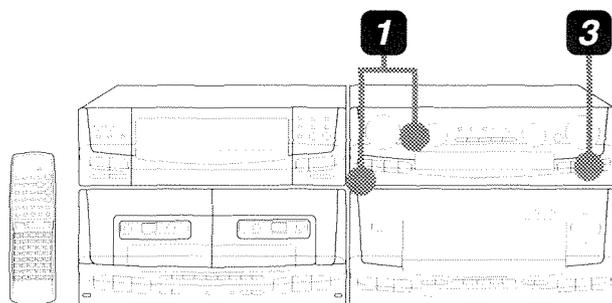
ご注意

時刻合わせのために**[ADJUST]**キーを押すと、ワンタッチタイマーは解除されます。



# 便利な使いかた

CDやテープのヴォーカルだけを小さくして、簡単にカラオケができる“HIT MASTER”と、部屋のどこにいてもステレオのL,R両チャンネルの音が耳に届く“BGM再生”があります。



## 簡単にカラオケを楽しむ (HIT MASTER)

### 1 マイクをつなぐ

**①** MIC MIXINGつまみを左いっぱいに戻す

MIC MIXING

**②** MIC端子にマイクを接続する

**③** カラオケ演奏とマイクの音量バランスを調節する

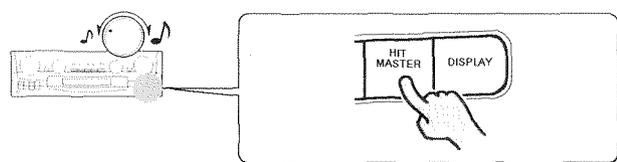
MIC MIXING

マイクの音が小さくなる      マイクの音が大きくなる

●マイクを使用しないときは、MIC MIXINGつまみを左いっぱいに戻しておいてください。

### 2 音楽を再生する

### 3 HIT MASTERキーを押す



●ドルビーサラウンド、ドルビー3ステレオ、BGM再生以外にします。



●音楽ソースのヴォーカルが小さくなります。ただし、曲やディスクによっては効果が弱い場合もあります。

●全体の音量は、VOLUMEつまみで調節してください。

### 4 曲に合わせて歌う

### カラオケを録音するには

**①** “CD REC”が消灯しているのを確かめる

消灯

**②**

**③** 録音する → P.37

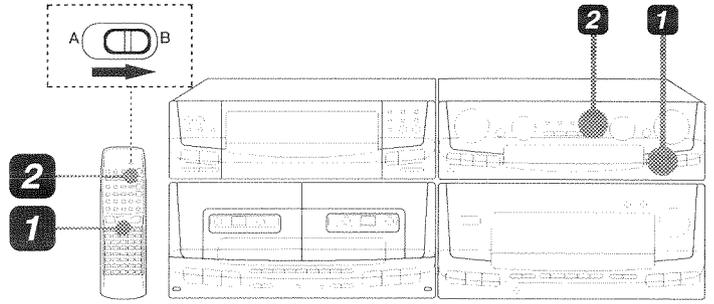
テープの演奏でカラオケをするとき、その音は録音できません。



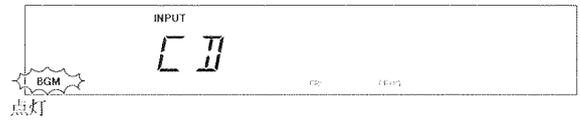
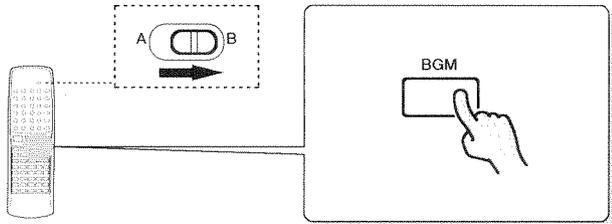
MIC MIXINGつまみを左いっぱいに戻して録音すると、カラオケテープを作ることができます。

# BGM再生のしかた

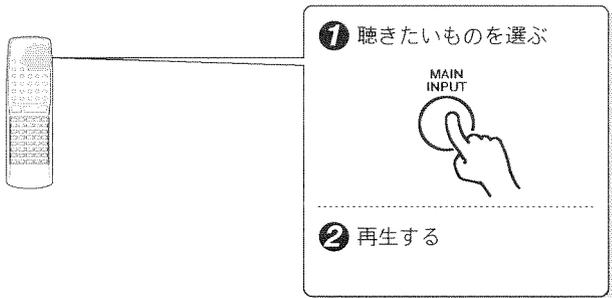
メインスピーカーとオムニトップスピーカーに、それぞれ“左”と“右”の音を割り当てて、ステレオ再生する機能です。右チャンネルはメインスピーカーが“右”、オムニトップスピーカーが“左”の音を出力します。(左チャンネルでは、逆になります。)  
部屋のどこにいても左右のチャンネルの音が耳に届きます。



## 1 “BGM” を選ぶ



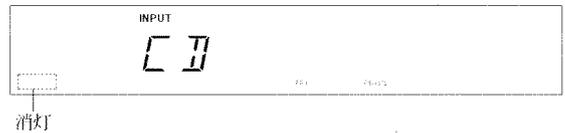
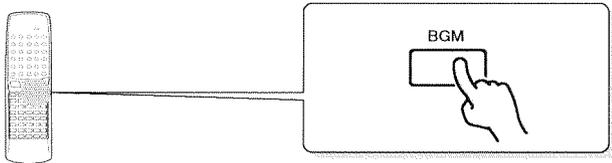
## 2 聴きたいものを選んで、再生する



押すたびに切り替わります。

- ① CD
- ② TUNER (周波数表示)
- ③ TAPE
- ④ MD / DAT
- ⑤ VIDEO
- ⑥ AV AUX

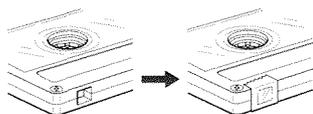
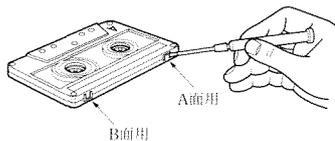
## BGM再生をやめるには



## カセットテープについてのご注意

### 誤消去防止装置

大切な録音のあとには、カセットのツメを折ってください。誤消去・誤録音が防げます。



折った所だけにテープをはる。

再び録音するには

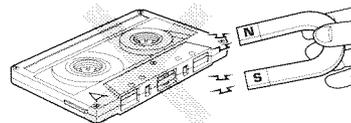
ご注意:

### 1. 110/120分テープについて

110/120分テープは大変薄く、ピンチローラーに巻きついたり、切れたりトラブルが発生しやすいので、ご使用はお避けください。

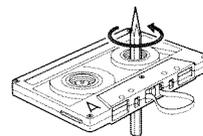
### カセットテープの保管について

直射日光下や暖房器などのそばに放置しないでください。また、磁石や磁気は近づけないでください。



### テープがたるんでいる場合

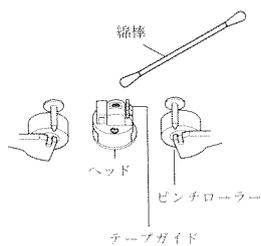
このような場合には、リール軸に鉛筆などを差し込んで、テープのたるみをとってから装着してください。



### 2. エンドレステープについて

エンドレステープは故障の原因となりますので、ご使用にならないでください。

## ヘッドのお手入れ



### ヘッド回りのクリーニング

いつまでも最良の状態でご使用になるには、テープ再生時間約10時間ごとに、ヘッド（録音／再生／消去）、キャプスタン、ピンチローラーのクリーニングを心がけてください。クリーニングは、次の手順で行ってください。

1. イジェクトキーを押し、カセットホルダーを開けます。
2. ヘッド（録音／再生／消去）、およびキャプスタン、ピンチローラーを、市販のクリーニング液を含ませた綿棒で注意深くクリーニングします。

### ヘッドの消磁

録音・再生ヘッドが磁気を帯びると雑音が大きくなります。市販の消磁器（ヘッドイレーサー）で消磁してください。

ご注意:

ヘッドのテープガイドなど、精密に調整された部分があります。クリーニングの際は、引っかけたり、強い衝撃などを加えないように注意してください。

## 露付きにご注意

水蒸気が、冷たいものの表面にふれて水滴が付くことを“露付き”といいます。この現象がおきますと、正常に動作しないか、または、まったく動作しないことがあります。

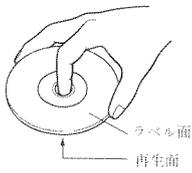
これは故障ではありませんが、露がとれるまでしばらく乾燥させる必要があります。

本機の電源を入れた状態で、そのまま放置しておいてください。長くても数時間で露が乾いてきます。

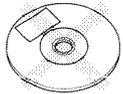
次のような状態のときは、特に露付きにご注意ください。

- 寒いところから暖かい部屋など気温差の大きいところへ持ち込んだとき。
- 暖房をきかせはじめたとき。
- 冷房のよくきいた部屋から、湿度が高く気温の高い部屋へ持ち込んだとき。
- その他本機の温度と外気温度との差が大きく、露付きの状態になりやすい条件のとき。

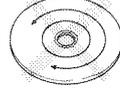
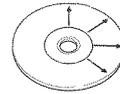
ディスク取扱上のご注意



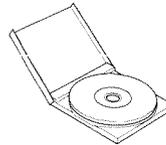
**取り扱い**  
再生面にふれないように持ってください。



再生面はもちろん、ラベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。

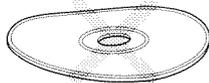
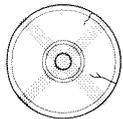


**お手入れ**  
ディスクに指紋や汚れがついたときは、やわらかい布などで、放射状に軽くふきとってください。



**保存**  
長い間使用しないときは、本機から取りだし、ケースに入れて保管してください。

ディスク使用上のご注意



ひびやそりのあるディスクは使わない

再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびや欠けのあるディスク、大きくそったディスク等は絶対に使用しないでください。プレーヤーの破損、故障の原因になります。

ドルビーノイズリダクションおよびHX PROヘッドルームエクステンションは、ドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。  
HX PROは、バングアンドオルフセンの考案です。ドルビー、DOLBY、ダブルD記号 **DD** およびHX PROは、ドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションの商標です。

ドルビー ラボラトリーズ ライセンスング コーポレーションからの実施権に基づき製造されています。  
ドルビー、DOLBYおよびダブルD記号 **DD** は、ドルビー ラボラトリーズ ライセンスング コーポレーションの商標です。

メモリーバックアップ

電源プラグをコンセントから抜くとすぐ消えるメモリーの内容	プリアンプ/チューナーの時計表示
電源プラグをコンセントから抜いて最低3日で消えるメモリーの内容	プリアンプ/チューナーのプリセット放送局 グラフィックイコライザー (記憶したパターン)

スピーカーの設置とテレビについて

1. このシステムのスピーカーは、テレビとの近接使用が可能な防磁型(EIAJ規格)ですが、設置のしかたによっては、色ムラを生じる場合があります。そのときは、一度テレビの電源を切り、15分~30分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁機能により、画面への影響が改善されます。その後も色ムラが残るような場合には、スピーカーを離してご使用ください。
2. 近くに磁石など磁気を発生するものが置かれている場合には、スピーカーとの相互作用により、テレビに色ムラを発生することがありますので、設置にご注意ください。
3. テレビからの電磁波の誘導作用により、ステレオの電源スイッチがOFFのときでも、スピーカーから音が聞こえることがあります。その場合も、テレビからスピーカーを離して設置してください。

あなたが録音または録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

# 故障と思われる症状ですが・・・

## リモコン部

症 状	原 因	処 置
リモコンで操作ができない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電池切れ。</li> <li>●操作する位置が遠すぎる、角度がずれている。または障害物がある。</li> <li>●平行コードが正しく接続されていない。</li> <li>●再生しようとする機器に、テープ、CDが入っていない。</li> <li>●録音中のカセットデッキで再生しようとしている。</li> <li>●A/B 切換スイッチが正しくセットされていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新しい電池に入れ換える。</li> <li>●操作範囲内で操作する。 → P.14</li> <li>●“接続のしかた”をみて正しく接続し直す。</li> <li>●再生しようとする機器に、テープ、CDを入れる。</li> <li>●録音が終わるまで待つ。</li> <li>●A/B 切換スイッチを正しくセットする。</li> </ul>

## アンプ・チューナー部・スピーカー部

症 状	原 因	処 置
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スピーカーコードがはずれている。</li> <li>●音量を最小にしている。</li> <li>●プリアンプ/チューナーのMUTEがONになっている。</li> <li>●ヘッドホンプラグが差込まれている。</li> <li>●平行コードの接続がはずれている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●“接続のしかた”をみて正しく接続し直す。</li> <li>●適当な音量にする。 → P.7</li> <li>●MUTEをOFFにする。</li> <li>●ヘッドホンプラグを抜く。</li> <li>●平行コードの接続を確認する。 → P.5</li> </ul>
オムニトップまたはメインスピーカーから音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●LINEAR ACOUSTICつまみが片側に回されている。</li> <li>●スピーカーコードがはずれている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●つまみを適切な位置に合わせる。 → P.34</li> <li>●“接続のしかた”をみて正しく接続し直す。 → P.7</li> </ul>
バーチャルリアリティサウンドが再生されない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●DUAL SOUNDがOFF(表示消灯)になっている。</li> <li>●LINEAR ACOUSTICつまみがMAIN側に回されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●<b>DUAL SOUND</b>キーを押してONにする。 → P.35</li> <li>●つまみを適切な位置に合わせる。 → P.35</li> </ul>
ヘッドホンから音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●LINEAR ACOUSTICつまみがOMNI側に回されている。</li> <li>●オムニインプットで再生している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●LINEAR ACOUSTICつまみをMAIN側に回す。 → P.16</li> <li>●メインインプットで再生する。 → P.20</li> </ul>
スタンバイインジケーターが点滅し、音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スピーカーコードがショートしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●一時電源スイッチを切り、ショートを取り除き、再度電源スイッチを入れる。</li> </ul>
スピーカーの片側から音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スピーカーコードがはずれている。</li> <li>●BALANCEつまみが片側いっぱい絞られている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●“接続のしかた”をみて正しく接続し直す。</li> <li>●左右のバランスを調節する。 → P.7</li> <li>→ P.17</li> </ul>
サラウンドリアスピーカー、センタースピーカーから音が出ない。または、小さい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●リアスピーカーコードおよびセンタースピーカーコードがはずれている。</li> <li>●サラウンド再生モードになっていない。</li> <li>●リアレベル、センターレベルが最小になっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●“接続のしかた”をみて正しく接続し直す。 → P.7</li> <li>●サラウンドモードにする。</li> <li>●リアレベル、センターレベルを調節する。 → P.57</li> </ul>
時刻表示が、ある時間で止まったまま点滅している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●停電があった。</li> <li>●電源プラグを一度抜いた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●現在時刻をもう一度合わせる。 → P.15</li> <li>●現在時刻をもう一度合わせる。</li> </ul>
タイマーが作動しない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●現在時刻を合わせていない。停電があった。</li> <li>●タイマーのON時刻とOFF時刻を設定していない。</li> <li>●タイマーの実行指定をしていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●“時刻合わせ”をみて現在時刻を合わせる。</li> <li>●タイマーのON時刻とOFF時刻を設定する。 → P.65</li> <li>●<b>EXE</b>キーで実行指定をする。</li> </ul>
放送局が受信できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●アンテナを接続していない。</li> <li>●放送バンドが合っていない。</li> <li>●受信したい放送局の周波数に合っていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●アンテナを接続する。 → P.6</li> <li>●放送バンドを合わせる。 → P.30</li> <li>●受信したい放送局の周波数に合わせる。</li> </ul>
雑音が入る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自動車のイグニッションノイズ。</li> <li>●電気器具の影響によるもの。</li> <li>●テレビが近くにある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●外部アンテナを道路から離して設置する。</li> <li>●電気器具の電源を切ってみる。</li> <li>●テレビから離す。</li> </ul>

症 状	原 因	処 置
プリセットしたあと、数字キーを押しても受信できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プリセットした放送局が、受信できない周波数である。</li> <li>●長い間、電源コンセントを抜いていたため、メモリーが消えてしまった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●受信できる周波数の放送局をプリセットする。</li> <li>●もう一度プリセットする。 → P.32</li> </ul>

## カセットデッキ部

症 状	原 因	処 置
再生キーを押しても音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コードの接続が間違っている。</li> <li>●ヘッドが汚れている。</li> <li>●巻き取りムラがありテープが重くなっている。</li> <li>●未録音テープを再生している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●“接続のしかた”に従い正しく接続する。</li> <li>●“ヘッドのお手入れ”をみて、ヘッドを清掃する。 → P.73</li> <li>●テープを交換してみる。</li> <li>●録音済テープを使う。</li> </ul>
操作キーを押しても作動しない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●カセットホルダーが完全に閉まっていない。</li> <li>●カセットホルダーを閉めて、すぐ操作キーを押している。</li> <li>●電源を入れてから、3秒以内に操作キーを押している。</li> <li>●テープが入っていない。</li> <li>●巻き取りムラがありテープが重くなっている。</li> <li>●テープがどちらかに巻きとられている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ホルダーを完全に閉める。</li> <li>●ホルダーを閉めてから何秒か待って操作キーを押す。</li> <li>●3秒以上たってから操作キーを押す。</li> <li>●テープを入れる</li> <li>●テープを交換してみる。</li> <li>●デッキの走行方向をかえる。またはテープを裏返す。</li> </ul>
DPSSが誤動作する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●曲と曲の間が短いなどDPSSに不適当なテープを使用している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●“DPSSについて”をお読みください。 → P.28</li> </ul>
CCRSが作動しない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●Bデッキに録音できるテープが入っていない。</li> <li>●CDプレーヤーにディスクが入っていない。</li> <li>●ディスクが汚れている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●Bデッキに録音できるテープを入れ、操作をやり直す。</li> <li>●CDプレーヤーにディスクを入れ、操作をやり直す。</li> <li>●ディスクを清掃したあと、CDプレーヤーに入れ、操作をやり直す。 → P.74</li> </ul>
AデッキとBデッキで、ダビングの終わる時間が違う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●テープの長さやカセットデッキのメカニズムの特性によるもの。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●多少の時間差は故障ではありません。</li> </ul>
イジェクトキーを押してもホルダーが開かない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●録音中、または再生中に押している。</li> <li>●外部からの雑音によりマイコンが誤動作した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●停止状態で押す。</li> <li>●いったん電源コードを抜いてから、差し込み直す。</li> </ul>
音がかすれたり高音が出なくなる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ヘッドが汚れている。</li> <li>●テープがのびたり、ワカメ状になっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●“ヘッドのお手入れ”をみて、ヘッドを清掃する。 → P.73</li> <li>●テープを交換する。</li> </ul>
音がひずむ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●<b>CRLS</b>キーで録音レベルの設定をしていない。</li> <li>●ひずんだ音で録音されたテープを再生している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●“録音のしかた”をお読みください。 → P.37</li> <li>●テープを交換する。</li> </ul>
雑音が大きい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ヘッドが磁気を帯びている。</li> <li>●外部の雑音を誘導している。</li> <li>●ドルビーNRをONで録音したテープを、OFFで再生している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●“ヘッドのお手入れ”をみて、消磁する。 P.27</li> <li>●電気器具、テレビなどから離す。</li> <li>●DOLBY NRをBかCにする。</li> </ul>
録音された音量が途中で変わっていた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●録音中に、MIC MIXINGつまみを動かした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●録音するときは、つまみを左いっぱいに戻しておきます。</li> </ul>

故障と思われる症状ですが...

症 状	原 因	処 置
音がふるえる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● キャプスタン、ピンチローラーが汚れている。</li> <li>● テープに巻き取りムラがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● “ヘッドのお手入れ”をみて、ヘッドを清掃する。 →  P.73</li> <li>● テープの端から端まで通して早送り、巻き戻し、または再生をして巻き直す。</li> </ul>
録音キーを押しても録音できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● カセットテープのツメが折れている。</li> <li>● カセットホルダーが完全に閉まっていない。</li> <li>● プリアンプ/チューナーの入力切換がTAPEになっている。</li> <li>● テープがどちらかに巻き取られている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ツメの折れていないテープを使う、または穴をふさぐ。</li> <li>● ホルダーを完全に閉める。</li> <li>● <b>MAIN INPUT</b> キーで録音したいソースを選ぶ。 →  P.37</li> <li>● Bデッキの走行方向をかえる、またはテープを裏返す。 →  P.36</li> </ul>

## CDプレーヤー部

症 状	原 因	処 置
ディスクを入れても再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ディスクが裏返しに入っている。</li> <li>● ディスクがずれている。</li> <li>● ディスクがひどく汚れている。</li> <li>● ディスクに傷がついている。</li> <li>● 光学レンズに露がついている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ラベル面を上にして、正しく入れる。</li> <li>● ディスクを正しく入れ直す。</li> <li>● “ディスク取扱上のご注意”を参照し、ディスクを清掃する。 →  P.74</li> <li>● ディスクを取り換える。</li> <li>● “露付きにご注意”を参照し、露を蒸発させる。 →  P.73</li> </ul>
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ディスクが入っていない。</li> <li>● 再生状態になっていない。</li> <li>● ディスクがひどく汚れている。</li> <li>● ディスクに傷がついている。</li> <li>● 接続コードがしっかり差込まれていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ディスクを入れる。</li> <li>●  キーを押す。</li> <li>● “ディスク取扱上のご注意”を参照し、ディスクを清掃する。 →  P.74</li> <li>● ディスクを取り換える。</li> <li>● しっかりと接続する。</li> </ul>
音とびがする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ディスクが汚れている。</li> <li>● ディスクに傷がついている。</li> <li>● 本機に振動が加わっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● “ディスク取扱上のご注意”を参照し、ディスクを清掃する。 →  P.74</li> <li>● ディスクを取り換える。</li> <li>● 振動のない場所に設置する。</li> </ul>

### ご注意



1. 本システムはマイコンを使用していますので、外部からの雑音や、妨害ノイズにより、正常に動作しないことがあります。そのような場合、電源コードを一度抜いてからあらためてご使用ください。
2. 接点復活剤は、故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を変形させることがあります。
3. テープの種類によっては、自動的にテープが止まったときに“キュー”という音がすることがあります。これはテープ保護機構が働くため、故障ではありません。
4. 110/120分テープは、テープ厚がうすくてワカメ状になりやすいため、ご使用にならないでください。

# アフターサービスについて

1. 保証書—この商品の保証書は別途添付しております。  
必ず所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
2. 保証期間—お買い上げの日より1年間です。  
正常なご使用状態でこの期間内に万一故障を生じた場合には、保証書の記載内容によりお買い上げの販売店またはケンウッドの営業所が無料修理いたします。
3. 保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店またはケンウッドの営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合には、お客様のご要望により有料修理いたします。
4. 補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後8年間です。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
5. アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドの営業所に、ご遠慮なくご相談ください。

## サービス依頼について

本機の修理を依頼されるときは、本体のままお渡しにならないで、必ず何かに包装しておわたしてください。本体のまま修理にだされますと、途中の事故等で外観に傷がつくおそれがありますのでご注意ください。

※包装材はアフターサービスや引越しの際大切な機器を保護するためにご利用ください。

修理のため、お買い上げの販売店またはケンウッドの営業所に、セットをお持ちになるときは、お買い上げのセット全部をお持ちください。(スピーカーを除きます。)

## ステレオ音のエチケッ



楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

## 輸送時または移動時のご注意 (CDプレーヤー)

本機を輸送するときや、移動するときには、下記の操作を行ってください。

1. ディスクを入れないで電源をONにします。
  - ▶/⏸キーを押して、プラス1トレイにディスクがないことを確かめます
2. 数秒間待って、ディスプレイ部が図の表示になったことを確かめてください。

6	DISC	SINGLE TIME	1	2	3	4	5
5	NO.		6	7	8	9	10
4	TRACK NO.		11	12	13	14	15
3			16	17	18	19	20
2							
1							
P							

0 00

3. 電源をOFFにします。

## プリアンプ/チューナー部(C-B9)

### [FMチューナー部]

受信周波数範囲 ..... 76MHz~90MHz  
実用感度(モノラル) ..... 13.2dBf(1.2 $\mu$ V, 75 $\Omega$ )  
SN比  
モノラル ..... 75dB(65dBf入力時)  
ステレオ ..... 68dB(65dBf入力時)  
実効選択度(±400kHz) ..... 50dB  
ステレオセパレーション(1kHz) ..... 40dB  
周波数特性(30Hz~15kHz) ..... +0.5dB, -3.0dB

### [AMチューナー部]

受信周波数範囲 ..... 531kHz~1,602kHz  
実用感度 ..... 12 $\mu$ V(500 $\mu$ V/m)  
SN比 ..... 48dB

### AMステレオ受信時

SN比 ..... 36dB  
ステレオセパレーション(400Hz) ..... 30dB

### [プリアンプ部]

全高調波ひずみ率 ..... 0.02%(40Hz~20kHz, 1.0V)  
..... 0.01%(1kHz, 1.0V)

### 入力感度/インピーダンス

MD/DAT, VIDEO, AV AUX ..... 200mV/47k $\Omega$   
MIC ..... 1.9mV/47k $\Omega$   
ラウドネスコントロール特性(音量ボリューム-30dB)  
..... +6dB(100Hz)

N.B. CIRCUIT 特性 ..... +15dB max. (60Hz)

### 出力レベル/インピーダンス

MD/DAT, VIDEO ..... 200mV/2.2k $\Omega$

### [ビデオ部]

#### 入力端子(感度/インピーダンス)

..... VIDEO(コンポジット): 1Vp-p/75 $\Omega$   
入力端子(AV AUX, VIDEO)

#### 出力端子(レベル/インピーダンス)

..... VIDEO(コンポジット): 1Vp-p/75 $\Omega$   
出力端子(映像モニター出力, VIDEO)

最大外形寸法 ..... 幅 270mm  
..... 高さ 85mm  
..... 奥行 318mm

重量(正味) ..... 2.6kg

## パワーアンプ/グラフィックイコライザー部

(B-B9)

### [パワーアンプ部]

#### 実用最大出力

##### ステレオモード

メイン ..... 55W+55W(EIAJ, 4 $\Omega$ )  
サブ ..... 43W+43W(EIAJ, 6 $\Omega$ )

##### サラウンドモード

メイン ..... 50W+50W(EIAJ, 4 $\Omega$ )  
センター ..... 30W(EIAJ, 8 $\Omega$ )  
リア ..... 25W+25W(EIAJ, 8 $\Omega$ )

全高調波ひずみ率 ..... 0.06%(40Hz~20kHz, 40W, 4 $\Omega$ )  
..... 0.005%(1kHz, 1/2定格出力, 4 $\Omega$ )  
周波数特性 ..... 20Hz~70kHz, +0, -1.0dB  
SN比 ..... 108dB(IHF A)

### [グラフィックイコライザー部]

#### 調整中心周波数

..... 63Hz, 160Hz, 400Hz, 1kHz, 2.5kHz, 6.3kHz, 16kHz  
可変範囲 ..... ±10dB

### [電源・その他]

電源電圧、電源周波数 ..... AC100V, 50Hz/60Hz  
定格消費電力(電気用品取締法に基づく表示) ..... 170W  
総合消費電力(C-B9, DP-MB9, X-B9接続時) ..... 190W  
最大外形寸法 ..... 幅 270mm  
..... 高さ 120mm  
..... 奥行 318mm  
重量(正味) ..... 6.5kg

## カセットデッキ部(X-B9)

トラック方式	4トラック2チャンネルステレオ
録音方式	交流バイアス(周波数: 105kHz)
ヘッド	
Aデッキ用 再生用	1
Bデッキ用 録音/再生用	1
消去用	1
モーター	
Aデッキ用	1
Bデッキ用	1
早巻き時間	約110秒(C-60)
周波数特性	
ノーマルテープ	35Hz~17,000Hz, ±3dB
クロームテープ	35Hz~18,000Hz, ±3dB
メタルテープ	35Hz~18,000Hz, ±3dB
SN比	
EIAJ	56dB
DOLBY NR OFF	58dB
DOLBY B NR ON	66dB
DOLBY C NR ON	73dB
ワウ・フラッター	0.08%(W.R.M.S.)
	±0.18%(W.peak)
最大外形寸法	幅 270mm
	高さ 120mm
	奥行 258mm
重量(正味)	2.8kg

## CDプレーヤー部 (DP-MB9)

読み取り方式	非接触光学式読み取り(半導体レーザー)
回転数	200rpm~500rpm(CLV)
D/Aコンバージョン	1ビット
オーバーサンプリング	8fs(352.8kHz)
周波数特性(EIAJ)	20Hz~20kHz, +0dB, -1.5dB
SN比(EIAJ)	93dB以上
ダイナミックレンジ(EIAJ)	85dB以上
全高調波ひずみ率(EIAJ)	0.01%以下(1kHz)
チャンネルセパレーション(EIAJ)	85dB以上(1kHz)
ワウ・フラッター(EIAJ)	測定限界以下
デジタル出力(オプチカル)	-15dBm~-21dBm
	(発光波長660nm)
最大外形寸法	幅 270mm
	高さ 85mm
	奥行 311mm
重量(正味)	3.2kg

## スピーカー(LS-B9)

エンクロージャー	バスレフ型
スピーカー構成	
メインスピーカー	3ウェイ
ウーファー	150mmコーン型
スクーカー	85mmコーン型
ツイーター	25mmドーム型
オムニトップスピーカー	同軸2ウェイ
ウーファー	120mmコーン型
ツイーター	25mmドーム型

## インピーダンス

メインスピーカー	4Ω
オムニトップスピーカー	6Ω

## 最大入力

メインスピーカー	70W
オムニトップスピーカー	60W

## 周波数帯域

メインスピーカー	43Hz~20kHz
オムニトップスピーカー	62Hz~20kHz

## 最大外形寸法

幅	220mm
高さ	463mm
奥行	301mm

重量(正味) 7.5kg(1本)

これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。

アフターサービスのお問い合わせは、  
購入店または最寄りの当社サービスセンター  
営業所をご利用ください。  
商品に関するその他のお問い合わせは、  
お客様相談室をご利用ください。  
電話(03)3486-5515

# KENWOOD

株式会社 ケンウッド

東京都渋谷区渋谷1-2-5(アライブ美竹)〒150  
電話(03)3486-5511